

平成 29 年度事業報告書

IV 附属明細書

(ホームページのみ掲載分)

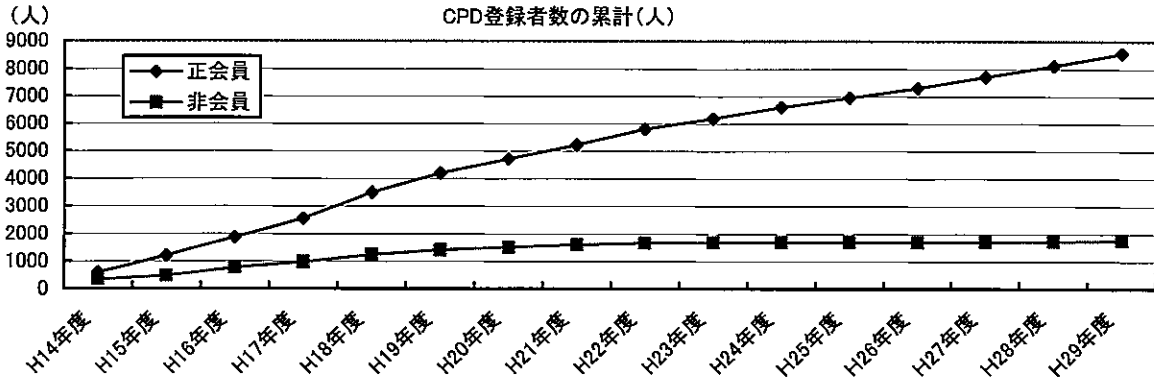
資料 10	技術士 CPD 登録等実績	1
資料 11	総会及び理事会における議題一覧	2
資料 12	規程類の制定・変更一覧	6
資料 13	第 9 回企業と技術者の倫理とコンプライアンス	8
資料 14	技術士 CPD 中央講座	9
資料 15	技術士 CPD ミニ講座	10
資料 16	第 35 回技術士 CPD・技術士業績・研究発表年次大会	11
資料 17	新春記念講演会	11
資料 18	第 20 回北東 3 地域本部技術士交流会	12
資料 19	第 23 回西日本技術士研究・業績発表年次大会	13
資料 20	第 44 回技術士全国大会 (山口)	14
資料 21	地域産学官と技術士との合同セミナー	16
資料 22	技術士を目指そう、修習ガイダンス 2018	20
資料 23	技術士第二次試験合格者研修会・祝賀会	20
資料 24	技術士第一次試験合格者祝賀会	21
資料 25	技術士第二次試験合格者祝賀会	23
資料 26	技術士業務に関する対外協力件数	25
資料 27	技術支援基礎講座等	26
資料 28	海外技術業務協力実務講習会	27
資料 29	第 30 回修習技術者研修セミナー	28
資料 30	修習技術者キャリアプランセミナー	29
資料 31	修習技術者研修会／修習技術者発表研究会	29
資料 32	第 13 回全国防災連絡会議	31
資料 33	新聞・雑誌等記事掲載一覧	32
資料 34	技術士制度の講演会、説明会一覧	32
資料 35	後援、協賛等	33
資料 36	四役会議・常設委員長会議・地域本部長会議・部会長会議	35
資料 37	委員会の会議開催状況	38
資料 38	部会の開催	42
資料 39	地域本部の会合	42
資料 40	県支部の会合	43
資料 41	部会における講演会	44

資料 42	部会における見学会	55
資料 43	地域本部における主な講演会等	57
資料 44	地域本部における主な見学会	84
資料 45	地域本部管轄下の県支部における主な講演会等	87
資料 46	関東甲信地域の県支部における主な講演会等	100
資料 47	地域本部管轄下の県支部における主な見学会	106
資料 48	関東甲信地域の県支部における主な見学会	107
資料 49	地域本部管轄下の県支部、部門別正会員・準会員数	108
資料 50	関東甲信地域における県支部、部門別正会員・準会員数	111
資料 51	地域本部、部門別 女性正会員・準会員数	112
資料 52	会員による活動グループの異動状況	113
資料 53	平成 29 年度技術士試験実施状況	114
資料 54	技術部門別 女性技術士登録者数	115
資料 55	技術部門別 女性技術士補登録者数	116

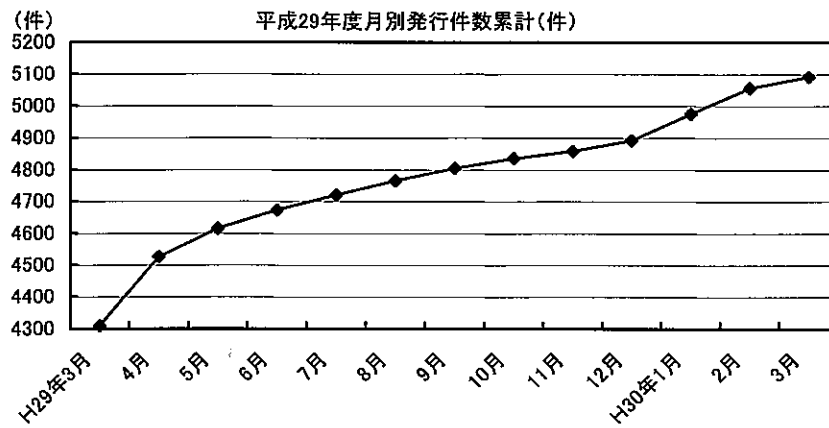
資料 10 技術士CPD登録等実績

1. CPD登録者 (平成13年4月1日～平成30年3月31日)

平成30年3月末(人)	WEB			文書			合計		
	正会員	非会員	計	正会員	非会員	計	正会員	非会員	計
	8,097	1,308	9,405	469	455	924	8,566	1,763	10,329

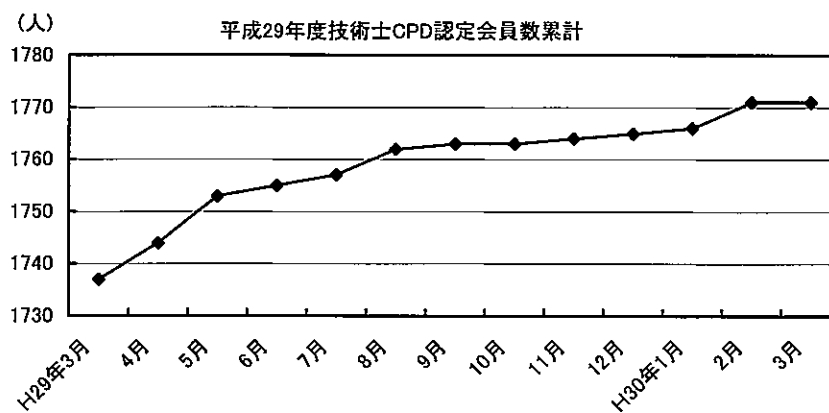


2. CPD登録証明書 (平成17年4月1日～平成30年3月31日)



期間	数(件)
H17.4～H21.3	324
H21.4～H22.3	224
H22.4～H23.3	545
H23.4～H24.3	326
H24.4～H25.3	317
H25.4～H26.3	359
H26.4～H27.3	646
H27.4～H28.3	755
H28.4～H29.3	814
H29.4～H30.3	782
累計	5,092

3. CPD認定会員 (平成18年3月1日～平成30年3月31日)



期間	数(人)
H18.3～H19.3	619
H19.4～H20.3	248
H20.4～H21.3	122
H21.4～H22.3	125
H22.4～H23.3	94
H23.4～H24.3	38
H24.4～H25.3	189
H25.4～H26.3	176
H26.4～H27.3	54
H27.4～H28.3	41
H28.4～H29.3	31
H29.4～H30.3	34
累計	1,771

※ 1,771名のうち1,170名は死亡・退会、更新せず。実際には、601名

資料 11 総会及び理事会における議題一覧

(1) 総会

第 59 回定時総会（平成 29 年 6 月 20 日）

第 1 号議案 役員を選任について

（報告事項）

1. 平成 28 年度（平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで）
事業報告及び同収支決算報告並びに監査報告について
2. 平成 29 年度事業計画及び収支予算について
3. 統括本部事務局移転について

(2) 理事会

第 1 回（平成 29 年 5 月 10 日）

（審議事項）

1. 平成 28 年度事業報告及び収支決算について
2. 第 59 回定時総会における役員選任について
3. 第 59 回定時総会の開催日時・議題等について
4. 平成 29 年度新名誉会員について
5. 平成 29 年度フェロー認定について
6. 平成 29 年度会長表彰者について
7. 技術士制度検討委員会検討報告について
8. 本会の組織、役職名等の英文表記に関する規則の制定について
9. 男女共同参画推進に関する委員会の設置・運営規則の変更について
10. 地域組織の設置運営に関する規則の変更について
11. 会員の入会等について

（報告事項）

1. 平成 29 年度役員候補者選出選挙等結果について
2. 科学技術・学術審議会技術士分科会報告について
3. 防災会議（平成 28 年熊本地震災害）の活動終了について
4. 技術士 CPD 定期審査実施報告について
5. 技術士業務報酬に関する調査結果について
6. 会員による活動グループの登録取消しについて
7. 外部委員会委員等の推薦について
8. 常設委員会等報告について

臨時理事会（平成 29 年 6 月 20 日）

（審議事項）

1. 会長の選定について
2. 副会長の選定について

（報告事項）

1. 常設委員会委員長の委嘱について

2. その他

第2回（平成29年7月5日）

（審議事項）

1. 相談役、顧問及び審議員の選任について
2. 地域本部長の選任について
3. 関東甲信地域県支部長の選任について
4. 部会長の委嘱について
5. 実行委員会委員の継続再任について
6. 常設委員会及び実行委員会委員の委嘱について
7. 実行委員会委員長の選任について
8. 男女共同参画推進委員会委員の委嘱について
9. 技術士制度検討委員会の設置・運営規則の変更について
10. 技術士制度検討委員会委員の委嘱について
11. APEC エンジニア及び IPEA 審査委員会設置・運営規則の変更について
12. APEC エンジニア審査委員会委員及び委員長の委嘱について
13. IPEA モニタリング委員会委員及び委員長の委嘱について
14. IPEA 審査委員会委員及び委員長の委嘱について
15. 会員の入会等について

（報告事項）

1. 第59回定時総会（H29.6.20）開催結果報告について
2. 平成29年度技術士第二次試験受験申込状況報告等について
3. 科学技術・学術審議会技術士分科会及び制度検討特別委員会報告について
4. 「技術士制度改革について（提言）－中間報告－」について
5. 与党技術士議員連盟の設立について
6. 緩やかな連携の推進について（企業内技術士会からの連絡）
7. 登録グループの登録取消について
8. 常設委員会等報告について
9. 平成29年度業務状況報告について

第3回（平成29年9月13日）

（審議事項）

1. ワーキンググループの設置及びワーキンググループ員の委嘱について
 - (1) 倫理委員会 倫理教育検討ワーキンググループ
 - (2) 社会委員会 工事監査支援ワーキンググループ
 - (3) 国際委員会 IEAワーキンググループ
2. 実行委員会委員の継続再任について
3. 委員会委員等の異動について
4. 会員の入会等について

（報告事項）

1. 平成29年度技術士第二次試験筆記試験受験状況報告について
2. 平成29年度技術士第一次試験受験申込状況報告について

3. 科学技術・学術審議会技術士分科会制度検討特別委員会報告について
4. 第44回技術士全国大会（山口）開催準備状況について
5. 公明党愛知県本部団体懇談会への対応について
6. 緩やかな連携の推進（企業内技術士会からの連絡）について
7. 地域組織の個別事項に関わる手引き変更制定について
8. 月刊「技術士」投稿の手引きの変更について
9. 外部委員会委員の推薦について
10. 常設委員会等報告について
11. 平成29年度業務状況報告について

第4回（平成28年11月15日）

（審議事項）

1. 実行委員会委員の継続再任について
2. 委員会委員等の異動について
3. 会員の入会等について

（報告事項）

1. 平成29年度技術士第二次試験筆記試験結果について
2. 平成29年度技術士第一次試験実施状況について
3. 科学技術・学術審議会技術士分科会及び制度検討特別委員会報告について
4. 平成30年度事業計画・収支予算策定について
5. 第44回技術士全国大会開催結果報告について
6. 第47回日韓技術士国際会議開催結果報告について
7. 技術士制度検討委員会検討状況報告について
8. 緩やかな連携の推進について
9. 会員による活動グループの登録に関わる手引きの変更について
10. 登録グループの登録取消について
11. 月刊「技術士」投稿の手引きの変更について
12. 外部委員会委員の異動について
13. 常設委員会等報告について
14. 平成29年度業務状況報告について

第5回（平成29年1月10日）

（審議事項）

1. 対外活動促進費運用規則の変更について
2. 講演会及び見学会等開催補助費運用規則の変更について
3. 委員会委員の異動について
4. 会員の入会等について

（報告事項）

1. 平成29年度技術士第一次試験の結果について
2. 平成30年度技術士試験日程について
3. 技術士制度検討委員会検討状況報告について
4. 神奈川県支部の運営に関する個別事項の手引きの変更について

5. 緩やかな連携の推進（明治大学技術士会との協定の締結）について
6. インターネットを利用した立候補制度の検討状況について
7. 対外活動促進費の運用に関わる手引きの変更について
8. 現役世代会員のCPD活動の活性化について
9. 月刊「技術士」投稿の手引きの変更について
10. 常設委員会等報告について
11. 講演会のウェブ配信システムの検討状況について
12. 平成29年度業務状況報告について

第6回（平成29年3月14日）

（審議事項）

1. 現役若手世代会員のCPD活動の活性化について
2. 平成30年度事業計画について
3. 平成30年度収支予算について
4. 部会に関する規則の変更について
5. インターネットによる立候補制度の導入に伴う関係規定の制定及び変更について
 - (1) 役員候補者選出選挙等における電磁的方法による立候補推薦及び立候補届出に関する規則、及び同手引きの制定
 - (2) 役員候補者選出選挙規則の変更
 - (3) 部会に関する規則の変更
 - (4) 地域組織における幹事選出に関する手引きの変更
6. 常勤理事の報酬の変更について
7. 委員会委員の異動について
8. 会員の入会等について

（報告事項）

1. 平成29年度技術士第二次試験結果について
2. 科学技術・学術審議会技術士分科会及び制度検討特別委員会報告について
3. 技術士制度検討委員会検討状況報告について
4. 外部委員会委員等の推薦について
5. 内閣府大臣官房公益法人行政担当室による立入検査結果について
6. 常設委員会等報告について
7. 講演会のウェブ配信システムの確認状況について
8. 平成29年度業務状況報告について

資料 12 規程類の制定・変更一覧

【 規 則 】

規程名	区分	主な内容	審議・報告日
本会の組織、役職名等の英文表記に関する規則	制定	本会の組織、役職名等の英文表記について新たに規則として制定	第1回理事会(平成29年5月10日)審議
男女共同参画推進に関わる委員会の設置・運営規則	変更	委員会委員定数の変更、委員補佐の設置などの変更	
地域組織の設置運営に関する規則	変更	支部における特別役職の設置についての変更	
技術士制度検討委員会の設置・運営規則	変更	委員会委員定数変更についての変更	第2回理事会(平成29年7月5日)審議
APEC エンジニア審査委員会設置・運営規則	変更	委員委嘱の条件についての変更	
IPEA 審査委員会設置・運営規則	変更	委員委嘱の条件についての変更	
対外活動促進費運用規則	変更	一部支援費目の拡大と交通費の計算方法の統一についての変更	第5回理事会(平成30年1月10日)審議
講演会及び見学会等開催補助費運用規則	変更	統括本部の移転に伴う会議室についての変更	
部会に関する規則	変更	役員に関する事項に準じた規定の追加	第6回理事会(平成30年3月14日)審議
役員候補者選出選挙等における電磁的方法による立候補者推薦及び立候補届出に関する規則	制定	選挙における電磁的方法による立候補者推薦及び立候補届出の実施に当たって必要な事項について新たに規則として制定	
役員候補者選出選挙規則	変更	インターネットによる立候補者推薦及び立候補届出制度導入に伴う変更	

【 手 引 き 】

規程名	区分	主な内容	審議・報告日
東北本部の運営における個別事項に関する手引き	変更	東北本部の運営における個別事項に関する手引きの変更	第3回理事会(平成29年9月13日)報告
北陸本部の運営における個別事項に関する手引き	変更	北陸本部の運営における個別事項に関する手引きの変更	
中部本部の運営における個別事項の手引き	変更	中部本部の運営における個別事項に関する手引きの変更	

規程名	区分	主な内容	審議・報告日
近畿本部の運営における個別事項に関する手引き	変更	近畿本部の運営における個別事項に関する手引きの変更	
中国本部の運営における個別事項に関する手引き	変更	中国本部の運営における個別事項に関する手引きの変更	
四国本部の運営における個別事項に関する手引き	変更	四国本部の運営における個別事項に関する手引きの変更	
九州本部の運営における個別事項に関する手引き	変更	九州本部の運営における個別事項に関する手引きの変更	
埼玉県支部の運営における個別事項に関する手引き	変更	埼玉県支部の運営における個別事項に関する手引きの変更	
会員による活動グループの登録に関わる手引き	変更	会議室利用についての変更	第4回理事会(平成29年11月15日)報告
神奈川県支部の運営における個別事項に関する手引き	変更	神奈川県支部の運営における個別事項に関する手引きの変更	第5回理事会(平成30年1月10日)報告
対外活動促進費の運用に関わる手引き	変更	一部支援費目の拡大と交通費の計算方法の統一についての変更	
月刊「技術士」投稿の手引き	変更	技術士試験対策に関する著作の掲載についての変更	
役員候補者選出選挙等における電磁的方法による立候補者推薦及び立候補届出に関する手引き	制定	役員候補者選出選挙等における電磁的方法による立候補者推薦及び立候補届出に関する規則及び電磁的方法による役職者選挙に関する諸規定の運用に当たり、詳細な事項について新たに手引きとして制定	第6回理事会(平成30年3月14日)審議
地域組織における幹事選出に関する手引き	変更	インターネットによる立候補者推薦及び立候補届出制度導入に伴う変更	

資料 13 第 9 回企業と技術者の倫理とコンプライアンス

テ ー マ：科学技術の進展と社会への影響～リスクにどう向き合うか～
日 時：平成 29 年 5 月 15 日（月）13：00～17：00
会 場：学士会館 202 号室
参加者数：105 名

開会のことば 日本技術士会 会長 吉田 克己
シンポジウム趣旨説明 日本技術士会 倫理委員会啓発小委員長 阿津沢 潔
講 演
・「安全を技術の基本から考える～技術者の身に着けるべきグローバルな安全感覚～」
NPO 安全工学研究所理事長 杉本 旭
・「新技術活用・新製品開発におけるリスクマネジメント」
株式会社インターリスク総研主席コンサルタント 田村 直義
・「重大事故から学ぶ技術者の責任」
東京工業大学特任教授 中村 昌允
パネルディスカッション
パネリスト：杉本 旭、田村 直義、中村 昌允
コーディネーター：日本技術士会 倫理委員会委員長 本間 重一
閉会のことば 日本技術士会 倫理委員会副委員長 桑江 良明

資料 14 技術士 CPD 中央講座

※右欄の数字は参加者数、()はそのうち一般の参加者数を示す

29. 5. 20 (第 140 回)	テーマ：P-イノベーション～高純度リン素材の生産力革新によるリン循環産業の創製～			75 (7)
	P-イノベーションとバリューチェーン	早稲田大学 リンアトラス研究所 客員教授、リン資源リサイクル推進協議会 会長、大阪大学 名誉教授、広島大学 名誉教授	大竹 久夫	
	リンの未利用二次資源	東北大学大学院 環境科学研究科 先進社会環境学専攻 教授	松八重一代	
	高純度リン素材としての黄燐の用途と最終製品	三國製業工業株式会社 代表取締役社長	國貞 眞司	
29. 7. 15 (第 141 回)	テーマ：わが国の発展をささえる物流の動向について			93 (7)
	物流・道路・トラックと生産性革命の視点	東京海洋大学 海洋工学部 流通情報工学科 教授	兵藤 哲朗	
	港湾を中心とした国際物流の動向と関連政策	北海道大学 北極域研究センター 教授	安部 智久	
	トラック輸送の現状と課題	公益社団法人全日本トラック協会 企画部長	小山 誠	
29. 11. 18 (第 142 回)	テーマ：新しい技術者倫理～幸せな技術者を目指して～			88 (9)
	「等身大の技術者倫理」～幸せな技術者を目指して～	東芝インフラシステムズ株式会社、日本技術士会 倫理教育検討WG	袴谷 達	
	埼玉県ダイオキシン対策における技術者倫理	デンカ株式会社 知的財産部、日本技術士会 倫理委員会	西岡 朝明	
	技術者倫理の実践～より良い明日のために	有限会社 SYSBRAINS 代表取締役、日本技術士会 倫理教育検討WG	橋本 義平	
30. 2. 17 (第 143 回)	テーマ：不正（改ざん、盗用、捏造）の起こらない研究開発環境の構築は可能か～過去から現在の事例に学ぶ～			109 (9)
	史上空前規模の論文捏造から考える科学技術社会～ベル研究所での事例から～	日本放送協会 編成局 コンテンツ開発センター チーフプロデューサー	村松 秀	
	STAP 事件から考える研究不正の要因とリスク管理	毎日新聞 科学環境部 記者	須田 桃子	
	研究開発における倫理プログラムの可能性～単なる研究不正防止を越えて～	東京工業大学リベラルアーツ研究教育院大学院 環境・社会理工学院 社会・人間科学系 教授	札野 順	

30. 3. 17 (第 144 回)	テーマ： 地上につくる小さな太陽：持続可能なエネルギーの探求			133 (6)
	「地上につくる小さな太陽」-日本の開発の現状と将来	東京大学大学院 教授	小川 雄一	
	「地上につくる小さな太陽」-ITER 計画・BA 活動の取組	量子科学技術研究開発機構 核融合エネルギー研究開発部門長	森 雅博	
	三菱重工における「地上の太陽を作る」取組み	三菱重工業 核融合推進室 企画・プロジェクトチーム チームリーダー	清水 克祐	
	日立製作所における核融合開発への取組	日立製作所 シニアプロジェクトマネージャ	竹内 一浩	

資料 15 技術士 CPD ミニ講座

※右欄の数字は参加者数、()はそのうち一般の参加者数を示す

29. 5. 10 (第 72 回)	家畜ふん尿は廃棄物か？資源か？	一般財団法人畜産環境整備機構 参与、麻布大学獣医学部 客員教授	羽賀 清典	87 (11) 内 WEB 参加 44 名
29. 11. 8 (第 73 回)	国際派技術士となるための English 勉強術	坂東技術士事務所 代表	坂東 大輔	103 (7) 内 WEB 参加 55 名
30. 2. 14 (第 74 回)	人間中心に進める私たちの仕事とは	東京工業大学 環境・社会理工学院 研究員	山田 菊子	47 (0) 内 WEB 参加 12 名

資料 16 第 35 回技術士 CPD・技術士業績・研究発表年次大会

日 時：平成 29 年 6 月 17 日（土）13：00～17：00 会 場：機械振興会館 地下 2 階 ホール（東京都港区芝公園 3-5-8） 参加者数：70 名		
当日発表	技術部門	氏名
Systems Design から見た X 線自由電子レーザー施設「SACLA」の建設技術	電気電子	関口 芳弘
既存土木施設の有効活用に向けた機能向上のための管理に関する提案－「インフラ・チューニング」、その考え方と適用の可能性－	建設、 総合技術監理	松本 茂 〔最優秀賞〕
特許文書からの化学物質情報の抽出と知識化	応用理学、 総合技術監理	池田 紀子 〔優秀賞〕
世界の人工衛星及びロケットの不具合からの教訓	航空・宇宙	加藤 明
交通結節点としての群馬県高崎駅周辺地区の土地利用の歴史的変遷に関する研究構想	建設（技術士補）	西尾 敏和
裁判所提示文書への経営工学的フレームワークの適用	経営工学、 総合技術監理	小川 文輔
「化学物質管理士」制度創設にあたっての制度設計思想	化学	伊藤 雄二
将来を担う子ども達を対象にした「まちづくり体験教室」の開催	建設	山崎 佳久 〔優秀賞〕
当日発表なし、論文集掲載のみ	技術部門	氏名
海外での実務経験を我が国の地域活性化の取組に活かす試み～海外農業農村開発事業や青年海外協力隊の事例を通じて～	農業（第二次試験合格）	飯野 秀之
MT 法の適用によるファンモータの放射音波形スペクトルの解析研究	機械	當摩 栄路

資料 17 新春記念講演会

日 時：平成 30 年 1 月 10 日（水）16：00～17：30 会 場：学士会館 202 号室 参加者数：168 名
年頭の辞：日本技術士会 会長 高木 茂知 記念講演：日本が拓く太陽系宇宙大航海時代 講師：宇宙航空研究開発機構（JAXA） 宇宙探査イノベーションハブ（TansaX）ハブ長 宇宙科学研究所（ISAS）副所長 國中 均 氏
閉会の辞：日本技術士会 研修委員会 委員長 宮元 均

資料 18 第 20 回北東 3 地域本部技術士交流会

北陸本部

テーマ：北東アジア地域を中心とした地域間技術交流

日時：平成 29 年 9 月 26 日（火）

会場：新潟市ホテル日航新潟

参加者数：70 名

行事内容：

【基調講演】「北東アジア交流の現状と展望」

（公財）環日本海経済研究所調査研究部長・主任研究員 新井 洋史 氏

【講演】「地域間技術交流の 40 年」

（公社）日本技術士会参与・名誉本部長、在新潟モンゴル国名誉領事 中山 輝也氏

【地域本部の取組発表】

- ①「国際交流におけるコミュニケーション」 東北本部 今西 肇
- ②「今年度、東北本部に発足した「ふくしま未来委員会」について」
東北本部 赤井 仁志
- ③「北海道航路、新たなフロンティアの持続的利用への取り組み」
北海道本部 大塚 夏彦
- ④「日中冬期道路交通ワークショップについて」 北海道本部 池田 賢二
- ⑤「中国黒龍江省との建設技術交流」 北陸本部 山岸 俊男
- ⑥「サインシャンド工業団地緑化と自生種の苗木生産による地域振興協力事業」
北陸本部 目黒修治
- ⑦「モンゴル国中小企業技術支援事業」 北陸本部 長谷川 信
- ⑧「モンゴル国ウランバートル市地区排水技術協力事業」 北陸本部 伊藤 俊方
- ⑨「北東アジアとの技術交流拡大に向けた新たな展開」 北陸本部 辻 隆治

資料 19 第 23 回西日本技術士研究・業績発表年次大会

四国本部

テーマ：『地域の文化とまちづくり』～技術士の役割～

日時：平成 29 年 11 月 17 日（金）13:00～20:00、11 月 18 日（土）9:00～16:40

会場：にぎたつ会館（松山市道後姫塚 118-2）

共催：公益社団法人日本技術士会近畿本部・中国本部・九州本部

後援等：国土交通省四国地方整備局，愛媛県，松山市，愛媛県技術士会（協力）

参加者数：98 名

行事内容：

11 月 17 日（金）

- (1) テクニカルツアー：道後温泉周辺・坊っちゃん列車・湯築城跡・酒蔵等（徒歩見学）
- (2) レセプション：大和屋本店 2F 大和の間（松山市道後湯之町 20-8）

11 月 18 日（土）

- | | | |
|----------|-------------------|---------|
| (1) 開会挨拶 | 公益社団法人日本技術士会四国本部長 | 古野 隆久 |
| (2) 式 辞 | 公益社団法人日本技術士会副会長 | 中川 裕康 |
| (3) 来賓挨拶 | 国土交通省四国地方整備局長 | 平井 英輝 氏 |
| | 愛媛知事 | 中村 時広 氏 |
| | 松山市長 | 野志 克仁 氏 |

(4) 基調講演

演題：『道後温泉の歴史と松山のまちづくり』

講師：坂の上の雲ミュージアム館長 松本 啓治 氏

(5) 分科会

第一分科会（一般・青年の部）

論文発表 9 編（近畿本部 3 編、中国本部 2 編、九州本部 2 編、四国本部 2 編）

第二分科会（女性の部） サブテーマ：『女性がつなぐ技術と社会』

論文発表 4 編（近畿本部 1 編、中国本部 1 編、九州本部 1 編、四国本部 1 編）

グループディスカッション（4 班）

- | | | |
|------------|-------------------------|-------|
| (6) 大会講評 | 公益社団法人日本技術士会四国本部副本部長 | 須賀 幸一 |
| (7) 次回開催案内 | 公益社団法人日本技術士会九州本部本部長 | 佐竹 芳郎 |
| | 公益社団法人日本技術士会九州本部熊本県支部長 | 兼子 健男 |
| (8) 閉会挨拶 | 公益社団法人日本技術士会四国本部大会実行委員長 | 増田 信 |

資料 20 第 44 回技術士全国大会（山口）

大会テーマ：維新百五十年～新しい時代を創る技術士の役割～		
開催日	平成 29 年 10 月 20 日（金）～23 日（月）	参加者数
開催場所	山口県健康づくりセンター（山口市吉敷下東三丁目 1 番 1 号）ほか	
後援	文部科学省、農林水産省中国四国農政局、経済産業省中国経済産業局、国土交通省中国地方整備局、環境省中国四国地方環境事務所、山口県、山口市	
行事	10 月 21 日（土） 分科会（午前：第 1・3 分科会／午後：第 2・4 分科会） ・第 1 分科会 新技術 「地方創生と新技術」	258
	・第 2 分科会 防災「防災分野の ICT 活用推進における技術士の役割」	288
	・第 3 分科会 技術者倫理 「次世代技術者の育成と技術者倫理」	127
	・第 4 分科会 青年技術士 「科学技術の発展のあり方とは」	134
	大会式典（司会者：櫛崎 恵 フリーアナウンサー） ・歓迎挨拶（第 44 回技術士全国大会運営委員会 委員長 大田 一夫） ・式 辞（日本技術士会 会長 高木 茂知） ・来賓祝辞 文部科学大臣（文部科学大臣 林 芳正 （代読）文部科学省 科学技術・学術政策局長 佐野 太） 山口県知事（村岡 嗣政） 山口市長（山口市長 渡辺 純忠（代読）山口市副市長 伊藤 和貴） 農林水産省中国四国農政局長（坂井 康宏） 国土交通省中国地方整備局長（川崎 茂信（代読）国土交通省 中国地方整備局 山口河川国道事務所長 廣川 誠一） ・大会宣言（技術士（建設部門）北浦直子） ・閉会挨拶（第 44 回技術士全国大会実行委員会 委員長 住居 孝紀）	391
	記念講演 演 題：「富士山から日本を変える」 講演者：野口 健（アルピニスト）	397
	交流パーティー（ホテルかめ福） ・オープニングアトラクション （山口市無形文化財「鷺流狂言」米本 太郎） ・開会挨拶（日本技術士会 会長 高木 茂知） ・来賓祝辞（山口大学 学長 岡 正明） ・来賓祝辞（参議院議員 山田 宏） ・来賓祝辞（国土交通省 中国地方整備局長 川崎 茂信）	307

	<ul style="list-style-type: none"> ・乾杯（文部科学省科学技術・学術政策局 人材政策課長 塩崎 正晴） ・アトラクション（ジャズバンド演奏） ・次回開催案内（東北本部） ・閉会挨拶（日本技術士会 副会長 中川 裕康） 	
関連行事	10月20日（金）	
	<ul style="list-style-type: none"> ・技術者倫理情報交換会（山口県健康づくりセンター） 	46
	<ul style="list-style-type: none"> ・第13回全国防災連絡会議（山口県健康づくりセンター） 	69
	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェルカムパーティー（山口市菜香亭） 	284
ツアー	10月21日（土）	
	<ul style="list-style-type: none"> ・パートナーズツアー（瑠璃光寺、雪舟庭、津和野、SL やまぐち号） 	24
	10月22日（日）（日帰りコース）	
<ul style="list-style-type: none"> ・テクニカルツアーA（秋吉台、秋芳洞、角島大橋、長府（功山寺）） 	39	
10月22日（日）～23日（月）（1泊コース）		
<ul style="list-style-type: none"> ・テクニカルツアーB（萩（明倫学舎、菊屋横丁、松下村塾等）、萩本陣（泊）/角島大橋、秋吉台、秋芳洞、石灰石鉱山、宇部興産道路） 	27	

資料 21 地域産学官と技術士との合同セミナー

東北本部

テーマ：「東北の発展、くらし・産業おこし・まちづくり」～みやぎ・東北の未来像～

日時：平成 30 年 2 月 16 日（金） 13 時 00 分～17 時 00 分

会場：仙台国際ホテル（仙台市）

後援等：国土交通省東北整備局、経済産業省東北経済産業局、環境省東北地方環境事務所、宮城県、仙台市、東北大学災害科学国際研究所、宮城大学、東北工業大学、東北学院大学、（一社）東北経済連合会、NHK仙台放送局、河北新報社、（一社）日本建設業連合会東北支部、（一社）建設コンサルタント協会東北支部、（一社）東北測量設計協会、

（公社）土木学会東北支部、（公社）地盤工学会東北支部

参加者数：133名

行事内容：

- | | | |
|---|----------------------|---------|
| (1) 開会の辞 | 日本技術士会東北本部 本部長 | 吉川 謙造 |
| (2) 主催者挨拶 | 日本技術士会 副会長 | 中川 裕康 |
| (3) 来賓挨拶 | 宮城県 副知事 | 山田 義輝 氏 |
| | 仙台市 都市整備局 次長 | 小野 浩一 氏 |
| (4) 基調講演「東北の発展、くらし・産業おこし・まちづくり」～みやぎ・東北の未来像～ | 講師 東北大学 災害科学国際研究所 教授 | 奥村 誠 氏 |
| (5) パネルディスカッション | | |
| コーディネーター： | （株）小野組 技術顧問 | 今西 肇 氏 |
| パネリスト | 宮城大学 食産業学群 教授（経営学系） | 三石 誠司 氏 |
| | （一社）東北経済連合会 常務理事 | 小野 晋 氏 |
| | 宮城県 土木部次長 | 門脇 雅之 氏 |
| | NHK仙台放送局 キャスター | 相馬 宏男 氏 |
| | （株）GRA 代表取締役CEO | 岩佐 大輝 氏 |
| アドバイザー | 東北大学 災害科学国際研究所 教授 | 奥村 誠 氏 |
| (6) 閉会挨拶 | 日本技術士会 理事 | 三浦 康二 |

中部本部

テーマ：「 化学分野の革新的モノづくりと産学官連携 」

— 次世代技術を実現するための開発から実装まで —

日 時：11月25日(土)

会 場：名古屋市 マザックアートプラザ4階会議室

参加者数：約80名

行事内容：

1. 基調講演「分子性酸触媒の開発」

・講師：中部大学教授(日本化学会 会長) 山本 尚 氏

1. パネルディスカッション

(1) 事前公演 「技術者・歴史作家が語るイノベーションの本質」

・演者：愛知工業大学大学院非常勤講師・元株式会社デンソー 原嶋 茂 氏

(2) ディスカッション

・パネラー 山本氏、原嶋氏、山田氏(中部経済産業局)、鶴田氏(技術士)

①分子性触媒というイノベーションはいかにして生まれたか。

②日本における産学官連携の課題は何か。

③産学官における技術士の貢献と果たすべき役割は何か。

優れたイノベーションを育むには、あまり細かい指示や制約を与えず自由闊達な風土が良いとのご意見が出された。しかし産学官が連携して成果を上げるとなると、各々の立場を尊重しながらコーディネートをする配慮が不可欠のことであった。そして技術士に期待されるのは、連携を強化するような積極的なアプローチであり、これまで以上に活用促進していただけるような自己研鑽強化も欠かせないとの力強いご意見も飛び出した。

近畿本部

テーマ：環境・エネルギーと経済のシンポジウム

～エネルギーシステム改革と再生可能エネルギー

日時：平成30年2月10日（土）13:15～17:00

会場：一般財団法人大阪科学技術センター 大ホール

後援等：経済産業省近畿経済産業局、大阪府、一般社団法人エネルギー・資源学会、
一般財団法人大阪科学技術センター、一般社団法人日本機械学会関西支部

参加者数：116名

行事内容：

開会挨拶 公益社団法人日本技術士会 近畿本部長 杉本 哲雄

式辞 公益社団法人日本技術士会 副会長 中川 裕康

来賓挨拶 経済産業省 近畿経済産業局 資源エネルギー環境部長 石垣 宏毅 氏
大阪府副知事 竹内 廣行 氏

基調講演 「エネルギーシステム改革と再生可能エネルギー」 諸富 徹 氏
京都大学大学院経済学研究科教授 経済学博士

パネルディスカッション：コーディネーター 諸富 徹 氏

パネリスト講演

1) 「わが国のエネルギー政策の現状」

松村 年峰 氏 経済産業省 近畿経済産業局 エネルギー対策課長

2) 「再生可能エネルギーの市場動向と活用事例、地熱発電の例」

山田 茂登 氏 富士電機（株） 火力・地熱プラント総合技術部 担当部長

3) 「産業界・市民・行政が連携して実践する再生可能エネルギー活用による地域おこし」

小山田 大和氏 エネルギーから経済を考える経営者ネットワーク会議 理事兼事務局長

4) 「NEDO 地域自立システム化実証事業”ゆめ竹バレー”への技術士としての支援」

三村 和寿 氏 (株)バイオマス利活用技術舎 代表取締役 技術士（上下水道・総合）

閉会挨拶 公益社団法人日本技術士会 近畿本部副本部長 実行委員長 田岡 直規

四国本部

テーマ：『生産性の向上に向けて』

日時：平成 29 年 10 月 6 日（金）13：30～17：15

会場：高知会館（高知市本町 5 丁目 6-42）

後援等：農林水産省中国四国農政局、経済産業省四国経済産業局、国土交通省四国地方整備局、高知県、高知大学理工学部、高知工業高等専門学校、公益社団法人土木学会四国支部、公益社団法人地盤工学会四国支部、一般社団法人建設コンサルタント協会四国支部、高知県技術士会（協力）

参加者数：93 名

行事内容：

- (1) 開会挨拶 公益社団法人日本技術士会四国本部長 古野 隆久
- (2) 主催者挨拶 公益社団法人日本技術士会副会長 中川 裕康
- (3) 来賓挨拶 国土交通省四国地方整備局長 平井 秀輝 氏
高知県知事 尾崎 正道 氏

(4) 基調講演

演題：『産学官の連携による防災工学研究の実践』

講師：高知大学理工学部地球環境防災学科教授 原 忠 氏

(5) パネルディスカッション

テーマ：『技術士の資質と生産性の向上に向けて』

コーディネーター：高知大学理工学部地球環境防災学科教授 原 忠 氏

パネリスト：株式会社技研製作所東京本社圧入工法推進事業担当執行役員

安岡 博之 氏

福留開発株式会社常務取締役 大場 将史 氏

高知工業高等専門学校ソーシャルデザイン工学科准教授 秦 隆志 氏

国土交通省四国地方整備局企画部総括技術検査官 門田 隆志 氏

高知県中央東土木事務所所長 竹崎 幸博 氏

公益社団法人日本技術士会四国本部事業委員 河野 一郎

- (6) 閉会挨拶 公益社団法人日本技術士会四国本部事業委員長 富士 達雄

資料 22 技術士を目指そう、修習ガイダンス 2018

開催日：平成 30 年 2 月 10 日（土）10:30～18:30
 会場：日本教育会館 東京都千代田区一ツ橋 2-6-2
 参加者数：177 名

技術部門別展示説明会【9階 喜山倶楽部 平安の間】

10:30～11:50 各部会関係者等によるポスター展示（出入り自由）

ガイダンス【3階 ホール】

13:00～13:05 開会にあたって

日本技術士会 修習技術者支援委員会 副委員長 阿部 修一

13:05～13:10 祝辞と期待のことば

日本技術士会 理事、研修委員会 委員長 宮元 均

13:10～14:15 講演「第二次試験制度改定の解説、修習方法・修習支援体制の説明」

日本技術士会 修習技術者支援委員会 委員長 石附 尚志

14:30～15:55 パネル討論「技術者から技術士へ～第二次試験を通過点として～」

コーディネーター：青年技術士交流委員会 委員

山本 恵一 技術士（電気電子、総合技術監理）

パネリスト：

田中 仁美 技術士（生物工学）

小塚 隆 技術士（金属）

萩尾 友治 技術士（機械）

谷川 一貴 修習技術者（情報工学）

滝口 禎美 修習技術者（化学）

15:55～16:00 閉会にあたって

日本技術士会 修習技術者支援委員会 副委員長 野村 晃平

合格祝賀会【9階 喜山倶楽部 平安の間】

16:30～18:30 先輩技術士との懇談・交流

資料 23 技術士第二次試験合格者研修会・祝賀会

開催日：平成 29 年 4 月 22 日（土）14:00～19:00
 会場：喜山倶楽部 東京都千代田区一ツ橋 2-6-2 日本教育会館 9 階
 参加者数：99 名

研修会【光琳の間】

14:00～14:10	「歓迎の挨拶」	日本技術士会	会長	吉田 克己
14:10～14:30	「技術士制度と日本技術士会の概要」	日本技術士会	事務局長	奈良 人司
14:30～15:20	「技術士と技術者倫理」	日本技術士会	倫理委員会	委員長 本間 重一
15:25～16:00	「技術士CPDの概要」	日本技術士会	CPD支援委員会	委員長 青崎 耕
16:00～16:20	「部会活動の紹介」	日本技術士会	経営工学部会	部会長 中澤 喜久雄
16:20～16:40	「県支部活動の紹介」	日本技術士会	埼玉県支部	支部長 渡辺 孫也
16:40～17:00	「第二次合格者からの質問コーナー」			

祝賀会【飛鳥の間】

17:10～19:00 先輩技術士との懇談・交流

資料 24 技術士第一次試験合格者祝賀会

主催	開催日	会場	参加者数
修習技術者支援委員会	30. 2. 10 (土)	日本教育会館	177
青年技術士交流委員会	29. 4. 22 (土)	損保会館	62 (*)
機械部会	29. 4. 14 (金)	日本技術士会会議室	13 (*)
船舶・海洋／航空・宇宙部会	30. 1. 27 (土)	機械振興会館	10
電気電子部会	29. 4. 21 (金)	日本技術士会会議室	48 (*)
化学部会	29. 4. 1 (土)	日本技術士会会議室	13 (*)
	29. 5. 25 (木)		4 (*)
繊維部会	29. 5. 13 (土)	タワーホール船堀	5 (*)
金属部会	29. 4. 19 (水)	ニューオータニイン東京	7 (*)
資源工学部会	29. 4. 10 (月)	日本技術士会会議室	4 (*)
上下水道部会	29. 5. 27 (土)	日本技術士会会議室	8 (*)
衛生工学部会	29. 4. 20 (木)	日本技術士会会議室	8 (*)
農業部会	29. 4. 1 (土)	日本技術士会会議室	10 (*)
森林部会	29. 4. 17 (月)	主婦会館プラザ	17 (*)
水産部会	30. 1. 13 (土)	機械振興会館	3
経営工学部会	30. 3. 23 (金)	機械振興会館	19 (*)
情報工学部会	30. 2. 9 (金)	機械振興会館	19
応用理学部会	29. 4. 18 (火)	日本技術士会会議室	3 (*)
生物工学部会	30. 2. 10 (土)	大阪府立中央会館	3
	30. 2. 17 (土)	機械振興会館	9
	30. 2. 24 (土)	札幌市中央区民センター	0
環境部会	29. 4. 27 (土)	日本技術士会会議室	(*)
原子力・放射線部会	29. 4. 7 (金)	日本技術士会会議室	6 (*)
北海道本部	30. 1. 31 (水)	ホテル札幌ガーデンパレス	18
東北本部	30. 2. 17 (土)	TKR カンファレンスセンター	19
北陸本部	30. 2. 3 (土)	新潟市技術センタービル	11
中部本部	30. 3. 24 (土)	国立大学法人 名古屋工業大学	54 (*)
近畿本部	30. 2. 24 (土)	大阪科学技術センター	50
中国本部	30. 2. 10 (土)	広島市文化交流会館	26
四国本部	30. 1. 20 (土)	徳島市アミコミーティングルーム	13
九州本部	29. 4. 15 (土)	福岡商工会議所	30 (*)
神奈川県支部	29. 4. 1 (土)	カフェドゥラプレス	50 (*)
埼玉県支部	29. 5. 27 (土)	新都心ビジネス交流プラザ 4F	11 (*)
長野県支部	29. 4. 8 (土)	ホテル信濃路	20 (*)
千葉県支部	29. 5. 20 (土)	千葉市ビジネス支援センター	17 (*)
茨城県支部	29. 4. 1 (土)	ひたちなか市ワークプラザ勝田	18 (*)
栃木県支部	29. 6. 3 (土)	ホテルニューみくら	8 (*)
青森県支部	29. 7. 1 (土)	ウェディングプラザ・アラスカ	12 (*)
秋田県支部	29. 4. 8 (土)	パーティーギャラリー イヤタカ	14 (*)
岡山県支部	30. 2. 24 (土)	奉還町りぶら	12
鳥取県支部	30. 1. 27 (土)	鳥取シティーホテル	10

山口県支部	30. 1. 27 (土)	山口グランドホテル	6
熊本県支部	29. 6. 17 (土)	メルパルク熊本	2
宮崎県支部	29. 5. 20 (土)	ホテル メリージュ	0

※右欄の参加者数は、新合格者の参加者数、(*)印は一次及び二次合同開催のため新合格者の参加総数を示す。

資料 25 技術士第二次試験合格者祝賀会

主 催	開催日	会 場	参加者数
CPD支援委員会	29. 4. 22 (土)	喜山倶楽部	99
青年技術士交流委員会	29. 4. 22 (土)	損保会館	62 (*)
機械部会	29. 4. 14 (金)	日本技術士会会議室	13 (*)
船舶・海洋／航空・宇宙部会	30. 3. 24 (土)	機械振興会館	0
電気電子部会	29. 4. 21 (金)	日本技術士会会議室	48 (*)
化学部会	29. 4. 1 (土)	日本技術士会会議室	13 (*)
	29. 5. 25 (木)		4 (*)
繊維部会	29. 5. 13 (土)	タワーホール船堀	5 (*)
金属部会	29. 4. 19 (水)	ニューオータニイン東京	7 (*)
資源工学部会	29. 4. 10 (月)	日本技術士会会議室	4 (*)
上下水道部会	29. 5. 27 (土)	日本技術士会会議室	8 (*)
衛生工学部会	29. 4. 20 (木)	日本技術士会会議室	8 (*)
農業部会	29. 4. 1 (土)	日本技術士会会議室	10 (*)
森林部会	29. 4. 17 (月)	主婦会館プラザ	17 (*)
水産部会	29. 5. 13 (土)	日本技術士会会議室	3
経営工学部会	30. 3. 23 (金)	機械振興会館	19 (*)
情報工学部会	29. 4. 21 (金)	機械振興会館	15
応用理学部会	29. 4. 18 (火)	日本技術士会会議室	3 (*)
生物工学部会	29. 4. 15 (土)	日本技術士会会議室	14
環境部会	29. 4. 27 (土)	日本技術士会会議室	(*)
原子力・放射線部会	29. 4. 7 (金)	日本技術士会会議室	6 (*)
北海道本部	29. 4. 6 (木)	ホテル札幌ガーデンパレス	18
東北本部	29. 4. 28 (金)	ホテルメトロポリタン仙台	25
北陸本部	29. 4. 1 (土)	金沢市ANAクラウンプラザホテル	87
	29. 4. 16 (日)	新潟市ホテル日航新潟	11
中部本部	30. 3. 24 (土)	国立大学法人 名古屋工業大学	54 (*)
近畿本部	29. 4. 25 (火)	大阪科学技術センター	56
中国本部	29. 4. 22 (土)	広島市文化交流会館	19
四国本部	29. 5. 27 (土)	阿波観光ホテル	13
	29. 6. 3 (土)	えひめ共済会館	31
	29. 6. 30 (金)	高知会館	20
	29. 7. 5 (水)	ホテル パールガーデン	6
九州本部	29. 4. 15 (土)	福岡商工会議所	30 (*)
神奈川県支部	29. 4. 1 (土)	カフェドゥラプレス	50 (*)
埼玉県支部	29. 5. 27 (土)	新都心ビジネス交流プラザ 4F	11 (*)
長野県支部	29. 4. 8 (土)	ホテル信濃路	20 (*)
千葉県支部	29. 5. 20 (土)	千葉市ビジネス支援センター	17 (*)
茨城県支部	29. 4. 1 (土)	ひたちなか市ワークプラザ勝田	18 (*)
栃木県支部	29. 6. 3 (土)	ホテルニューみくら	8 (*)
青森県支部	29. 7. 1 (土)	ウェディングプラザ・アラスカ	12 (*)
秋田県支部	29. 4. 8 (土)	パーティーギャラリー イヤタカ	14 (*)
岡山県支部	29. 4. 8 (土)	ピュアリティまきび	7

鳥取県支部	29. 4. 8 (土)	鳥取しいたけ会館対翠閣	2
山口県支部	29. 4. 22 (土)	山口市菜香亭	3
熊本県支部	29. 6. 17 (土)	メルパルク熊本	5
宮崎県支部	29. 5. 20 (土)	ホテルメリージュ	5

※右欄の参加者数は、新合格者の参加者数、(*)印は一次及び二次合同開催のため新合格者の参加総数を示す。

資料 26 技術士業務に関する対外協力件数

業務形態	対応部門	依頼	不成立*	成約
技術指導	機械	14	12	2
	電気電子	14	13	
	化学	33	30	
	金属	10	10	
	建設	5	4	
	衛生工学	1	0	
	農業	1	1	
	経営工学	4	2	
	情報工学	6	5	
	応用理学	1	1	
	生物工学	1	1	
	環境	1	1	
	小計	91	80	2
	調査	機械	4	4
電気電子		8	6	1
化学		8	3	4
金属		1	1	
経営工学		5	4	1
情報工学		1	0	1
生物工学		1	0	1
小計		28	18	8
	合計	119	98	10

*不成立には応募者なしを含む

資料 27 技術支援基礎講座等

回	開催日	内 容	参加者数
1	9月12日(火)	技術支援基礎講座「JIS, 法文書など公文書の書き方・著作権法について」若鳥陸夫氏(技術士(電気電子), 元 JISC 情報部会規格調整臨時委員)	61
2	11月14日(火)	技術支援基礎講座「プロジェクトマネジメント革新～プロジェクトを成功に導くマネジメントを学ぶ～」芝尾 芳昭氏(イノベーションマネジメント株式会社 代表取締役社長, 経営学博士)	55
3	2月21日(水)	知的資産経営 WEEK2017 セミナー～知的資産経営における技術士への期待～(1)「知的資産経営について」後藤 慎平氏(経済産業省 経済産業政策局 知的財産政策室 室長補佐)(2)「ローカルベンチマークについて」飯田 祐大氏(経済産業省 経済産業政策局 産業資金課)(3)「ノウハウ秘匿のメリットとデメリット」高橋 政治氏(Kyoshin 技術戦略研究所 代表/ソナーレ特許事務所 パートナー 弁理士・技術士(金属部門))(4)「技術士の活動をサポートする特許情報及び検索サイト J-PlatPat の紹介」長部 喜幸氏(特許庁 総務部総務課特許情報室 特許情報企画調査班長)	99
4	3月28日(水)	技術支援基礎講座「企業支援における環境視点(省エネルギー・CO2削減)の取組み」(1)「省エネルギーに関する政策, 平成30年度予算(省エネルギー相談地域プラットフォーム)」辻 咲帆氏(経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部)(2)「CO2削減ポテンシャル診断事業について」田 脇 康広氏(技術士(環境), 総監)	77
述べ参加人数(有償参加者のみ)			292

資料 28 海外技術業務協力実務講習会

平成 29 年度 海外技術協力実務講習会	
サブタイトル：～海外活動を始めたい技術者のための海外活動の事例紹介、海外の活動の場の見つけ方～	
日 時	平成 30 年 1 月 26 日 (金) 13:00～17:00
会 場	機械振興会館 B2-1 会議室
主 催	海外活動支援委員会
後 援	独立行政法人 国際協力機構 (JICA)
参加者数	76 名 (講師、委員会委員含む)
——内容——	
開会挨拶	国際委員会委員長 坂井 剛太郎氏
講演 1	「中南米地域の動向と海外における安全対策」 独立行政法人国際協力機構 国際協力人材部 人材養成課 近藤 貴之課長
講演 2	「海外業務はコミュニケーション力が最大の武器」 リンテック技術士事務所 所長、技術士(機械部門) 鹿野 英男氏
講演 3	「中国におけるコンサルタントとリスクマネジメント」 技術士(機械部門) 松井 武久氏
ミニ講演 1	「海外業務紹介の状況報告」 技術士(経営工学部門) 鈴木 陸夫氏
ミニ講演 2	「英文契約書～国際取引と契約書の基本～」 技術士(総合技術監理・情報工学部門) 吉村 元一氏
ミニ講演 3	「海外技術コンサルティング業務に伴う外為法遵守事項実務」 海外活動支援委員会委員長、技術士(化学部門) 中村 博昭氏
ミニ講演 4	「海外企業での安全管理指導のポイント」 重松労働安全コンサルタント事務所 所長 重松 欣司氏
閉会挨拶	海外活動支援委員会委員長、技術士(化学部門) 中村 博昭氏
総合司会	海外活動支援委員会副委員長 畠山 晶氏

資料 29 第 30 回修習技術者研修セミナー

テ ー マ：持続可能な循環型社会実現に向けて
～SDGs（持続可能な開発目標）・2030 年に向けて何ができるか考えよう！～

開 催 日：平成 29 年 11 月 11 日（土）13：00～18：00

会 場：日本技術士会 葦手第二ビル 会議室

参加者数：12 名

挨拶・開会宣言（修習技術者支援委員会 委員長 石附 尚志）

講演：「廃棄物処理と専門技術」

東京農工大学客員教授 米田 健一 氏（技術士：化学部門、衛生工学部門）

グループワーク 1

ショートプレゼンタイム

講師によるヒントタイム

グループワーク 2

ファイナルプレゼンテーション・フィードバック

講評・修了証授与

資料 30 修習技術者キャリアプランセミナー

<p>テ ー マ：技術士を目指すキャリアプランを作ろう 日 時：平成 30 年 3 月 10 日（土）10：00～18：10 会 場：機械振興会館 B2-1 会議室 参加者数：24 名</p>
<p>開会挨拶～ ＊ 講演 1：技術士に必要なキャリア 石附 尚志（修習技術者支援委員会 委員長） ＊ 講演 2：先輩技術士の事例紹介 古賀 沙織 氏（資源工学部門） 田中 仁美 氏（生物工学部門） 宇都宮 陽一 氏（情報工学部門、総合技術監理部門） 河野 千代 氏（建設部門） ＊ 講演 2 の間に、昼食、自己紹介、役割分担 ＊ グループ討議：課題「技術士になるためのキャリアプラン」の作成 ＊ グループ討議結果の発表、質疑応答</p>
<p>講評 野村 晃平（修習技術者支援委員会 副委員長）</p>

資料 31 修習技術者研修会／修習技術者発表研究会

(1) 修習技術者研修会 ※右欄の数字は参加者数、()はそのうち一般の参加者数を示す

29. 4. 8	<p>課 題：コミュニケーション能力の向上 テ ー マ：明日から仕事が楽しくなる！ 業務遂行能力を 2 倍にする新形態コミュニケーション</p>	<p>亀山 雅司 氏</p>	<p>32 (6)</p>
	<p>大阪大学大学院 招へい准教授 原子力安全推進協会安全工場部安全総括 G 副部長</p>		
29. 5. 13	<p>課 題：「業務遂行能力」資質向上講座 テ ー マ：技術史、環境問題 第一部：生命の起源研究の最前線 第二部：人類史と気象変動の関係</p>	<p>丸山 茂徳 氏</p>	<p>47 (3)</p>
	<p>東京工業大学 地球生命研究所 特命教授</p>		
29. 6. 10	<p>課 題：「専門技術能力」コミュニケーション研修会 テ ー マ：働き方改革 まずは会議から！ ～決まらない会議はもうやめよう～</p>	<p>吉田 純一郎 氏</p>	<p>28 (4)</p>
	<p>PHP 研究所認定ビジネスコーチ</p>		
29. 7. 22	<p>課 題：「専門技術能力」資質向上講座 テ ー マ：技術者にとって必要なリーダーシップとはなにか</p>	<p>新井 敏夫 氏</p>	<p>18 (3)</p>
	<p>工学院大学 情報学部システム数理学科 教授</p>		
29. 9. 9	<p>課 題：「専門技術能力」資質向上講座 テ ー マ：不確実な状況下での意思決定 ～福島原発事故における津波対策～</p>	<p>中村 昌允 氏</p>	<p>17 (2)</p>
	<p>東京工業大学 環境・社会理工学院 特任教授</p>		

29. 10. 14	課 題：コミュニケーション能力の向上 テーマ：レゴ®シリアスプレイ®を活用したワークショップ ～新しい価値の創造～		20 (5)
	レゴ®シリアスプレイ® LSP ファシリテータ	城下 りえ 氏	
29. 12. 9	課 題：「業務遂行能力」資質向上講座 テーマ：効果的な IoT 導入プロセスについて		17 (2)
	株式会社日立産業制御ソリューションズ 企画統括本部 事業開拓本部	川村 智 氏	
30. 1. 20	課 題：「業務遂行能力」資質向上講座 テーマ：技術士の活躍事例と技術士になるために ～実践技術士の活躍事例と技術士に求められる資質能力について～		35 (7)
	工業所有権協力センター 主席部員、工学博士	井上 博文 氏	
	坂東技術士事務所 所長	坂東 大輔 氏	

(2) 修習技術者発表研究会

第 311 回 29. 5. 13	○リングについて～トラブル事例にみる課題～ 山田 徹〔修習技術者（化学）〕		47 (3)
	コンピュータの安全運用のために 谷川 一貴〔修習技術者（情報工学）〕		
	安全な水作り～沈殿池水質改善の分析・評価・指導～ 高木 将宣〔修習技術者（上下水道）〕		
第 312 回 29. 6. 10	社会人修士による修習活動 露木 完吾〔修習技術者（電気電子）〕		28 (4)
第 313 回 29. 9. 9	航空路監視用レーダーの時刻情報付与の課題と対策について 菅原 猛〔修習技術者（航空・宇宙）〕		17 (2)
第 314 回 29. 10. 14	アウトソーシング考 力石 賢〔修習技術者（経営工学）〕		20 (5)
第 315 回 29. 12. 9	飲料用包装容器の炭酸ガス排出量削減の取り組み 門奈 哲也〔修習技術者（経営工学）〕		17 (2)

資料 32 第 13 回全国防災連絡会議

テーマ 「地域防災力向上に向けて、技術士の役割」－災害に備える実践的な取り組み－

開催日：平成 29 年 10 月 20 日（金） 13：00～17：00

会 場：山口県健康づくりセンター 第 1 研修室

参加者：69 名

司会 防災支援委員会委員 丹治 和博

(1) 開 会 主催者挨拶 防災支援委員会 委員長 田村 裕美

副 会 長 日本技術士会 副会長 伊藤 徹

(2) 基調講演「地方自治体支援の対応課題」

関西学院大学 総合政策学部 准教授 照本 清峰 氏

(3) 各地域報告

「統括本部・地域本部からの防災・減災への取り組み」

グループ報告と質疑

司 会 統括本部 防災委員会 副委員長 幾野 豊

登壇者 統括本部 防災支援委員会 前委員長 上野 雄一

北海道本部 防災委員会 委員長 城戸 寛

中国本部 防災委員会 副委員長 山下 祐一

九州本部 防災委員会 委員長 矢ヶ部 秀美

(4) ワークショップ

(5) 大会宣言 「山口宣言」東北本部 防災委員会 委員長 斉藤 明

(6) 閉 会 閉会挨拶

第 13 回全国防災連絡会議 横浜宣言

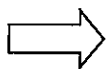
私たち技術士は、技術士プロフェッショナル宣言の精神に則り、国民の安全・安心な生活に貢献することを目指して、ここに「全国防災連絡会議山口宣言」を以下の通り宣言する。

1. 私たち技術士は、過去の大地震、大津波、土砂災害、水害の教訓を活かして、地域防災力向上のため、地域および関連組織との連携およびネットワークの構築、自治体等との協定締結等による連携強化を図り、社会貢献に努めます。
2. 私たち技術士は、専門知識や知見を駆使し、地域に根ざした防災学習を地域の方々と共に実施し、地域の防災力の向上に努めます。
3. 私たち技術士は、全国防災連絡会議の開催を継続し、安全安心な国土づくりに貢献します。

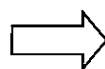
平成 29 年 10 月 20 日

公益社団法人 日本技術士会 防災支援委員会

2016
横 浜



2017
山 口



2018
郡 山

資料 33 新聞・雑誌等記事掲載一覧

発行年月日	新聞・雑誌名	主な内容
平成 29 年 4 月 5 日	月刊「OHM」	①平成 28 年度技術士第二次試験結果 ②平成 29 年度技術士第二次試験スケジュール
平成 29 年 12 月 5 日	月刊「電設技術」	平成 29 年度技術士第二次試験 電気電子部門 試験問題 必須科目Ⅰ、電気設備 選択科目Ⅱ、Ⅲ
平成 30 年 1 月 5 日	月刊「電設技術」	平成 29 年度技術士第一次試験 基礎科目 試験問題
平成 30 年 2 月 5 日	月刊「OHM」	①平成 29 年度技術士第一次試験結果 ②平成 30 年度技術士試験日程
平成 30 年 2 月 5 日	月刊「電設技術」	平成 29 年度技術士第一次試験 適性科目 試験問題
平成 30 年 3 月 5 日	月刊「電力土木」	平成 29 年度技術士第二次試験 試験問題（建設部門、総合 技術監理部門）、平成 30 年度技術士第二次試験の実施につ いて、平成 30 年度技術士第一次試験の実施について
平成 30 年 3 月 5 日	月刊「電設技術」	平成 29 年度技術士第一次試験 専門科目（電気電子部門） 試験問題

資料 34 技術士制度の講演会、説明会一覧

開催日	主催、開催場所等
平成 29 年 4 月 21 日（金）	日本大学理工学部（駿河台キャンパス）
平成 29 年 4 月 25 日（火）	日本大学生産工学部（津田沼キャンパス）
平成 29 年 6 月 22 日（木）	東京電機大学理工学部（鳩山キャンパス）
平成 29 年 6 月 28 日（水）	東京都建設局
平成 29 年 10 月 26 日（木）	国土交通省国土技術政策総合研究所
平成 30 年 3 月 22 日（木）	公益財団法人 東京都道路整備保全公社

※その他、地域本部、委員会等で開催

資料 35 後援、協賛等

(注) 29 年度中に依頼のあったもの (依頼があった順)

開催日	依頼元	後援・協賛・協力内容	
H29.6.1-2	震災対策技術展大阪実行委員会	第 4 回「震災対策技術展」大阪	後援
H29.9.4-5	公益社団法人電気化学会	「2017 年電気化学会セミナー 初心者のための電気化学測定法－実習編」	協賛
H29.6.2	システム監査学会	「設立 30 周年記念研究大会－統一論題「システム監査の過去・現在・未来-システム監査の歴史・課題と将来展開-」	後援
H29.10.04-7	UBMメディア株式会社	「食品開発展 2017」(ヘルスイングredientsジャパン/セーフティ&テクノロジージャパン/フード・テイストジャパン)	協賛
H29.05.10	公益財団法人 溶接接合工学振興会	『脆性破壊研究の最近の動向』	後援
H29.11.9	公益財団法人 板橋区産業振興公社	「板橋製品技術大賞」	後援
H29.5.27	一般社団法人 日本機械学会	「NO.17-50 第 18 回リーダーを目指す技術者倫理セミナー -ものづくりの現場における人材育成の現状と課題：技術伝承・技能伝承-」	協賛
H29.6.8	一般社団法人 日本原子力学会	「原子力総合シンポジウム 2017」	共催
H29.0909-0910	一般社団法人 日本機械学会	「2017 年度 計算力学技術者 (CAE 技術者) 資格認定事業」	協賛
H29.1014、1021	一般社団法人 日本機械学会	振動分野の有限要素解析講習会 (計算力学技術者 2 級検定試験対策講習会) NO.17-83 (関西地区会場)、NO.17-84 (関東地区会場)	協賛
H29.6.25	全日本理工科学生柔道連盟	「第 58 回全日本理工科学生柔道優勝大会」	後援
H29.8.31-0901	国立研究開発法人科学技術振興機構	「JST フェア 2017～科学技術による未来の産業創造展」	後援
H29.8.3-8.4	「震災対策技術展」東北実行委員会	第 8 回「震災対策技術展」東北	後援
H29.9.26-29	公益社団法人 日本冷凍空調学会	「2017 年度 日本冷凍空調学会年次大会」	協賛
H29.8.5-7	独立行政法人国立女性会館	「女子中高生夏の学校 2017～科学・技術・人との出会い～」	協賛
H29.8.7	一般社団法人 日本機械学会	「機械の日・機械週間」	協賛
H29.10.3	一般社団法人 日本鉄鋼協会	第 69 回白石記念講座「金属材料の弾塑性変形のマクロ・ミクロモデルの進歩」	協賛
H29.11.7・11.28	一般社団法人 日本鉄鋼協会	第 231.232 回西山記念技術講座「破壊力学」の進展とインフラ・構造物の信頼性	
H29.12.2-3	岐阜県工業高等専門学校	「第 14 回全国高等専門学校デザインコンペティション」	後援

H29.9.20	京都大学技術士会	第9回講演会 「工学と理学の狭間」	後援
H29.11.9-10	公益財団法人板橋産業振興公社	「第21回いたばし産業見本市」	後援
H29.9.1-10	首都防災ウィーク実行委員会	「第5回首都防災ウィーク」	後援
H29.9.13-15	一般社団法人次世代センサ協議会	「センサ・アクチュエータ・マイクロナノ/ウィーク 2017 次世代センサ総合シンポジウム“ニーズとシーズンの出会い”	協賛
H29.11.1-6	日本インダストリアル・エンジニアリング協会	「2017日本IE協会年次大会」	協賛
H29.11.10	気象影響防御技術コンソーシアム	「第2回 WEATHER-Eye オープンフォーラム」	後援
H29.10.27	システム監査学会	「第30回シンポジウム」	後援
H29.11.9	一般社団法人エレクトロヒート	「第12回エレクトロヒートシンポジウム」	協賛
H29.12.5	東京都、東京都中小企業振興公社	「平成29年度東京都中小企知的財産シンポジウム」	後援
H29.10.25	公益財団法人 溶接接合工学振興会	「第28回セミナー」	後援
H29.11.11	一般社団法人 日本機会学会	「第19回リーダーを目指す技術者倫理セミナー」	協賛
H30.2.2	一般社団法人 情報処理学会	「ソフトウェアジャパン 2018」	協賛
H30.2.8-9	震災対策技術展 横浜 実行委員会	第22回「震災対策技術展」横浜	後援
H29.12.11	公益社団法人 国民工業振興会	「最近の鉄鋼と未来」	後援
H30.2.27	輸出管理 DAY for ACADEMIA 実行委員会	「輸出管理 DAY for ACADEMIA2018」	後援
H30.2.8	公益財団法人 国民工業振興会	「最近の技術産業の動向」	後援
H30.3.8	独立行政法人 国立高等専門学校機構 仙台高等専門学校	「高専女子フォーラム in 北海道・東北」	後援
H30.3.26	公益社団法人 国民工業振興会	「バイオエコノミーの潮流について」	後援

資料 36 四役会議・常設委員長会議・地域本部長会議・部会長会議

(1) 四役会議 及び 常設委員長会議 (6 回)

開催日	審議・検討課題
平成 29 年 4 月 26 日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ・【四役会議のみ】技術士制度検討委員会による報告書について ・【四役会議のみ】次期常勤理事候補者について ・当面の主要日程について ・次回理事会 (5/10) において予定される審議事項等 ・各委員会からの報告等 ・その他
平成 29 年 6 月 28 日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ・【四役会議のみ】技術士制度改革の検討について ・【四役会議のみ】試験方法改正に向けての予定について ・【四役会議のみ】理事 (部会推薦) の委員会所属について ・【四役会議のみ】統括本部事務局移転概略スケジュールについて ・当面の主要日程について ・次回理事会 (7/5) において予定される審議事項等 ・各委員会からの報告等 ・その他
平成 29 年 9 月 6 日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ・当面の主要日程について ・【四役会議のみ】日本学術会議公開シンポジウムへの対応について ・【四役会議のみ】公明党愛知県本部団体懇談会への対応について ・【四役会議のみ】技術士制度検討委員会における検討事項について ・第 44 回技術士全国大会 (山口) について ・次回理事会 (9/13) において予定される審議事項等 ・その他
平成 29 年 11 月 8 日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ・当面の主要日程について ・【四役会議のみ】職員の人事案件について ・【四役会議のみ】技術士制度検討委員会における検討事項について ・【四役会議のみ】職員の採用活動状況報告について ・【四役会議のみ】機会振興会館内新事務局執務室について ・次回理事会 (11/15) において予定される審議事項等 ・その他
平成 29 年 12 月 26 日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・当面の主要日程について ・【四役会議のみ】職員採用最終面接試験について ・次回理事会 (1/10) において予定される審議事項等 ・その他
平成 29 年 3 月 7 日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ・当面の主要日程について ・【四役会議のみ】各部会からの資格活用に関する回答状況について ・【四役会議のみ】試験実施運営体制について ・【四役会議のみ】本会ホームページの改善について ・【四役会議のみ】事務局職員採用状況について ・次回理事会 (3/14) において予定される審議事項等 ・その他

(2) 地域本部長会議 (4回)

開催日	審議・検討課題
平成 29 年 6 月 14 日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度事業報告及び収支決算について ・平成 29 年度事業計画及び収支予算について ・平成 29 年度技術士第二次試験の受験申込状況について ・科学技術・学術審議会技術士分科会及び制度検討特別委員会について ・「技術士制度改革について (提言) - 中間報告 -」について ・その他・各地域本部からの審議事項、報告及び意見・要望等
平成 29 年 9 月 7 日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ・本会の重点活動項目について (会長) ・当面の主要行事予定について ・平成 29 年度技術士第二次試験筆記試験受験状況報告について ・平成 29 年度技術士第一次試験受験申込状況報告について ・公明党愛知県本部団体懇談会への対応について ・技術士制度検討委員会開催報告について ・統括本部事務局の移転スケジュール等について ・各地域本部からの審議事項、報告及び意見・要望等
平成 29 年 12 月 6 日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ・当面の主要行事予定について ・平成 30 年度以降の地域産学官合同セミナー開催元地域本部について ・平成 29 年度技術士第二次試験筆記試験結果について ・平成 29 年度技術士第一次試験実施状況について ・科学技術・学術審議会技術士分科会及び制度検討特別委員会報告について ・技術士制度検討委員会検討状況報告 ・移転後の統括本部事務局について ・講演会のインターネット配信システムの検討状況について ・各地域本部からの審議事項、報告及び意見・要望等
平成 30 年 3 月 20 日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ・当面の主要行事予定について ・平成 29 年度技術士第二次試験結果について ・科学技術・学術審議会技術士分科会及び制度検討特別委員会報告について ・技術士制度検討委員会検討状況報告 ・現役若手世代会員の CPD 活動の活性化について ・平成 30 年度事業計画、収支予算について ・インターネットによる立候補制度の導入について ・講演会のインターネット配信システムの検証状況について ・平成 30 年度地域本部での地域本部長会議開催について ・各地域本部からの審議事項、報告及び意見・要望等

(3) 部会長会議 (4回)

開催日	審議・検討課題
平成 29 年 5 月 17 日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部会活動計画の紹介 ・ 部会からの報告、討議等 ・ 委員会等から <ul style="list-style-type: none"> *平成 28 年度技術士第二次試験の結果について *科学技術・学術審議会技術士分科会報告について *技術士制度検討委員会の検討報告について *部会の役職者について *部会からの各委員会委員の推薦について (平成 29 年 7 月理事会審議事項) *参考 *当面の主要行事予定
平成 29 年 9 月 8 日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部会活動計画の紹介 ・ 部会からの報告、討議等 ・ 委員会等から <ul style="list-style-type: none"> *本会の重点活動項目について (会長) *平成 29 年度技術士第二次試験筆記試験受験状況報告について *平成 29 年度技術士第一次試験受験申込状況報告について *当面の主要行事予定について *第 44 回技術士全国大会 (山口) 開催準備状況について *技術士議員連盟の設立について *技術士制度検討委員会開催報告 *統括本部事務局の概略移転スケジュールについて *事務局移転後の部会による機械振興会館会議室の利用について *講演会のインターネット配信システムの検討状況について
平成 29 年 11 月 29 日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部会活動計画の紹介 ・ 部会からの報告、討議等 ・ 委員会等から <ul style="list-style-type: none"> *平成 29 年度技術士第二次試験筆記試験結果について *平成 29 年度技術士第一次試験実施状況について *科学技術・学術審議会技術士分科会及び制度検討特別委員会報告について *技術士制度検討委員会検討状況報告 *部会による機械振興会館内事務局会議室等の利用について *講演会のインターネット配信システムの検討状況について
平成 30 年 2 月 13 日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部会活動計画の紹介 ・ 部会からの報告、討議等 ・ 委員会等から <ul style="list-style-type: none"> *平成 29 年度技術士第一次試験結果について *平成 30 年度技術士試験日程について *文部科学省制度検討特別委員会等報告 *技術士制度検討委員会検討状況報告 (別冊) *技術士資格の社会での活用拡大について* *講演会のインターネット配信システムの検証状況について

資料37 委員会の会議開催状況

<p>倫理委員会 (7回) 倫理教育検討ワーキンググループ (6回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・最近の不祥事例等の調査と倫理綱領見直しの要否等の検討 ・第9回技術者倫理シンポジウムの開催と、第10回技術者倫理シンポジウムの企画 ・日本工学教育協会「技術者倫理調査研究委員会」で開発のモジュール型モデル・シラバスを基に、技術士が大学・高専等で担当する倫理講座用教材作成の基本的な考え方・構成を検討 ・月刊「技術士」倫理コーナーにシリーズ記事を掲載、並びに平成30年度の執筆掲載企画を検討 ・日本工学会「技術倫理協議会」の参加組織として、第13回公開シンポジウムの企画
<p>総務委員会 (6回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度新名誉会員及び会長表彰者の推薦について ・諸規則及び手引きの制定、改訂、廃止について ・平成29年度フェロー認定審査について ・役員候補者選出選挙におけるWEB立候補制度の検討 ・各地域本部の運営の個別事項に関する手引きについて ・平成29年度名誉会員、会長表彰、フェロー認定等関連日程について ・会員による登録グループの新規登録、登録取消及び登録先の変更について ・会員による登録グループの平成28年度活動報告の確認について ・地域本部関連事項検討小委員会からの報告に基づく検討について ・緩やかな連携について ・大学別技術士会との相互協力協定の締結
<p>企画委員会 (8回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度事業報告及び財務諸表等について ・講演会・見学会開催補助費運用規則の変更 ・対外活動費運用規則の変更 ・会員の会務活動中の事故に対する見舞金制度について ・他学協会との会費格差僅少化の検討について ・現役世代会員のCPD活動活性化について ・一般事業会計における新たな積立金の設置について ・平成30年度事業計画及び収支予算について
<p>研修委員会 (6回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小委員会における今期活動項目の検討 ・技術士CPD審査結果の承認 ・技術士CPD定期審査員の推薦 ・建設系CPD協議会への掲載プログラムの認定 ・技術士CPDガイドラインのCPD規則への位置づけの検討 ・技術士CPD認定制度の推進に係る意見交換 ・技術士CPDに係るホームページの改善案の検討 ・建設系CPD協議会、日本工学会CPD協議会の状況報告 ・JABEE委員の推薦
<p>広報委員会 (12回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・月刊『技術士』の企画・編集・発行 ・平成29年度特別号の発刊（平成29年7月号、平成30年1月号） ・月刊『技術士』投稿の手引き及び査読の手引き・マニュアルの見直し ・月刊『技術士』、ホームページ、マスメディア等を通じた対外的広報活動の推進 ・ホームページ「PEプラス」の充足 ・月刊『技術士』寄贈先の検討
<p>社会委員会 (5回) 工事監査支援ワーキンググループ (6回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・司法支援技術士データの管理 ・裁判所からの鑑定人等の推薦依頼対応 ・第2回司法支援講習会の企画と実施 ・第8回社会活動事例発表会の開催 ・社会委員会のホームページの充実と内容更新 ・技術士及び日本技術士会による社会活動の情報集約 ・平成30年度文部科学大臣賞（創意工夫功労者賞）の審査 ・工事監査支援ワーキンググループの受託活動

<p>国際委員会 (6回) 国際委員会幹事会 (6回) IEAワーキング グループ (4回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本技術士会英文ホームページの更新 ・国際委員会ホームページの更新・再構成 ・英文パンフレット・英文資料の更新および見直し ・英文移転挨拶状の作成、関係先配付 ・月刊技術士「世界への扉」執筆候補者推薦 ・シンガポールレビュー対応、ペルーレビュー対応 ・日本レビュー受審対応 (IEA-WG) ・IEA出張対応、FEIAP出張対応 ・APECエンジニア・データバンク対応 ・IES (シンガポール)、IMechE (英国)、EA (豪) との交流推進 ・英文覚書/契約書チェック体制の試行・検討 ・国際交流ガイドライン案の作成 ・安全保障貿易管理の啓蒙についての検討 ・外国人招へいに関する注意事項の検討 ・英文契約書に関するひな形・補助資料の検討 ・海外活動チェックリストの作成と補助資料の検討
<p>CPD支援委員会 (11回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・CPD中央講座 (5回) 及びCPDミニ講座 (3回) の開催 ・技術士フォーラム2017の開催 ・第35回技術士CPD・技術士業績・研究発表年次大会の開催 ・平成30年新春記念講演会の開催 ・技術士第二次試験合格者研修会・祝賀会の開催 ・CPD教材の作成
<p>修習技術者支援委員会 (11回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・月例セミナーの内容検討 (以下) ① 4月 課題： コミュニケーション能力の向上 ② 5月 課題： 「業務遂行能力」資質向上講座 ③ 6月 課題： 「専門技術能力」コミュニケーション研修会 ④ 7月 課題： 「専門技術能力」資質向上講座 ⑤ 9月 課題： 「専門技術能力」資質向上講座 ⑥ 10月 課題： コミュニケーション能力の向上 ⑦ 12月 課題： 「業務遂行能力」資質向上講座 ⑧ 平成30年 1月 課題： 「業務遂行能力」資質向上講座 ・修習技術者研修セミナーの内容検討 ・修習ガイダンスの内容検討 ・修習技術者キャリアプランセミナーの内容検討
<p>青年技術士交流委員会 (12回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各月例会の実施計画、実施報告 ・例会グループ、国際グループ、広報グループの活動報告 ・若手技術者向け研鑽事業の企画・実施 ・若手技術者の国際交流活動の企画・実施 ・全国大会における青年技術士交流委員会主催行事、交流会の企画・実施 ・各地域本部の青年技術士組織との交流 ・小学生向け理科教室などの社会貢献活動の企画・実施 ・大学生向け技術士説明会などの産学連携活動の企画・実施 ・研修委員会、広報委員会、国際委員会、修習技術者支援委員会、日韓技術士交流委員会への協力 ・日本技術士会活動のPR ・青年技術士交流委員会のホームページ、Facebookの定期更新および運営
<p>技術士活性化委員会 (12回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・技術士業務開業研修会の企画検討・実施 (入門コース5月、実践コース6月開催) ・技術支援基礎講座の企画検討・実施 (9月、11月、3月) ・知的資産経営WEEK2017の企画検討・実施 (2月開催) ・外部からの依頼対応報告及び今後の進め方検討 ・パーソナルDBの登録普及について検討 ・報酬アンケート調査結果の一般公開検討・公開実施

	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会ホームページのコンテンツ充実 ・技術士が実施した業務事例の調査報告の企画検討
防災支援委員会 (4回) 幹事会 (8回)	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時支援活動計画の策定 ・第13回全国防災連絡会議(山口)の企画、運営、報告 ・首都防災ウィークの企画、出展、報告 ・第22回震災対策技術展の企画、出展、報告 ・地域本部活動報告の共有 ・減災マップ作成のまち歩き訓練の支援(青梅市、横浜市)、報告 ・減災マップ作成のまち歩き研修 ・熊本城修復事業講演会の企画、開催、報告 ・自治体との協定ひな型策定 ・技術士パーソナルデータベース登録の見直し ・災害復興まちづくり支援機構行事の支援、報告 ・墨田区災害復興支援組織行事の支援、報告 ・秋葉原駅周辺地区帰宅困難者対策地域協力会行事の支援、報告 ・BCP運用報告
科学技術振興支援 委員会 (12回) 第一小委員会 (8回) 第二小委員会 (6回) 第三小委員会 (6回)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度理科教室等の支援の申請要領及び申請書の改定版に向けての作業、改訂 ・サイエンスアゴラ2017の公募申請の検討と公募案の精査。採択後の講師等の依頼及び交渉 ・サイエンス・インカレ2017の論文審査、技術士会会長賞の候補論文の選定 ・第2回理科実験事例発表大会の企画、内容精査、講師選定及び交渉、特別講師の選定、謝金の決定、会場の選定、設営
日韓技術士交流委員 会 (10回)	<ul style="list-style-type: none"> ・第47回日韓技術士国際会議(釜山)の企画・開催 ・第47回日韓技術士国際会議(釜山)の開催結果報告 ・第48回日韓技術士国際会議(栃木県・日光)の企画
海外活動支援委員会 (11回) フォードンの会 (2回)	<ul style="list-style-type: none"> ・4月28日月例委員会 ・5月15日～5月18日 中国シ博訪問交流会 ・5月26日月例委員会、台湾交流会(品川プリンス) ・6月23日月例委員会 ・7月14日中国深圳友の会 ・7月28日月例委員会 ・中国台州市企業面談会合(神谷町) ・8月13日フォードンの会 ・8月25日月例委員会 ・9月18日～9月20日中国上海交流会 ・9月22日月例委員会 ・9月28日中国大使館主催交流会(ニューオータニ) ・10月27日月例委員会 ・11月5日フォードンの会 ・11月24日月例委員会 ・11月30日中国山東省訪問報告会 ・12月7日韓日財団交流会合 ・12月22日月例委員会 ・1月26日月例委員会、海外実務講習会 ・2月23日月例委員会 ・3月6日春節祝賀会 ・3月13日～3月21日ベトナムダナン市訪問交流会

男女共同参画推進委員会（委員会4回）	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度以降の委員会体制の検討と女子学生支援小委員会、D & I 小委員会の活動方針と活動計画の検討 ・当委員会Webサイトのメニューの見直し ・技術サロン（6月、9月、12月、3月）の実施と各回の内容報告 ・技術サロンの運営マニュアルの整備 ・女性会員・準会員の活動状況に関する調査ととりまとめ ・D & I 学習会の企画と運営 ・平成30年度に実施する当委員会主催行事（「技術者と働き方改革」フォーラム～イクボスによる多様な人材のマネジメント～）の企画と講師人選、運営計画等
技術士制度検討委員会（11回）	<p>委員会、幹事会とも毎回下記のテーマについて検討を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 更新制度 ② 技術士補の在り方 ③ 国際通用性 ④ 資格の相互活用
役員候補者選出選挙管理委員会（1回）	<ul style="list-style-type: none"> ・開票作業（H29年度役員候補者選出選挙等） ・開票結果の確認 ・インターネットを通じて立候補届出を行うシステムの構築提言

資料38 部会の開催

部会	機械	船舶・海洋/ 航空・宇宙	電気電子	化学	繊維	金属	資源工学
回数	15	7	10	12	10	7	6

部会	建設	上下水道	衛生工学	農業	森林	水産	経営工学
回数	10	14	5	6	5	6	9

部会	情報工学	応用理学	生物工学	環境	原子力・ 放射線	部会計
回数	12	11	7	12	7	171

資料39 地域本部の会合

地域本部名	全体会合等	役員会	委員会	講演会 見学会	その他	計
北海道	1	4	89	55	24	173
東北	1	4	20	26	3	54
北陸	1	3	16	12	17	49
中部	1	6	83	41	43	174
近畿	1	6	36	144	1	188
中国	1	5	41	34	50	131
四国	1	4	24	30	11	70
九州	1	13	40	32	52	138
計	8	45	349	374	201	977

資料 40 県支部の会合

(1) 関東甲信地域における県支部

県支部名	全体会合等	役員会	委員会	講演会 見学会	その他	計
神奈川	2	11	50	27	2	92
埼玉	1	7	60	19	15	102
山梨	1	8	0	6	1	16
長野	1	6	0	6	1	14
千葉	1	10	57	13	17	98
茨城	1	12	36	19	1	69
栃木	1	10	12	13	6	42
群馬	1	6	6	5	3	21
計	9	70	221	108	46	454

(2) 地域本部管轄下の県支部

管轄本部	県支部名	全体会合等	役員会	委員会	講演会 見学会	その他	計
東北本部	宮城	1	5	0	7	0	13
	青森	1	3	1	5	0	10
	秋田	1	3	0	4	0	8
	福島	1	4	9	4	0	18
	山形	1	4	5	3	7	20
	岩手	1	6	10	15	1	33
北陸本部	富山	1	4	0	2	2	9
中部本部	愛知	1	9	14	8	44	76
	岐阜	1	5	5	6	5	22
	三重	1	4	4	6	6	21
	静岡	1	6	0	6	35	48
近畿本部	兵庫	1	8	8	7	4	28
中国本部	岡山	1	5	3	7	6	22
	山口	1	5	17	3	0	26
	鳥取	1	6	5	7	5	24
九州本部	大分	2	3	0	4	5	14
	鹿児島	1	3	3	4	1	12
	宮崎	1	1	0	4	1	7
	佐賀	1	5	0	2	0	8
	熊本	1	8	0	4	6	19
	長崎	1	6	0	5	1	13
計		22	103	84	113	129	451

資料 41 部会における講演会

※右欄の数字は参加者数、()はそのうち一般の参加者数を示す

機械部会

29. 5. 12.	廃棄物焼却技術の過去・現在・将来について	株式会社タクマ 技術企画部課長	太田智久	95 (13)
29. 6. 9.	空気圧駆動の機械要素に関する研究の紹介 (九州本部より Web 中継)	福岡工業大学 准教授	加藤友則	78 (5)
	自動化設備におけるチョコ停対策	竹内技術士事務所 所長	竹内利一	
29. 7. 14.	全員で取り組む町工場の省エネ対策	株式会社ミヨシ 代表取締役	杉山耕治	74 (14)
29. 8. 18.	誰でも使える 3D プリンターを用いた教育教材作り (中国本部より Web 中継)	西日本工業大学 教授	高橋圭一郎	93 (4)
	I C T時代の技術者倫理	日本技術士会 倫理教育研究WGメンバー	飯田敏幸	
29. 9. 8.	モノづくり技術遺産の編纂“エアコン”	国立科学博物館 主任調査員	荒野喆也	58 (0)
29. 9. 30.	伝わる x 魅せる=人や組織を動かす！プレゼンテーションの構造研修	プレゼンテーションデザイナー	市川真樹	33 (21)
29. 10. 13.	再生可能エネルギーの利活用と小規模分散発電システム	早稲田大学院 教授	関谷弘志	61 (19)
29. 10. 20.	山口県の歴史と産業	技術士(機械部門)中国本部	高井英夫	25 (0)
	気象が航空機に及ぼす問題と研究開発プログラム WEATHER=Eye	宇宙航空研究開発機構 研究リーダー	神田淳	
29. 11. 10.	技術士の役割と生き甲斐	技術経営研究センター 所長	松井武久	55 (1)
29. 12. 8.	試作した精密機械 半導体装置のトラブル対策	米屋技術士事務所 代表	金友正文	50 (2)
	出版を実現するためには	株式会社秀和システム	丑丸博樹	
30. 2. 9.	ものづくりにおけるシミュレーションの役割	日本機械学会 筆頭副会長	佐々木直哉	82 (15)
30. 3. 9.	たかがねじ！されどねじ！いまだに起こるねじ締結の問題と解決へのアプローチ	芝浦工業大学 教授	橋村真治	86 (6)

船舶・海洋／航空・宇宙部会

29. 5. 27	宇宙環境が宇宙機に及ぼす影響について	宇宙技術開発株式会社	島袋 翼	23
29. 7. 29	航空機の耐雷対策	株式会社 SUBARU 航空宇宙カンパニー 担当	西 孝裕樹	27 (1)

29. 9. 30	零戦の振動	株式会社エアロメカ 代表取締役 縮役	安藤 隆幸	29 (1)
29. 10. 20	気象が航空機に及ぼす問題と研究 開発プログラム WEATHER-Eye	宇宙航空研究開発機構 研究 領域主幹	神田 淳	28 (0)
29. 11. 25	航空用ガスタービンエンジンの性能 試験について	川重明石エンジニアリング 株式会社 プロシニア	犬飼 保夫	20 (0)
30. 1. 27	ロケット開発の挑戦 H-IIA/H-IIB から H3 へ	宇宙航空研究開発機構 フ ァンクションマネージャ	寺島 啓太	18 (11)
30. 3. 24	技術の急成長の風は海洋にも吹い ているか？	海洋研究開発機構 海洋工 学センター 部長	吉田 弘	26 (1)

電気電子部会

29. 4. 4	再エネ大量導入時代の電力システム ～太陽光・風力発電出力予測のニ ーズと開発状況～	名古屋大学 未来材料エネル ギー研究所 教授	加藤 丈佳	90
29. 7. 14	大転換期の技術経営～デジタル化が 破壊した産業における生き残り戦略 事例～	芝浦工業大学 工学マネジメ ント研究科 教授	田中 秀穂	80
29. 9. 21	誤解だらけのエネルギー・環境問題 ～2050年の日本のエネルギーを考 える～	元東京電力社員、NPO 法人国際 環境経済研究所 理事、筑波大 教授	竹内 純子	78
29. 12. 7	3Dプリンタ創生期の顛末	快友国際特許事務所 弁理士	小玉 秀男	55 (4)
30. 2. 6	航空機の認証制度	国立研究開発法人 宇宙航空 研究開発機構 (JAXA) 航空技 術部門 次世代航空イノベ ーションハブ 研究リーダ、日本 技術士会 船舶・海洋/航空・宇 宙部会 部会長	神田 淳	79 (11)

化学部会

29. 5. 25	耐熱性セラミックスコーティング 技術の開発	ファインセラミックスセン ター 専務理事	高田 雅介	45 (2)
	A B S系樹脂の品質設計の自在性	JSR トレーディング (株)、 技術士	前田 征希	
29. 6. 22	昆虫の構造発色を化学する	東京工業大学 名誉教授	渡辺 順次	24 (2)
29. 7. 1	細胞機能を観る、制御する新しい 化学技術	東京大学大学院 化学生命 工学専攻 教授	山東 信介	42 (1)
	化学と生物/情報工学の複合領域 における化学物質のリスク評価研 究	花王 (株) 安全性科学研究所、 技術士	本田 大士	
29. 7. 27	バイオマスの化成品原料への変換 技術	産業技術総合研究所 化学 プロセス研究部門 研究グ ループ長	山口 有朋	30 (6)
	次世代自動車 (HEV, PHEV, EV, FCEV) におけるプラスチックへの 期待	ポリマー技術・ビジネス開発 研究所、技術士	岩野 昌夫	

29. 8. 24	素材産業とI o T ー第4次産業革命への対応ー	経済産業省製造産業局素材産業課 課長補佐	辻井 翔太	41 (2)
29. 9. 21	新しい機能の発掘を目指したガラス素材の開発	産業技術総合研究所 高機能ガラスグループ長	赤井 智子	33 (2)
	SIP 革新的構造材料～航空機用構造材料開発の概要	科学技術振興機構 技術主幹、技術士	宮井 清一	
29. 11. 16	飾り物ではない糖鎖の実力～血液型から抗体医薬開発まで～	野口研究所 糖鎖生物学研究室室長	天野 純子	22 (1)
	ゴム製リングについて～使用方法とトラブル事例～	(株) 森清化工	山田 徹	
29. 11. 18	出願・権利化の際に知財部・弁理士とのコミュニケーションを円滑にする基礎知識	セントラル硝子(株)、技術士	奥井 隆雄	22 (2)
	特許文書からの化学物質情報の抽出と知識化	(株) 富士通研究所、技術士	池田 紀子	
29. 12. 21	結晶スポンジ法 ー結晶化を必要としない革新的なX線構造解析法ー	東京大学大学院工学研究科教授	藤田 誠	32 (1)
	構造解析のための電子顕微鏡観察技術	神奈川県立産業技術総合研究所、技術士	矢矧 束穂	
30. 1. 25	100億年の“地球史”を読み解く	東京工業大学地球生命研究所 特命教授	丸山 茂徳	40 (1)
	化学の果たしてきた役割 これまで及びこれから	元三菱化学科学技術研究センター副社長、技術士	宮澤 千尋	
30. 2. 22	抗生物質学からケミカルバイオロジーへの展開	理化学研究所環境資源科学研究センター 副センター長	長田 裕之	17
30. 3. 22	リン循環産業ビジョンによる未来に輝くPバリューチェーン	早稲田大学リンアトラス研究所 客員教授	大竹 久夫	34 (1)
	光ファイバー技術の進化	住友電気工業(株) 光通信研究所、技術士	榎本 正	

繊維部会

29. 5. 13	CFRP・CFRTPの成形・加工の現状と将来	東京工業高等専門学校 機械工学科 教授	木村 南	20 (5)
29. 6. 7	絹繊維の特性と新たな利用展開	平安油脂化学工業株式会社 代表取締役	八木 敏之	17 (2)
29. 7. 8	最近の繊維製品のクレーム事例 (PART 2)	(地独) 東京都立産業技術研究センター 多摩テクノプラザ 研究員	池田 善光	19 (0)
29. 9. 14	紙の製造工程と最近のトピックス	(公財) 紙の博物館 事務主事	広田 覚	14 (0)
29. 11. 22	艦艇装備研究所の研究概要とその成果	艦艇装備研究所 研究調整官	渡邊 憲司	17 (0)
29. 12. 16	自己変革で未来をひらくNIPPONの工場	佐藤繊維株式会社 代表取締役社長	佐藤 正樹	20 (2)
30. 2. 22	機能性食品の評価	(地独) 神奈川県立技術総合研究所	亀井 飛鳥	12 (1)
	光触媒の抗菌・抗ウイルス評価	常勤研究員	石黒 斉	

金属部会

29. 2. 15	塗装前における素地調整方法の検討	株式会社 IHI 技術開発本部	井合雄一	29
29. 3. 15	最近のアルミニウムに関して	日本軽金属株式会社 蒲原製造所	上野拓朗	29
29. 4. 19	自動車の電動化と金属加工	ホンダエンジニアリング株式会社	秋吉裕和	30
29. 5. 17	自動車における環境規制と対応表面技術	愛三工業株式会社設計品質統括部	岡田恭明	27
29. 6. 21	通信設備・装置における腐食事例と対策	日本電信電話株式会社NTTデバイスイノベーションセンター	渡辺正満	35
29. 7. 19	ものづくりを支える材料技術とトライボロジー：製鉄設備	安藤技術士事務所	安藤克己	28
29. 8. 16	モータ用電磁鋼板	MTS 山崎技術士事務所	山崎一正	41
29. 11. 15	薄鋼板の製造技術	東洋鋼板／富士テクニカ宮津	田代裕二	26

資源工学部会

29. 4. 10	釧路コールマインの経過と今後の展望	釧路コールマイン(株)上席常務執行役員	松本裕之	19 (6)
29. 6. 13	メタンハイドレート資源開発に係る生産手法開発の現状について	産業技術総合研究所創エネルギー研究部門 副部門長 メタンハイドレートプロジェクトユニット ユニット代表	天満則夫	25 (3)
29. 9. 5	鉱業の歴史と事業の多角化	資源経済戦略研究会 代表	澤田賢治	13 (1)
29. 10. 10	鉱物資源開発に伴う環境影響調査の現状と課題	JAMSTEC 海洋研究開発機構 海底資源研究開発センター 調査役	福島朋彦	16 (1)
29. 12. 16	地球最後の地磁気逆転を記録した「千葉セクション」の研究とその意義	茨城大学 理学部 教授	岡田 誠	14 (1)
30. 2. 6	JICA 長期専門家派遣－キルギスでの技術協力	日本技術士会 理事	境 大学	9 (0)

建設部会

29. 4.19	最近の気象情報サービスとは	(株)ウェザーニューズ 取締役運営最高責任者	安部 大介	54 (3)
29.6.21	構造物の戦略的なメンテナンス	(一財)首都高速道路技術センター 上席研究員	高木 千太郎	50 (6)

29.9.20	PC 橋の点検診断技術の最前線	極東興和(株) 営業本部補修部長	岡田 繁之	32 (4)
29.10.18	交通ビッグデータ等の新技術を活用した、都市のコンパクト化に向けた取り組みの考え方	国土交通省 国土技術政策総合研究所 都市施設研究室長	新階 寛恭	56 (7)
29.11.15	CIM のガイドラインについて	一社)日本建設情報総合センター 研究開発部 主任研究員	影山 輝彰	33 (9)
29.12.13	第2世代のアセットマネジメント: ISO55001 は何をもたらすか?	次期土木学会長 京都大学経営管理大学院 教授	小林 潔司	62 (5)
30.1.17	国内外の自転車政策の最新動向	(株)三井住友トラスト基礎研究所 研究理事	古倉 宗治	29 (7)
30.2.14	道路施設の老朽化対策事業の推進	(株)長大 執行役員	井波 文明	31 (2)

上下水道部会

H29. 05. 27	下水道技術の過去、現在、未来	(株)日水コン技術統括本部 技師長	村上孝雄氏	33 (8)
H29. 07. 20	水道における事故事例と対策	公益社団法人日本水道協会 水道技術研究所主任研究員	鈴木 顯氏	21 (1)
H29. 08. 26	歳下水道管網のマンホール蓋飛散と空気圧縮を伴う豪雨水流出解析モデル	愛媛大学名誉教授	渡邊正弘氏	17
	室管理や危機管理への視点	(株)日水コン事業統括本部 技師長	佐々木隆氏	
	福山市における合流式下水道改善事業について	福山市上下水道局施設部水質管理センター次長	山口裕子氏	
H29. 09. 29	下水道におけるストックマネジメント事例 (管路、土木、設備)	公益社団法人日本下水道協会専務理事	黒住光浩氏	31 (6)
H29. 10. 20	講演1 水道の計画的な整備から基盤強化へ～水道の民営化～	防府市上下水道局総務課主幹	上野忠彦氏	32
	講演2 人口減少を踏まえた宇部市上下水道局の取組み	宇部市上下水道局副局長	田原 宏氏	
H30. 01. 27	技術士資格取得とキャリアアップに向けて～技術士を目指す皆さんへ～	メタウォーター(株)PPP本部 プロジェクト計画部事業企画第二グループ主任	井家上孝氏	22 (11)

衛生工学部会

29. 4. 20	再発防止対策から未然防止対策への組織構築	(株)ゆたか技術士事務所 所長	加藤 豊	34 (8)
29. 5. 18	住宅の省エネルギーについて	信州大学 准教授	高村秀紀	33 (0)
29. 6. 15	太陽熱利用の新たな展開	(株)寺田鉄工所 代表取締役社長	寺田雅一	24

29. 10. 12	ゼロエネルギー建築と居住域空調方式の可能性	芝浦工業大学 教授	秋元孝之	34
29. 11. 16	最近の廃棄物・リサイクル行政の動向について	環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物適正処理推進課長	瀬川恵子	39
29. 12. 14	小諸市庁舎等および小諸厚生総合病院エネルギーサービス事業	(株)シーエナジー 営業部部長補佐	鬼塚隆之	35

農業部会

29. 4. 1	アグロメディカルフーズが目指す農業と食と健康	一般社団法人 アグロメディカルフーズ研究機構 理事	石原 清史	30 (10)
	今後の農業農村整備の方向	参議院議員	進藤 金日子	
29. 6. 3	土地改良区における小水力発電の取り組みについて	那須野が原土地改良区 参事	星野 美恵子	40 (1)
	食品リサイクル堆肥の現状と展望	一般財団法人日本土壌協会 専務理事	猪股 敏郎	
29. 8. 5	災害への新たな食の備え 被災地の課題と健康二次被害をなくすための展開	新潟大学農学部応用生物化学科/地域連携フードサイエンスセンター 准教授	藤村 忍	47 (3)
	平成 28 年度 食料・農業・農村白書について	農林水産省 大臣官房広報評価課 情報分析室 課長補佐	阿部 哲	
29. 12. 2	①主要農作物種子法について ②グローバル GAP について	横田コーポレーション 代表	横田 敏恭	36 (1)
	農業分野の課題に取り組むデュポンバイオニアの戦略	デュポン・プロダクション・アグリサイエンス株式会社 バイオテクノロジー事業部 事業部長	笠井 美恵子	
30. 2. 17	農林水産分野におけるイノベーションの推進	前農林水産省技術総括審議官 兼 農林水産技術会議事務局長	西郷 正道	32 (0)
	日本とブラジルの協力によるセラード農業開発の奇跡	村田技術士事務所 代表	村田 稔尚	

森林部会

29. 4. 17	「森林と薬草」—自然との共生—	(株)和漢薬研究所取締役 医学博士	岩田尚登	70 (56)
29. 6. 14	「海外協力における治山技術の現状と今後の展望」	林野庁森林利用課森林吸収源情報管理官	五関一博	39 (19)
	林道施設の長寿命化対策	アジア航測株式会社 社会基盤システム開発センター 総括技師長	大西満信	
	治山施設の長寿命化対策	(一社)日本森林技術協会 業務執行理事	落合博貴	
29. 9. 15	森林景観整備の考え方と実践	日本特用林産振興会企画課長	由田幸雄	25 (16)

29. 11. 27	シカ問題の「これまで」と「これから」を考えるー問題の経緯と今後ー	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 四国支所 研究専門員	奥村栄朗	31 (23)
30. 2. 2	LCAによる木材利用の再評価	東京農工大学 大学院 農学 研究員 准教授	加用千裕	29 (22)

水産部会

29. 5. 13	窒素・炭素の安定同位体を用いた海洋の生態系構造研究	(国研)水産研究・教育機構 中央水産研究所	杉崎 宏哉	19 (4)
29. 7. 1	新たな漁港漁場整備長期計画について 漁村の女性たちによる魅力的な起業活動の実践	水産庁漁港漁場整備部 部長 東海大学海洋学部海洋文明 学科 教授	岡 貞行 関 いずみ	26 (6)
29. 9. 2	最近の二枚貝養殖の動き	東京海洋大学 産学・地域連携 推進機構客員教授	鳥羽 光晴	18 (1)
29. 11. 11	付加価値向上を目指す生産現場の技術改革 網代漁業(株)における定置網漁獲の現状 冷凍水産物生産と流通の進歩 地域産品のブランド化とその事例	東京海洋大学海洋学部海洋 文化政策学科 教授 魚屋あじろ定置網 店長 杉本技術士事務所 所長 伊藤忠食品(株) 品質保証部長	馬場 治 西潟 正人 杉本 昌明 片山 博視	25
30. 1. 13	魚介類の自然毒についてー特に有毒魚についてー	おさかな普及センター資料 館々長	坂本一男	21 (4)
30. 3. 10	世界のまぐろ市場と中西部太平洋に於けるまき網漁業の国際競争	技術士 部会員	川本 太郎	17 (4)

経営工学部会

29. 4. 25	光り輝く三陸を目指して	三陸鉄道株式会社 代表取締役 社長	中村 一郎	48 (0)
	「岩手三陸協力WG」の活動報告	渡辺技術士事務所	渡辺 芳照	
29. 6. 7	東京オリンピック観戦客輸送の余裕を首都圏電車ネットワークは持っているか	中央大学情報工学科 教授	田口 東	42 (0)
29. 8. 26	人工知能と人間社会のロードマップ ~人工知能が人間のコミュニケーション・パートナーになる日~	NTTコミュニケーション科学 基礎研究所 研究主任 博士 (工学)	杉山 弘晃	102 (2)

	ビッグデータから価値を見出す AI: Hitachi AI Technology/H	株式会社日立製作所 研究 開発グループ	小山 光	
	AIによるスマートロジスティク ス	株式会社日立物流主任技師 博士(工学)	荒 宏視	
29. 10. 4	ISO 9001:2015 のサービス関連企 業への展開と企業倫理	志澤技術士事務所	志澤 達司	41 (0)
	ISO9001:2015 に基づいて初めて のQMS 構築に取り組んだ製造業の事 例	熊田技術士事務所	熊田 成人	
30. 2. 17	学会/産業界における経営工学の 位置づけと将来性	(株) 産業革新研究所	熊坂 治	51 (5)
	サービス業での分析手法確立～ホ テル内レストランの改善～	(株) ME マネジメントサー ビス	添田 英敬	
	合意形成のための経営工学	(株) SK 物流技術研究所	中澤喜久雄	

情報工学部会

29. 4. 21	技術を生かす話す力、聴く力の磨 き方	一般社団法人 話力総合研究 所 理事長	秋田 義一	45 (11)
29. 5. 19	ビッグデータと AI	法政大学 理工学部創生科学科教授	玉井 哲雄	75 (3)
29. 6. 23	FinTech	株式会社じぶん銀行 システ ム企画部長	島本 栄光	53 (5)
29. 7. 8	数式をなるべく使わない AI	学習院大学 教授	白田由香利	36 (3)
29. 8. 18	今後の技術士制度の在り方につ いて	放送大学 教授	中谷多哉子	52 (3)
29. 9. 22	これからの防災を考える ～日本 の災害対応の現状と課題を踏まえ た災害対応トレーニングセンター のあるべき姿～	東京大学 大学院情報学環/生産技術研 究所講師	沼田 宗純	51 (2)
29. 10. 14	システム開発におけるトラブルの 模擬裁判	桃尾・松尾・難波法律事務所 弁護士	尾城 亮輔	33 (2)
29. 12. 2	ICT 社会におけるリスク対応技術 及び応用	横浜国立大学 リスク共生社会創造センタ ーセンター長/大学院環境情 報研究院 教授	野口 和彦	25 (1)
30. 2. 9	量子コンピュータの最新動向	東京工業大学 教授	西森 秀稔	58 (14)
30. 3. 31	データサイエンティストとワーク ショップ	筑波大学 大学院ビジネス科学研究科 教授	倉橋 節也	28 (3)

応用理学部会

	応用理学部会の紹介	応用理学部会長 ((公社) 日本測量協会)	木寺幸司	
29. 4. 18	合格直後から加速する！ 技術士資格の活かし方	そめい技術士事務所	大藪 剣吾	25 (3)
	技術士二次試験合格へ向けて	パシフィックコンサルタンツ(株)	野池 耕平	
	二次試験合格に向けて意識したこと	アジア航測(株)	山田 秀之	
29. 5. 16	早期地震警報 - 鉄道における現状とチャレンジ	(公社) 鉄道総合技術研究所 鉄道地震工学研究センター 室長	山本 俊六	40 (1)
29. 6. 20	3次元半導体技術と加速器に用いる二次元センサーについて	東北マイクロテック(株) 代表取締役	元吉 真	35 (1)
29. 7. 18	日本画岩絵具からみえてきた無限のひろがり	女子美術大学 芸術学部 美術学科日本画専攻 教授	橋本 弘安	29 (1)
29. 8. 22	2015年ネパール地震での土砂災害ハザードマップ作成と国際協力について	パシフィックコンサルタンツ(株)	柴田 悟 中里 薫	34 (0)
29. 9. 19	海域観測から南海トラフ地震に迫る	国立研究開発法人海洋研究開発機構 地震津波海域観測研究センター長	小平 秀一	30 (2)
29. 10. 20	最近の多発する自然災害と地盤リスク	(株)環境地質 代表取締役	稲垣 秀輝	31 (0)
	水・空気浄化と電解オゾン	山口東京理科大学 教授	金田 和博	
	電波で見る宇宙の姿	山口大学 時間学研究所 教授	藤沢 健太	
29. 11. 21	将来世代のための新しい山道創り (新工法による登山道計画)	(株) MTS 雪氷研究所 代表取締役社長	松田 益義	26 (1)
29. 12. 16	地球最後の地磁気逆転を記録した「千葉セクション」の研究とその意義	茨城大学理学部 教授	岡田 誠	63 (1)
30. 1. 16	最新のGNSS技術や衛星測位動向 (準天頂衛星含む)	東京海洋大学 准教授	久保 信明	28 (6)
30. 2. 20	がんワクチンの結合特性解析	(株)富士通研究所 R&D マネジメント部	池田 紀子	34 (0)
	卓上型射出成型機の実用化を目指して	伊井デバイス 社長	伊井 宏聡	
	現場感覚をどのように伝えるか	パシフィックコンサルタンツ(株)	三尾 栄治	

生物工学部会

29. 4. 15	技術士として歩んできた道	松田技術士事務所所長	松田 正一	29 (14)
29. 5. 26	種々の醗酵製品と生産技術開発	株式会社カネカ	神田 彰久	2 (150)
	日本における細胞治療製造の現場と課題	大阪大学	齋藤 充弘	
29. 6. 10.	遺伝子クローニングの各種技術を体験した 35 年間の研究概要	早稲田大学理工学術院	丹生谷 博	33
29. 10. 14	日本のバイオ医薬品製造技術の現状と今後	シミック JSR バイオロジックス株式会社 取締役	横田 匡美	83
	バイオ医薬品製造技術-品質向上とコスト低減	株式会社日立製作所 産業・流通ビジネスユニット C00	村上 聖	
	チャイニーズハムスター由来細胞を用いた組換えタンパク質生産細胞構築技術の開発	次世代バイオ医薬品製造技術研究組合主任研究員、大阪大学招聘教員	山野 範子	
	抗体精製用アフィニティ担体の高機能化	株式会社カネカ バイオテクノロジー開発研究所	西八條 正克	
29. 12. 9	発酵法による食品廃棄物からの水素生産	サッポロビール株式会社	岡田 行夫	42
	アミノ酸類の晶析技術	佐野技術士事務所、東京農業大学	佐野 千明	
	お酒造りににおける酵母の役割	キリン株式会社	吉田 聡	
	機序の異なる細胞毒性試験を用いたたばこ評価結果の比較	日本たばこ産業株式会社	田中 仁美	
30. 2. 10	乳癌転移の予防法の開発	京都大学	伊東 潤二	14 (3)
30. 2. 17	技術士になろう！～私が技術士になるまで。そして・・・～	株式会社テクノプロテクノプロ・R&D 社	鈴木 幸子	29 (9)
30. 2. 24	SDGs に対して技術士は何ができるか	江本技術士事務所	江本 匡	10

環境部会

29. 05. 25	平成 29 年度 環境省重点施策について～主に、生物多様性政策関連～	環境省 自然環境局 総務課課長補佐	香具 輝男	25 (1)
29. 06. 22	「再生可能エネルギーが進む欧州におけるエネルギー政策と最新技術の動向」	長田 技術士事務所	長田 雅史	39 (2)
29. 07. 28	「自治体視点のパリ協定ー東京都の地球温暖化対策の現在と今後」	東京都環境局 地球環境エネルギー一部 総量削減課 課長	三浦 亜希子	35 (4)
29. 08. 24	【技術情報交流会】 「新東名高速道路愛知県区間における自然環境保全措置とその効果について」	春田環境計画事務所	春田 章弘	18 (1)

29.09.28	「需要予測で経営力を強化する —電力・食品の需要予測事例—」	一般財団法人 日本気象協会	中塚 誠次	22 (2)
29.11.16	「神社の自然・文化資源の保全の機能： 宗像・沖ノ島と関連遺産群の世界遺産登 録」	宗像大社宮司	葦津 敬之	22 (2)
29.12.21	【忘年会】並びに【情報交流会】 「世界の水あれこれ（コーカサス）」	横須賀水と緑の研究会	高橋 弘二	18 (1)
30.01.25	「2017年7月九州北部豪雨災害の報告」	(株)ダイエーコンサルタンツ	佐伯 佳美	26 (0)
30.02.22	「グリーンインフラを巡る国内外の動 向と今後の展開」	三菱UFJリサーチ&コンサル ティング(株)	西田 貴明	38 (3)
30.03.28	「化石燃料の枯渇もたらす経済成長 の終焉」	平田技術士・労働安全コンサル タント事務所	平田 賢太郎	

原子力・放射線部会

29.4.18	安全文化フォーラムディスカッション			7
29.5.23	安全文化フォーラムディスカッション			8
29.6.23	スーパーサイエンス部放射線班と して東日本大震災後の取り組みで 学んだこと	福島県立福島高校教諭及び 生徒2名	原 尚志 生徒2名	45 (5)
29.7.21	地域に根ざす経営 ～東日本大震 災を乗り越えて～	東北電力(株) 原子力部副部 長	小保内秋芳	27 (4)
29.9.15	各国における原子力規制の動向 (深層防護/リスク評価/安全文 化を含む)	東京大学 教授	岡本孝司	31 (10)
29.11.17	原子力施設の廃止措置の現状と課 題 - 諸外国の実施状況と反映 -	エネルギー総合工学研究所 特任参事	林道寛	29 (7)
30.1.19	廃炉戦略プランの検討状況	原子力損害賠償・廃炉等支援 機構 (NDF) 執行役員	山本哲夫	33 (12)
30.3.2	住民目線のリスク・コミュニケー ションを考える(4)	東北学院大学教養学部 准教授	鈴木努	32 (1)

資料 42 部会における見学会

※右欄の数字は参加者数、()はそのうち一般の参加者数を示す

機械部会	29. 12. 1.	いすゞ自動車株式会社 藤沢工場	22
電気電子部会	29. 5. 9	電力中央研究所 横須賀地区	47
	29. 6. 6	巨大物流ターミナル「羽田クロノゲート」(ヤマトグループ)	40
	29. 10. 20	マツダ(株) 防府工場	53 (1)
	29. 11. 17	横浜みなと博物館・帆船日本丸&三菱みなとみらい技術館	35
	30. 3. 7	MRJ ミュージアム&あいち航空ミュージアム	44
化学部会	29. 4. 27	日本原子力研究開発機構 J-PARC センター	29
	29. 10. 26	塩事業センター 海水総合研究所	27 (2)
繊維部会	29. 6. 7	富岡製糸場と絹産業遺産群	17 (2)
	29. 9. 14	(公財) 紙の博物館	14
	29. 11. 22	防衛装備庁艦艇装備研究所	17
	30. 2. 22	花王(株)川崎工場 (地独)神奈川県立産業技術総合研究所殿町支所	12 (1)
金属部会	29. 10. 20	超高温材料研究センター	18
資源工学部会	29. 5. 16	茨城県高萩市菊池寛実記念高萩炭礦資料館 茨城県日立市日鉱記念館	8
建設部会	29.5.12	鉄建建設(株) 建設技術総合センター 見学	17
	29.7.21	東京都 水素情報館東京スイソミル 見学	22
	29.8.25	国土交通省 ハッ場ダム建設工事現場 見学	35 (1)
上下水道部会	H29. 10. 10 ～ H29. 10. 15	・ブータンの上下水道施設	10
	H28. 12. 07	恵比寿地区地域冷暖房施設	19 (1)
衛生工学部会	29. 7. 20	キリンビール横浜工場	36
	29. 9. 21	TOTO テクニカルセンター (新宿)	28
	29. 10. 20	防府市クリーンセンター	14

	30. 2. 15	杉並清掃工場（建替）	18
	30. 3. 19	首都圏外郭放水路	29
農業部会	29. 10. 13	①鋸南町役場、②須藤牧場、③千葉県畜産総合研究センター嶺岡乳牛研究所、④千葉県酪農のさと（③の隣接施設/展示館）	28 (2)
経営工学部会	29. 7. 6	造幣局さいたま支局	27
	29. 11. 7	所沢航空発祥記念館 カネパッケージ株式会社（入間市）	24 (1)
情報工学部会	29. 10. 20	マツダ(株) 防府第1工場	53
	30. 1. 17	国立研究開発法人 理化学研究所	32
生物工学部会	29. 7. 28	日機装株式会社 金沢製作所 （メディカル工場、宗桂会館）	14
環境部会	29. 10. 18	東京外かく環状道路	20 (2)
原子力・放射線部会	29. 5. 26	東北電力(株)女川原子力発電所	11
	30. 1. 26	福島県環境創造センター	19 (5)

資料 43 地域本部における主な講演会等

※右欄の数字は参加者数、()はそのうち一般の参加者数を示す

北海道本部

29. 4. 21	社会インフラにおけるFRP材料の活用の最前線	室蘭工業大学大学院 講師	栗橋 祐介	9 (7)
29. 4. 22	平成28年豪雨災害により被災した高原大橋の仮復旧工事について	荒井建設(株) 土木技術部長	岡崎 竜志	30 (27)
	田舎から世界への挑戦(私のビジネス感を変えた技術士資格)	日東建設(株) 代表取締役	久保 元	
29. 5. 10	家畜ふん尿は廃棄物か? 資源か?	一般財団法人畜産環境整備機構 参与、麻布大学獣医学部 客員教授(畜産環境保全論)	羽賀 清典	7 (8)
29. 5. 12	オホーツク地域における道路事業について	国土交通省北海道開発局網走開発建設部北見道路事務所長	林 華奈子	15 (100)
	i-snowへの取り組み	斜里建設工業(株) 代表取締役	土田 好起	
		北海道開発局建設部道路維持課課長補佐	鈴木 善人	
29. 5. 12	「廃棄物焼却設備の過去・現在・未来」(日本の廃棄物焼却の歴史、設備概要、日本・世界の現状、今後の動向)	(株)タクマ 東京技術企画部 課長	太田 智久	15 (8)
29. 5. 26	生物多様性指数から見た河畔林再生	函館市企業局	吉田 一雄	30
	建設事業における振動・騒音発生事例	(株)ノース技研	清水 亮輔	
	高流動コンクリートを用いた既設道路護岸の拡幅改良	(株)東鵬開発	原田 雄一	
29. 5. 26	新たな北海道総合開発計画と北海道水素地域づくり	北海道開発局開発監理部開発連携推進課 開発企画官	本田 肇	21 (5)
29. 5. 29	日本海沿岸の津波浸水想定について	北海道総務部 危機対策局 危機対策課 主査	早坂 優	51 (10)
29. 6. 2	羅臼町礼文の法面災害地質調査にて難航した機材搬入	拓北地下開発(株) 取締役技術部長	福田 正人	23 (15)
	東日本大震災直後の建設工事現場の経験	萬木建設(株) 取締役副社長	漆崎 要	
29. 6. 5	Hopeful? 水素エネルギー技術開発	IHI 運搬機械(株) 北海道営業所 専任技術者	園田 隆	12 (2)
29. 6. 9	磯焼け対策技術に関する道総研水産試験場の研究について	(地独)北海道立総合研究機構 中央水産試験場 資源増殖部資源増殖グループ専門研究員	千川 裕	22 (45)

	洋上風力発電の現状および北海道における今後の導入へ向けて	北海道科学大学 都市環境学科教授	白石 悟	
29. 6. 9	商品為替市場見通し～年後半の景気後退リスク～	(株) マーケット・リスク・アドバイザリー代表取締役	新村 直弘	22 (7)
	レジリエンスの時代～レジリエンス認証制度と今後求められる BCP とは	(株) 寶示戸 代表取締役	寶示戸 嘉子	
29. 6. 30	北海道の集約型都市構造のあり方と道路インフラ維持管理の現状と課題	一般社団法人北海道舗装事業協会専務理事	小松 正明	19 (1)
29. 7. 3	水素社会は、本当に到来するか？	池田煖房工業(株) 理事技術統括部長	永瀬 次郎	11 (2)
29. 7. 5	2017 年下期経済見通し～市場リスクの把握と対応の必要性	(株) マーケット・リスク・アドバイザリー代表取締役	新村 直弘	165 (31)
29. 7. 7	技術者倫理 2.0 ～人と社会が「よく生きる (well-being) ことを目指して」～	東京工業大学 リベラルアーツ研究教育院 教授	札野 順	58 (20)
	旭川工業高等専門学校等における共同授業について	(株) 構研エンジニアリング技術顧問	池田 憲二	
	社長の横やり (企業倫理と技術者倫理) - 技術者倫理教育の教材試案として -	(株) 豊水設計専務取締役	川浦 広樹	
29. 7. 14	全員で取り組む町工場の省エネ対策	(株) ミヨシ代表取締役社長	杉山 耕治	11 (7)
29. 7. 28	新長期計画を踏まえた北海道の第1種、第2種漁港整備について	北海道水産林務部漁港漁村課課長	苔米地 庄吾	27 (44)
	漁港漁場施設設計 (波浪関係) について～改正点を中心に～	(株) アルファ水工コンサルタンツ技術顧問	中山 哲巖	
29. 8. 23	青年技術士の起業者から学ぶ ”	ケーエヌプラン代表	永岩 研一 朝日 考輔	25 (9)
		(株) MIERUNE 代表		
29. 8. 25	橋梁点検・診断業務について	(株) 東鵬開発	茂木 凌太	9 (26)
	橋梁補修設計について	(株) ノース技研	渡邊 潤	
	橋梁点検・診断業務の動向調査と今後の展開について	(株) エジソンブレイン	奈良 哲男	
29. 9. 1	室蘭～宮古のフェリー就航に向けて	室蘭市港湾部港湾政策課主幹	西館 武志	9 (5)
29. 9. 2	豪雨災害から身を守る	一般財団法人 日本気象協会北海道支社防災対策室長	松岡 直基	0 (121)

29. 9. 12	JIS, 法文書など公文書の書き方・著作権法について	技術士[電気電子]、元 JISC 情報部会規格調整臨時委員	若鳥 睦夫	4 (3)
29. 9. 14	熊本地震に伴う熊本城緊急対策の事例と復旧工事(案)について	(株)大林組	入江 真吾	10 (5)
29. 9. 29	北海道における再生可能エネルギーとダム再生について	北海道開発局河川計画課 河川計画管理官	吉村 俊彦	10 (5)
29. 10. 6	資源管理と漁家経営を両立する資源管理支援システム	(地独)北海道立総合研究機構稚内水産試験場調査研究部管理増殖グループ主査	佐野 稔	10 (38)
	ウラジオストクを中心とするロシア極東の港湾情勢	北海道開発局 稚内開発建設部 稚内港湾事務所第2工務課計画係長	伊藤 雅和	
	稚内港クルーズ拠点港へ向けた取り組みについて	稚内市役所建設産業部物流港湾課事業推進グループ主査	扇谷 憲生	
29. 10. 10	コンクリート構造物の耐震設計法と中越地震及び東北地方太平洋沖地震	日本コンクリート工学協会会長 長岡技術科学大学名誉教授	丸山 久一	80 (30)
	平成 28 年 8 月一連台風による十勝地方の中小河川災害と復旧	北海道十勝総合振興局帯広建設管理部災害復旧推進室長	石黒 元昭	
28. 8. 19	東北大震災の復興を経験して～復興に関わった経過、内容、まちづくりの現場、課題～	パシフィックコンサルタンツ(株)北海道支社	山崎一弘	18 (3)
29. 10. 13	～北海道を元気にする提案に向けたアプローチ～ [実践編] マッキンゼー流「問題解決思考」ワークショップセミナー	ビジネス・ブレイクスルー大学 大学院 マーケティング部	窪田 悠	17 (6)
			金子 雅彦	
29. 10. 13	再生エネルギーの利活用と小規模分散発電システム	早稲田大学大学院 環境・エネルギー研究科 教授	関谷 弘志	11 (6)
29. 10. 23	「いままでとこれから」の「我が国すいさんとみなと(漁港)」のはなし	(一社)全日本漁港建設協会会長	長野 章	32 (90)
29. 11. 1	ホバークラフトの作成	日本技術士会中国本部	鶏内 敬三	5
	投影万華鏡・風力発電	日本技術士会北海道本部	小山田 応一	
	すごいぞ、日本の化学力!	日本技術士会近畿本部	関口 芳弘	
29. 11. 8	アラゴの円盤・LED アート・合わせ鏡	慶応大技術士会	外館 秀一	56 (62)
	国際派技術士となるための English 勉強術	坂東技術士事務所代表	坂東 大輔	
29. 11. 10	最先端ビジネス思考で人生にイノベーションを	北海学園大学 大学院経営学研究科・経営学部教授	菅原 秀幸	20 (130)
29. 11. 11	札幌の“道”のはじまり～街の発展と道づくり～	(株)あるた出版「0. tone」編集部デスク	和田 哲	

29. 11. 14	プロジェクトマネジメント革新～プロジェクトを成功に導くマネジメントを学ぶ～	イノベーションマネジメント (株) 代表取締役社長	芝尾 芳昭	3 (6)
29. 11. 15	我が国の地熱発電の現状・特徴・設備容量・今後の課題について	(株) 東亜エンジニアリング技術顧問	中田 光治	15 (3)
29. 12. 1	航空レーザの最新動向について	(株) タナカコンサルタント地理空間情報部	丸田 健司	7 (2)
	洪水浸水想定区域図の利活用	(株) タナカコンサルタント技術3部課長	巻口 義博	
29. 12. 1	「多方面な海の調査」～空から、海底から～	(株) まつやコンサルタンツ代表取締役	松澤 皇	15 (22)
	「豪雨災害後の河川一次調査と復旧に向けた課題」	(株) 紅葉流域設計 代表取締役	紅葉 克也	
30. 1. 19	北海道における集落対策の現状と課題	北海道総合政策部地域政策課集落対策・地域対策グループ主幹	山下 哲也	19
30. 1. 26	高規格道路における路体外盛土とコスト縮減効果	(株) 東鵬開発	阿部 敏之	17 (15)
	既設橋梁の損傷事例と補修	(株) ノース技研	山崎 佑磨	
		(株) ノース技研	渡辺 潤	
	北海道新幹線 村山トンネル施工サイクル	岩田地崎建設(株)	中田 暁之	
	函館新外環状道路 見晴トンネル施工について	伊藤組土建(株)	齊藤 寛治	
	産学官連携による海藻のブランド化	(株) ノース技研	布村 重樹	
スイスの社会基盤整備	函館工業高等専門学校教授 社会基盤工学科 教授	澤村 秀治		
30. 1. 26	我が国の揚水式発電所建設における課題から学ぶ	東電設計(株) 代表取締役会長	増田 民夫	32 (5)
30. 2. 2	海氷のはなしと寒冷沿岸域チームでの研究概要	国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所寒地水圏研究グループ 寒冷沿岸域チーム主任研究員	木岡 信治	21 (49)
	衛星画像による海底被覆物マップを用いた漁場環境の評価手法について	国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所寒地水圏研究グループ 水産土木チーム研究員	梶原 瑠美子	
	漁港内泊地をナマコ増殖場へ有効活用するための検討について	北海道水産林務部水産局漁港漁村課海岸漁港事業グループ専門主任	井上 真仁	
	リニューアールパネルを用いた港湾・漁港構造物の補修方法の紹介	日本データサービス(株) 水工第I部課長	若森 宣人	
30. 2. 9	ものづくりにおけるシミュレーションの役割	日本機械学会 筆頭副会長	佐々木 直哉	12 (6)
30. 2. 16	ワインの潮流と北海道産ワインの可能性	有限会社インターリンクジャパン代表	阿部さおり	16 (8)

	道産食材の可能性・ワインに合う北海道産の「食」	フードコーディネーター	金子 由美	
30. 2. 27	北海道の水道のなりたち・変遷 ～水供給インフラの視点から～	(株)日水コン 水道事業部	竹村 雅之	72 (27)
	H28 台風による JR の橋梁被害の災害復旧について	北海道旅客鉄道(株) 鉄道事業本部	小西 康人	
	第8期北海道総合開発計画の概要と北海道開発局における取り組み～生産空間確保・維持のための取り組み～	北海道開発局 建設部道路計画課道路調査官	池田 武司	
	セイコーマートにみる地域産業、地域インフラのあり方について	(株)セコマ代表取締役社長	丸谷 智保	

東北本部

29. 4. 28	「近未来技術による地方創生」－交通・エネルギー・医療のトータルネットワークシステムの提案－	東北大学未来科学技術共同研究センター 教授	長谷川史彦	80 (23)
29. 5. 12	「地熱の利用:地中熱から超臨界地熱まで」	東北大学大学院環境科学研究科地球物質・エネルギー学研究室教授	土屋範芳	
29. 5. 23	これからの農業戦略～オーガニック農業の可能性を考える～	宮城大学講師	谷口葉子	21 (26)
29. 6. 9	「ワイヤレス給電とその応用」～走行中給電・移動体・医療機器～	東北大学名誉教授 未来科学技術共同研究センター次世代移動体グループ	松木英敏	25
28. 6. 10	宮城県女川町の復興と未来	宮城県女川町長	須田善明	312 (120)
29. 6. 9	「地中熱ヒートポンプシステムの応用理学」	土地地質(株)工務部	岡林昌宏	
	「環境行政における環境計測に携わって」	東北大学工学部・工学研究科・技術部	丸尾知佳子	
29. 6. 15	大島架橋事業について	宮城県気仙沼土木事務所大島架橋建設班班長	赤池光弘	41 (3)
29. 7. 6	「東日本大震災からの復旧・復興について」	宮城県公営企業管理者	遠藤信哉	
29. 7. 21	「仙台付近の水理地質と梅田川への片思い」	ATS(株)	守屋資郎	
	「若手育成の現状～技術者の技術力向上とワークライフバランスを例に」	(株)ダイヤコンサルタント	伊藤靖雄	
29. 7. 28	再生可能エネルギーへの視点	ゼネラルヒートポンプ工業(株)再生可能エネルギー研究所	小倉怜子	31 (30)
		サンポット(株)営業推進部	村上知詠里	

29. 8. 18	深成岩地域の地下水調査の有効性 ～双葉郡葛尾村の例～	新協地水株式会社 技師長	谷藤允彦	12
29. 9. 8	”機能”を創り出す新しいものづくりの提案	東北大学准教授	水谷正義	20 (2)
29. 9. 28	きずなのちから	福島大学 共生システム理工学 類	上石美咲	
	水力発電が日本を救う	元国土交通省河川局長	竹村公太郎	
29. 10. 13	「古い時代のテフラを識別する～ アバタイト微量元素をもちいたテ フラの対比」	東北大学大学院博士後期課程	桑原里	
	「ベトナム地すべりツアー報告」	(有)ジオプランニング	今野隆彦	
29. 11. 16	進化するドローンの業務用途活用	株式会社ブイキューロボティ クス代表取締役社長	出村太晋	33 (18)
29. 11. 17	「ARmKeypad」～ウェア ラブルを用いた身体操作デバイ ス化～	日本電気株式会社 SI・サー ビス市場開発本部	乾健太郎	13 (14)
29. 12. 8	「大規模盛土造成地滑動崩落～熊 本地震(益城町)の概要～」	(株)復建技術コンサルタント	市川健	
	「大規模盛土造成地滑動崩落～熊 本地震で発生した事例紹介～」	(株)復建技術コンサルタント	三上登志男	
29. 12. 11	「Lifeの中にWorkをおこう!」～ 考え方なら変えられる～」	マンガ家	羽賀翔一	20
30. 1. 24	地域資源としての農村～農村の 活性化をさぐる～	(株)ゆいネット代表	稲葉雅子	41 (41)
	圃場モニタリング技術の最前線～ UAV活用の可能性～	東北工業大学准教授	牧雅康	
30. 2. 9	「2011年東北地方太平洋沖地震に 伴う地下水の水質変化～宮城県亘 理町・山本町の事例～」	東北農政局農地質管	藤元栄一	
	「小規模河谷における地質モデル の作成事例」	(株)東北ボーリング	菊地真	
30. 3. 30	地中熱利用型空調設備の概要と性 能検証	株式会社ユアテック 技術開発センター	山本昌志	114 (63)

北陸本部

29.4.16	新潟県内技術士(補)有資格者懇談 会特別講演 「先人に学ぶ「技術屋」の誇り」	株式会社新潟日報事業社 代表 取締役社長	鈴木 聖二	39 (11)
29.7.8	北陸本部分年次大会特別講演 ①「「聴く・読む・伝える」の三本の矢」	北陸朝日放送(株)報道制作局制 作部部長	金子 美奈	56 (12)
	②「最近の金融経済について」	北國銀行頭取(金沢商工会議所 会頭)	安宅 建樹	

29.9.26	<p>第20回北東3地域本部技術士交流研修会 「テーマ:北東アジア地域を中心とした地域間技術交流」</p> <p>①基調講演:「北東アジア交流の現状と展望」</p> <p>②講演:「地域間技術交流の40年」</p>	<p>(公財)環日本海経済研究所 調査研究部長・主任研究員</p> <p>日本技術士会参与・名誉本部長 新潟モンゴル国名誉領事</p>	<p>新井 洋史</p> <p>中山 輝也</p>	66 (4)
29.10.6	<p>青年技術士交流委員会 新潟県建設関連産業パワーアップ小委員会講演会 テーマ:女性・若手で考える建設関連産業の未来の集い</p> <p>「僕らが描く建設産業の未来像」</p>	<p>新大工学部准教授</p>	<p>大竹 雄</p>	12 (70)
29.11.22	<p>CPD講演会 テーマ:日本海国土軸 北陸からの発信</p> <p>講演:「福井のネットワークを考える～道路から水辺まで～」</p> <p>パネルディスカッション「日本海国土軸 北陸からの発信」 ・パネラー</p> <p>・コメンテーター</p> <p>・コーディネーター</p>	<p>福井河川国道事務所長</p> <p>エヌシーイー(株)常務取締役</p> <p>大日本コンサルタント(株)北陸支店 技術部主幹</p> <p>金沢市都市整備局都市計画課課長補佐</p> <p>フォレスト計画事務所代表</p> <p>福井河川国道事務所長</p> <p>(株)日本海コンサルタント専務取締役</p>	<p>中村 圭吾</p> <p>小見 直樹</p> <p>酒井 信次</p> <p>大家 弘聡</p> <p>林 博</p> <p>中村 圭吾</p> <p>埴 正浩</p>	37 (39)
29.12.5	<p>第5回防災講演会 テーマ:北陸地方の大規模災害と備え</p> <p>①「北陸地方の大規模災害の記録と教訓の紹介」</p> <p>②「富山県の大規模災害と教訓から－38豪雪、56豪雪の記録とその後の取り組み－」</p> <p>③「福井県の大規模災害と教訓から－福井地震の記録と教訓－」</p> <p>④「北陸地方の地震・火山活動と備え－白山火山を例として－」</p>	<p>北陸本部防災委員長</p> <p>北陸本部防災委員</p> <p>北陸本部防災委員</p> <p>北陸本部防災委員会顧問 金沢大学理工研究域教授</p>	<p>平野 吉彦</p> <p>大門 健一</p> <p>川崎 敏明</p> <p>平松 良浩</p>	33 (35)

30.1.27	<p>青年技術士交流委員会主催 冬の講演会 (テーマ:活力を生む経営企画・イベント・製品への取り組み方)</p> <p>①地域・企業の特長を活かす経営改善の進め方 ～ 海外商取引、出向経験を踏まえて～</p> <p>②MICE(マイス)で新潟の地域力アップ ～新潟のイベントを例に～</p> <p>③地域のオンリーワンを目指す製品への取り組み方 ～ドイツ仕込の時計専門店の技術を例に～</p>	<p>NEPPU JAPAN 代表</p> <p>(株)新宣取締役社長</p> <p>(有)南雲時計店代表</p>	<p>富山 聡仁</p> <p>加藤 竜司</p> <p>南雲 達也</p>	40 (39)
30.2.20	<p>技術者倫理講習会 (テーマ:不確実性に専門技術者はどう対応すべきか、公益性を確保するための技術者の役割と責任)</p> <p>①「次世代技術者の育成と技術者倫理－科学技術が持つ不確実性への対処」</p> <p>②「防災と地質調査における不確実性とその対応」</p> <p>③「土木設計における不確実性にどう対応するか－信頼性設計から」</p> <p>④「相反する要求事項に技術者としてどう対応したか、道路建設を事例として」</p>	<p>法政大学兼任講師</p> <p>岐阜大学客員教授</p> <p>新潟大学工学部准教授</p> <p>(株)ネクスコ・エンジニアリング顧問</p>	<p>佐々木寿朗</p> <p>上野 将司</p> <p>大竹 雄</p> <p>末岡 眞純</p>	56 (60)

中部本部

29.4.8	航空機における気象の問題とWEATHER-Eye 技術の開発	JAXA 運航安全技術研究リーダー	神田 敦	18
29.4.15	青年技術士会の方向性	トヨタ自動車(株)	石川 智康	21 (15)
	製造技術同好会 活動結果	ソニーGM&O(株)	高瀬 春之	
	建設技術同好会 活動結果	吉川建設(株) 積算購買統括部 課長	小島 茂樹	
	環境技術同好会 活動結果	富士テクノロジーシステム(株)	秋山幸之朗	
	二次試験体験談	(株)カナエジオマチックス 富士機械製造(株) デンソー(株)	伊勢野暁彦 藤田 政利 嘉田 善仁	
29.4.23	なごや環境大学テクノロジーカフェ「エコ生活の実践」	技術士(金属、総監)	春田 要一	13 (11)

29. 4. 27	我が土木、半世紀をふり返る	森川労働安全技術士事務所 所長	森川 英憲	14
	漆喰の材料・施工方法・効用	株式会社漆喰九一 社長	福田 正伸	
29. 5. 14	①発表「持続可能な社会の実現に向けて、私たち技術士がやるべきことは」	技術士（機械）	大塚 優	29
	②小講演「社会動向と技術者倫理のあり方」	技術士（農業）	山口 正隆	
29. 5. 21	インバークの出力制御方式について	水野技術士事務所（代表）	水野公元	36
	窒化物半導体電子デバイスの基礎および応用	名工大（准教授）	分島彰男	
29. 5. 28	なごや環境大学テクノロジーカフェ「人の暮らしと大気汚染・PM2.5 問題のその後」	技術士（上下水道、総監）	打田 憲生	9 (6)
29. 6. 3	「グローバル製品サービス戦略」 産学連携研究会における取組み	青山学院大学 ヒューマン・イノベーション研究センター 客員教授	阿部 武志	74
	技術の価値化 “半導体基板から刃物づくり”	名古屋工業大学 副学長 産学連携・社会貢献担当	江龍 修	
29. 6. 3	モノフィラメントの用途と利用特性	日本繊維技術士センター（JTCC）東海支部 評議員	木下 明	13
29. 6. 3	航空機構造への複合材適用について	金沢工業大学教授	廣瀬 康夫	19
29. 6. 22	航空機の金属疲労に対する予防改善工程	田島技術士事務所 代表	田島 暎久	15 (3)
	鋼製橋桁のショットブラストシステム	ヤマダイインフラテクノス（株） 取締役	山田 翔平	
	航空機業界におけるショットピーニングの管理方法と種々のピーニング関連技術について	東洋精鋼（株）技術開発グループ	半田 充 香村 英規 （営業グループ）	
29. 6. 25	なごや環境大学テクノロジーカフェ「最近の衣服に使用される高機能繊維」	技術士（機械）	今津英一郎	9 (11)
29. 7. 15	①発表「真実性原則と情報開示義務・説明責任について」	技術士（機械）	今津英一郎	16
	②小講演「企業不祥事を未然防止するには～三菱自動車の燃費データ不正問題を考える」	技術士（金属、総監）	春田 要一	
29. 7. 22	グローバル化と産業人材育成の課題	名古屋大学副理事大学院国際開発研究科 教授	岡田亜弥	70 (8)
	パネルディスカッション「海外人材育成」	同上	同上	
		A. I. S（株）代表取締役社長	鈴木康文	
		（株）日本政策金融公庫 名古屋ビジネスサポートプラザ所長	津村慎一	
	技術士（化学）	長谷川正		

		技術士（経営工学、総監）	石川君雄	
29. 7. 23	なごや環境大学テクノロジーカフェ「環境にやさしい東海道新幹線は日本固有の鉄道技術とゼロ戦技術で創られた」	技術士（建設）	鈴木 朗	11 (14)
29. 7. 23	なごや環境大学テクノロジーカフェ「環境にやさしい東海道新幹線は日本固有の鉄道技術とゼロ戦技術で創られた」	技術士（建設）	鈴木 朗	11
29. 8. 3	CFRP 積層板の製造時欠陥による強度への影響	川崎重工業(株) 基幹職	新玉 重貴	35
29. 8. 20	①発表「コメット機連続墜落事故の真相に迫る」 ②小講演「倫理実践力とは～倫理構造から見た提言」	技術士（航空・宇宙） 技術士（機械）	田島 暎久 山田 豊久	44 (3)
29. 8. 24	今、注目されている 1 DCAEについて	松原技術士事務所 所長	松原 守	13
	海外釣行・夢の3魚種を求めて	マンション管理士	大島 一成	(1)
29. 8. 26	自動車軽量化と繊維強化プラスチック複合材の動向と問題点 台湾島400年の歴史・文化と環境技術遺産 憲法9条について学説を学び、技術者の目でともに考えよう。	長岡国際技術士事務所 所長 ベルナー太田技術士事務所 代表 J S R株式会社	長岡 猛 太田 隆之 池田 和人	15
29. 8. 27	なごや環境大学テクノロジーカフェ「アルミダイカストを無欠陥にすると自動車軽量化になり燃費向上する」	技術士（金属）	犬丸 晋	13 (6)
29. 9. 9	「大震災に備える専門士業の役割と課題」 ～技術士による防災・減災・復興活動～ 化石燃料の枯渇がもたらす経済成長の終焉	技術士（建設） 東京工業大学名誉教授	山口 豊 久保田宏	60 (1)
29. 9. 16	脳卒中片麻痺患者の自主起立トレーニングのための支援ロボットの設計 半導体設計についての業務経歴紹介 次世代産業（IoT、自動運転）を支える情報通知の仕組みとその限界 VEによる自動車電装品の開発	名工大大学院 博士前期課程 (株)デンソー (株)トヨタデジタルクルーズ ジャットエンジニアリング(株)	北村 瑞紀 秦 武廣 村瀬 公基 加藤信之	27 (6)
29. 9. 17	「通信はだれのもの？～グローバル化した通信での、公衆の利益をどう守るのか？～」	技術士（機械）	大坪 駿西	20
29. 9. 20	「企業防災論」～工業団地の防災取り組み事例から～ 「衣浦港の港湾BCPの事例」 「企業BCPとステークホルダー」との連携」の現状と事例	愛知大学地域政策学部教授 国際航業株式会社技師長、前愛知県衣浦港務所長 中日本建設コンサルタント株式会社総務本部長	戸田 敏行 平野 正浩 岩田 敏彦	36 (3)

29. 9. 27	なごや環境大学テクノロジーカフェ「コンクリートは硬いが環境には良いのです～やさしい混泥土～その2」	技術士（建設、総監）	伊藤 博	11 (10)
29. 10. 7	ラムジェット推進による超音速飛行について	東明工業(株) 技師長	堀内 和男	20 (1)
29. 10. 12	アルミ合金の製造スタート連続 鋳造の話	イヌマル技術士事務所	犬丸 晋	11 (1)
	リニア開通がもたらす東海地方 へのインパクト	中部大学都市建設学科 (株) 熊谷組	関口 龍一	
29. 10. 15	「東洋ゴム工業のデータ改ざん はなぜ繰り返されるのか」	技術士（金属、総監）	春田 要一	25
29. 10. 18	「愛知県における社会資本整備 の羅針盤～建設部方針2020～」	愛知県建設部長	河野 修平	41 (23)
	「都市の水防災に関する数値解 析技術の構築と活用」	中部大学工学部都市建設工学科 教授	武田 誠	
29. 10. 22	なごや環境大学テクノロジーカフェ「日本の金属製造にかかわ る環境技術の海外指導」	技術士（金属）	犬丸 晋	8 (4)
29. 10. 29	「理科好きな子どもを育てる教 育活動」 「主体的、対話的で深い学び」 を体験しよう!!	名古屋市立八王子中学校/校 長 上井靖先生	上井靖	29 (4)
29. 11. 5	「リスクマネジメントとしての品 質管理 ～羽田空港地盤改良をめぐる偽 装事件のフィードバックの射程 ～」	技術士（上下水道、総監）	打田 憲生	25
29. 11. 6	中部におけるPL研究20年間の歩 み	前田コンサルタント事務所所 長	前田 持	17
	裁判官を説得できる信頼される 意見書とは	ブナの森法律事務所 弁護士	藤田 哲	
29. 11. 18	アンニョンハセヨ！～韓国企業 の技術指導の体験記～	江口技術士事務所代表	江口 正臣	20
	化学物質管理士資格の船出 ～デ ファクトスタンダード化へ針路 を取れ～	(一社) 化学物質管理協会副 理事長	秋葉恵一郎	
29. 11. 26	なごや環境大学テクノロジーカ フェ「私たちのくらしと防災」	技術士（建設、総監）	加藤 信夫	11 (9)
29. 11. 30	CBC 本社見学会	中部日本放送(株) 技術局次長 技術局理事	山田圭介 森本泰弘 他	22
29. 12. 2	技術者倫理講演 「コミュニケー ションデザイン視点の技術倫理」	大阪大学コミュニケーション デザイン・センター副センタ ー長 教授	池田光徳	42 (4)
	ミニ・シンポジウム 「技術倫理 の空間的・社会的・時間的な広が り」	同上 技術士（衛生、総監）	同上 比屋根 均	
29. 12. 14	自己紹介と中小企業支援実績	日本技術士会中部本部	参加技術士 全員 (9名)	10 (16)
	企業紹介	愛知中小企業家同友会会員企 業	参加企業 (10社)	

29. 12. 15	専門職技術者初期高等教育シンポジウム ①大学における技術者球育に必要性和現実 ②高専における技術者教育の現状と技術者倫理	名古屋工業大学大学院教授 豊田工業高等専門学校	北野 利一 北野 孝志	40 (1)
29. 12. 16	技術士とは、技術士なるために必要なこと	デンソー(株)	嘉田 善仁	12 (11)
	技術士の活躍事例	トヨタ自動車(株)	石川 智康	
		(株)ダイセキ環境ソリューション	成田 尚宣	
		富士機械製造(株)	藤田 政利	
29. 12. 16	航空機用アルミニウム合金開発の歴史と今後の動向	元・UACJ	吉田 英雄	13 (1)
29. 12. 17	なごや環境大学テクノロジーカフェ「地名と天災」	技術士 (建設)	前田 武光	9 (10)
30. 1. 20	「自動車製造業の課題～製品環境指標とは何か～」	技術士(機械、金属、経営工学)	富田 剛	27 (1)
30. 1. 28	なごや環境大学テクノロジーカフェ「運河がつくったナゴヤの環境と人の暮らし」	技術士(上下水道、総監)	打田 憲生	10 (15)
30. 1. 28	「起業7年の風雪と展望」	株式会社 環境デザイン 代表取締役	村橋 光臣	26
	「技術士だから食べて行ける。その為には・・・！」～50歳で起業し、今までの14年間と今後～	株式会社DOSUCO 技術士事務所 代表取締役	松谷 孝広	
	「生涯現役の技術者を目指して！～海外・国内での技術士活動体験談～」	吉村技術士事務所 所長	吉村 元一	
	「事務所運営の営業体験談！」～どのようにして、仕事にありついたらかを伝授します。～	平田技術士・労働安全コンサルタント事務所 代表	平田賢太郎	
30. 2. 4	GE90エンジンシャフト材の開発	元・大同特殊鋼	今村 元昭	10 (1)
30. 2. 17	高出力電磁バルブの国際規格と防護	日新電通技研(株)	市川孝博	27
	廃棄物処理施設のエネルギー高効率化	海部地区環境事務組合	渡邊永策	
	ヒューマンエラーと設備エンジニアリング	日本ガイシ(株)	古久根伸征	
30. 2. 17	チャンネル流れの熱伝達機構に関する実験的研究	静岡理工科大学機械工学科	男神 徹	21 (16)
	圧損型粘度計による日用品流体の粘度測定	静岡理工科大学機械工学科	望月 聡	
	プラスチック縦型選別機の回収率向上	中部大学工学部機械工学科	山本 猛将	
	マイクロ波補助によるメタンハイドレートの回収の可能性	中部大学工学研究科	中谷 伸	
	地価関数の地域比較分析～愛知県内の住宅地を事例に～	中部大学工学研究科	菊池 滉記	
	多粒子限界流速を用いた越流に対する堤防の靱性評価	中部大学工学研究科	寺西 剣悟	
	強酸性水系における流下に伴う水質の変化	玉野総合コンサルタント(株)	大西 菜月	

30. 2. 17	マイクロプラスチック問題 ～ 現状、解決に向けて～	三重県支部/副支部長	堀 豊	14
	災害事例に学ぶ化学物質管理(そ の2)	有限会社 花井コンサルタン トオフィス代表取締役	花井 健夫	
30. 2. 22	福島原発事故の原子力のあり方 (1~1.5 時間)	東工大名誉教授 元・東工大原子炉工学研究所 長	小川 雅生	27 (18)
	自由討論(1~1.5 時間)			
30. 2. 24	「タカタのエアバッグリコール、 技術者の本分を忘れていないか」	技術士(機械)	麻田 祐一	19 (2)
30. 2. 25	なごや環境大学テクノロジーカ フェ「IoT時代の歩き方～台所か ら見るモジュラー設計の発想法 ～」	技術士(機械)	馬場 丈典	
30. 3. 11	最近の企業品質偽装、繰り返され る企業不祥事の背景にあるもの は何かを問う	技術士(機械、総監)	田岡 直規	
30. 3. 17	知的WEBの過去、現在、未来	名工大大学院(教授)	新谷虎松	
	超伝導技術について	応用科学研究所 理事、特別 研究員 京大名誉教授	長村光造	
30. 3. 25	なごや環境大学テクノロジーカ フェ「心地よい音、うるさい音」	技術士(機械)	山田 豊久	

近畿本部

29. 4. 1	IT業界の業務標準適応状況等	アイ・ティ・エス・エイ教育研 究所 株式会社代表	平井勝彦	16
29. 4. 4	「再エネ大量導入時代の 電力システム」 ～再エネ発電出力予測 ニーズと開発状況～	名古屋大学 未来材料・システ ム研究所 教授	加藤丈佳	15
29. 4. 8	4月度の研修会+部会 アウトソース品質マネジメントシ ステムについて ～Win-Win を目 指して	三菱電線工業株式会社 技術士	狩野 陽	27
29. 4. 8	1) 「(技術紹介)ブロックチェーン とは何だろうか」	1) 沖電気工業(株) 研究開発セ ンタ	1) 川本康貴	20 (2)
	2) 「酒造りを支える技術～五感と 計測データを生かす～」	2) 月桂冠(株) 総合研究所	2) 堤 浩子	
29. 4. 11	第1回建設部会講演会 「ローテクとハイテクで土木に新 たな世界をひらく」	京都大学大学院工学研究科社会 基盤工学専攻 教授	木村 亮	25 (10)
29. 4. 14	今日の大学における教育・研究に 関する一考察 一現役学生として の私見一	三木技術士事務所	三木茂男	17 (1)
29. 4. 20	合成樹脂・合成ゴム分野の技術開 発と事業経営	北海道大非常勤講師、高分子学 会フェロー)	今井昭夫	15
29. 4. 21	製品開発における酵素的な品質劣 化の課題について	野村食品技術士事務所	野村幸弘	16
29. 4. 22	第1回建設部会『大阪技術みらい』	株式会社大林組 顧問	金井 誠	20

	塾』			(13)
29. 4. 25	業務紹介「鋳造技術 2」	(株) クボタ	坪田博隆	12
29. 4. 28	1) 「改正フロン排出抑制法」に対応する冷凍空調機器の維持管理の現状と課題 2) 大阪府大高専の「地球環境工学」の授業の報告、ならびに来年度の授業の方針	1) 技術士 (機械部門・総合技術監理部門) 2) 技術士 (建設部門)	1) 外山榛一 2) 寺川博也	32 (13)
29. 5. 6	Electronics Sier 品質システム事例から見る企業戦略と課題	アイ・ティ・エス・エイ教育研究所 株式会社代表	平井勝彦	15
29. 5. 11	絵葉書と新聞広告でトイレを語る -立小便から有料トイレまで-	ごみ文化・歴史研究会 (元亀岡市副市長)	山崎達雄	18 (4)
29. 5. 12	1) VTOL 型ドローンの研究開発 2) コンサルタント業務と開業体験	1) 神戸大学大学院 准教授 2) 太田技術士事務所	1) 浦久保孝光 2) 太田良晴	22 (2)
29. 5. 13	1) 「情報工学部門から見た A P E C エンジニア」 2) 「情報社会における子どもたちの実態」	1) 大阪府警察本部生活安全部サイバー犯罪対策課 管理官 (警視) 2) (株) 日立インフォメーションアカデミー	1) 丸林夏彦 2) 上玉利教	23 (1)
29. 5. 13	インダストリアル CFRP に未来はあるか?	近畿大学 理工学部 教授	西籾和明 博士 (工学)	45
29. 5. 17	1) ごみ焼却施設における D B O の現状と発電への取り組み 2) テーマパークの計画・設計	1) Hitz 環境 S 2) JR 西日本コンサルタンツ	1) 上川泰治 2) 伊勢 博	14
29. 5. 18	1) マンションの大規模修繕の円滑な進め方 2) 「船舶設計事務所の日中合弁会社」活動紹介	1) 独立現代都市研究所 2) 小林技術士事務所	1) 杉本哲雄 2) 小林幹弘	13
29. 5. 24	1) ISO55000 (総まとめ) 2) 阪神高速道路の更新	1) 技術士事務所 2) 技術士事務所	1) 中村秀人 2) 福岡 悟	8
29. 5. 26	1) 蛍光・化学発光タンパク質の開発 2) 小動物の足裏の巧妙さー粘着テープへの応用	1) 大阪大学教授 2) 大阪大准教授	1) 永井健治 2) 平原佳織	14 (8)
29. 6. 1	再生可能エネルギーと地下水の熱源利用/帯水層蓄熱の取り組みー帯水層蓄熱のための低コスト高性能熱源井とヒートポンプのシステム化に関する技術開発	大阪市立大学複合先端機構 特別研究員	中曾康壽	18 (8)
29. 6. 3	改正 9001 による企業体質強化	津田技術士・安全コンサルタント事務所 所長	津田文雄	17
29. 6. 7	「ノイズトラブルの実態とその対策手法」	(株) 電研精機研究所 ノイズトラブル相談室	大阿久 学	28

	～トラブルの原因はノイズだったのか！～	マネージャー		
29. 6. 10	1) 「日出ずる国の IoT」 2) 「Industrial IoT の安全なリアルタイムデータ通信ソリューションについて」 3) 「パナソニックにおける AI 応用と展望」	1) 坂東技術士事務所 所長 2) (株) ベルチャイルド 代表取締役 3) パナソニック (株) ビジネスイノベーション本部	1) 坂東大輔 2) 藤田好邦 3) 大濱 郁	63 (11)
29. 6. 13	地下水の動きと電磁波分析による大規模地震予測	元摂津市長 NPO法人 地震ネット 理事長	森川 薫	17
29. 6. 15	1) 中国 新「外国人工作許可」制度の現状と労務対策 2) 「民間航空における新技術と日本への期待」聴講報告	1) 掛田技術士事務所 2) 川重明石エンジニアリング(株)	1) 掛田健二 2) 三木俊明	13
29. 6. 16	(続) 麵の科学	長田産業(株)	辰野謙二	17
29. 6. 17	6 月度の研修会+部会 1) ステレンス鋼電線管の製造方法 2) 機械基本仕様について	モリ工業株式会社 技術士	妹尾祐二郎	24
29. 7. 1	第 5 回建設部会年次大会・業績研究発表会	基調講演 天野技術士事務所	天野武日古	30
29. 7. 6	「イオン交換膜・電気透析を用いた水処理技術	株式会社アストム 技術部	林 裕介	17 (7)
29. 7. 8	1) 「システム構築指針～対立する考え方をどのように統合すればよいか～」 2) 「画像を利用した検査システムを構築する技術について」	1) (株) かんでんエンジニアリング システムソリューション部 2) (株) ウィルアソシエイツ	1) 大川哲男 2) 山口敦史	14
29. 7. 8	1) 海外駐在体験談 2) 食品の『安全・安心』を守る倫理	1) 技術士 (機械) 2) 技術士 (農業)	1) 村上禮三 2) 廣谷恭三	32
29. 7. 14	1) 火災と火災原因調査について 2) 「般若心経」に学ぶ	1) 大阪府警科捜研 主任研究員 2) 末浪技術士事務所	1) 堀 輝成 2) 末浪憲一	13 (1)
29. 7. 19	1) 建築物の省エネ法の概要 2) A C S I V E 無動力歩行支援機	1) PE 事務所 2) PE 事務所	1) 深田晃二 2) 掛田健二	10
29. 7. 20	1) 中国古典文学及び漢詩 2) 日本人先達のインフラ見学報告：台湾八田ダム、西郷堤。大連市上水用ダム	1) 久野技術士事務所 2) 掛田技術士事務所	1) 久野正博 2) 掛田健二	15 (1)
29. 7. 21	酉年にちなんで	アニマルハウス技術士事務所	戸口昌俊	16
29. 7. 22	経済学から見たエネルギー問題、環境問題の真実	京都大学教授	諸富 徹	12 (7)

29. 7. 22	経済学から見たエネルギー問題、環境問題の真実ドイツでの検証結果を踏まえて	京都大学 大学院 経済学研究科教授	諸富 徹	16 (1)
29. 7. 22	講演：「経済学から見たエネルギー問題、環境問題の真実」ードイツでの検証結果を踏まえてー	京都大学 大学院 経済学研究科（経済学博士）	諸富 徹	46 (13)
29. 7. 22	機密保持対策ソフトウェア等	アイ・ティ・エス・エイ教育研究所 株式会社代表	平井勝彦	18
29. 7. 24	1) 橋梁の事故とリスクマネジメント 2) 博多地下鉄陥没事故, 原因は判断ミス	1) 技術士事務所 2) 技術士事務所	1) 末常伸一 2) 岸田順三	6 (1)
29. 8. 4	大阪平野の水資源と水質環境	大阪市立大学大学院理学研究科教授	益田晴恵	18 (5)
29. 8. 18	1) 「ワークショップを活用したBtoBサービスにおける顧客間の情報共有と学習」 2) 「データ主導社会におけるマルチホップネットワーク」	1) エニシア株式会社 代表取締役 2) 沖電気工業(株) 研究開発センター	1) 小東茂夫 2) 川本康貴	10 (1)
29. 8. 19	8 月度の研修会+部会 米国駐在の経験より	オムロン株式会社	荒井一彦	27
29. 8. 22	地震に伴う広域地域変動を考慮した氾濫リスクに関する基礎的研究	大阪府都市整備部総務課 参事	江原竜二	22
29. 9. 2	ISO9001 と食品安全の関係	津田技術士・安全コンサルタント事務所 所長	津田文雄	18
29. 9. 7	水道水・環境水中の化学物質対策としての活性炭の利用	大阪産業技術研究所森之宮センター	福原知子	19 (8)
29. 9. 8	1) 健康と QOL 2) 日本のエネルギーは今～課題と将来への対応～に学ぶ	1) 前関西食品技術センター会長 2) ながの技術士事務所	1) 廣谷恭三 2) 長野恒己	18
29. 9. 9	1) 「IOP (インク オン パーパー)、紙の本 の、製造についてわかりやすく解説します。」 2) 「書籍出版ハウツー」	1) 一般社団法人 電気安全環境研究所 2) ピークコンサルティンググループ (株) 代表取締役	1) 徳永浩二 2) 北村友博	20
29. 9. 9	1) エンジニア半生 『時系列』～回転機械と共に～ 2) 「技術士と安全技術」	1) 技術士 (機械・総合技術監理) 2) 技術士 (経営工学)	1) 藤原恒夫 2) 増田武司	40
29. 9. 9	1) OTC 医薬品の有効成分定量について 2) 積層セラミックコンデンサの大容量、小型化を支えた、BaTiO ₃ セラミック誘電体材料の技術開発についてー格子欠陥制御技術の視点でー	1) 小林製薬(株)中央研究所 2) 和田技術士事務所 代表、元村田製作所	1) 上地 里佳枝 2) 和田信之	14
29. 9. 14	1) 道路の 3 次元設計	1) (株) アスコ大東	1) 金野文夫	17 (1)

	2) QST の紹介と関西光科学研究所の活動	2) 日本原子力研究開発機構 関西光科学研究所	2) 土田 昇	
29. 9. 15	各国の規制における深層防護/リスク評価の取込み状況等を含めた規制の動向	東京大学 大学院教授	岡本孝司	16
29. 9. 15	食品安全規格 (FSSC22000 等) の工場展開事例	ハウス食品(株)	真野仁孝	19
29. 9. 20	1) 浜松市の橋梁事故事例 (研究) 2) 都市地下街の規制	1) 技術士事務所 2) 技術士事務所	1) 末常伸一 2) 岸田順三	8
29. 9. 22	1) CFR の最新技術動向; 量産化とマルチマテリアル 2) カテキン誘導体を用いた感染症対策素材の開発	1) 近畿大学教授 2) (株) アーケイイ 社長	1) 西藪和明 2) 田中信幸	14 (17)
29. 9. 25	講演: 「暴れる気候と暴れない気候」 — “ 想定外 ” の時代をどう生きるか —	立命館大学古気候学研究センター長・教授 理学博士 (エクス・マルセイユ第三大学)	中川 毅	42 (17)
29. 10. 5	水道事業経営の現状と課題	神戸大学大学院海事科学研究科 准教授	酒井裕規	21 (13)
29. 10. 7	ISO22000、FSSC22000 入門	津田技術士・安全コンサルタント事務所 所長	津田文雄	16
29. 10. 13	1) 建築物省エネ法 2) ソーシャル・ネットワーク・サービス (SNS) の光と影	1) 深田技術士事務所 2) 伊藤技術士事務所	1) 深田晃二 2) 伊藤 博	15 (1)
29. 10. 14	1) 「ファイルシステムとフラッシュストレージ」 2) 「情報工学トレンドとSF映画の論理的考察」	1) パナソニック(株) ストレージ事業開発センター 主幹技師 2) パナソニック(株) ストレージ事業開発センター 主幹技師	1) 本多利行 2) 本多利行	12
29. 10. 17	1) 業務紹介: 水工計画と施工例 2) 日本のエネルギーのいま	1) (株) アスコ大東 2) 長野技術士事務所	1) 王 歆 2) 長野恒巳	13
29. 10. 20	食品用乳化剤とその利用例	理研ビタミン(株)	安部孝紀	13
29. 10. 21	10 月度の研修会+部会 酒造りを支える技術 ~酵母開発と清酒醸造~	月桂冠株式会社	堤 浩子	22
29. 10. 24	平成 26 年丹波豪雨災害の復旧と土砂災害対策技術	兵庫県丹波土木事務所 所長	藤田宜久	17
29. 11. 4	ISO9001 導入でのスキル管理ソフト開発	アイ・ティ・エス・エイ教育研究所 株式会社代表	平井勝彦	12
29. 11. 11	1) 「災害地名概論」 2) 「WEB サイト制作で心がけていること」	1) アマノ技研 代表 2) 株式会社 廣済堂 情報コミュニケーション メディア事業部	1) 天野貴文 2) 山本芳史	17 (1)

29. 11. 11	第 2 回建設部会講演会（作業アシストスーツ体験セミナー）	株式会社ATO U、ユアサ商事株式会社、株式会社クボタ	プレゼンテーション	21 (7)
29. 11. 11	1) 真空成膜装置の世界～製造装置メーカーの立場から～ 2) 中国製造企業への生産管理（主に 5S）効率化及び従業員教育訓練	1) 技術士（機械） 2) 技術士（機械・総合技術監理）	1) 酒井博史 2) 外山榛一	27
29. 11. 16	中国との思い出を主体に、今後の技術伝承への期待	石橋技術士事務所	石橋伸之	13
29. 11. 17	原子力施設の廃止措置の現状と課題—諸外国の実施状況と反映	エネルギー総合工学研究所 特任参事	林 道寛	3 (1)
29. 11. 17	第三者による食品安全認証の話題	榎山技術士事務所	榎山 薫	17
29. 11. 20	1) 省エネ施策導入における課題 2) ごみとトイレの歴史の窓から	1) (株) きんでん 2) 龍谷大学非常勤講師	1) 楠部勢太郎 2) 山崎達雄	24
29. 11. 20	1) 「省エネ施策導入における課題」 2) 「ごみとトイレの歴史の窓から」		1) 楠部勢太郎 2) 山崎達雄	16
29. 11. 22	第 3 回建設部会講演会 「まちづくりにおける無電柱化の最新動向」	近畿建設協会技術顧問 元大阪産業大学教授 工学博士	中野雅弘	14 (5)
29. 12. 2	I S O M S のとらえ方	波多野技術士事務所所長	波多野彦一	12
29. 12. 5	1) 阪神土木技術資詢（上海）有限公司」活動紹介 2) インフラ整備を担う技術者として誇りを持って	1) 阪神土木技術資詢社長 2) (株) 久本組	1) 坂下泰幸 2) 河野千代	17 (1)
29. 12. 7	ものを測る～密度と屈折率を測る～	武田技術士事務所	竹田雅信	15 (3)
29. 12. 9	生体の構造を模倣したポルフィリン積層構造の構築とその多彩な機能	京都工芸繊維大学 分子化学系助教	森末光彦	15
29. 12. 16	12 月度の研修会+部会 中国製造企業への生産管理効率化指導及び従業員教育訓練の経緯	技術士	外山榛一	21
29. 12. 16	1) 「IoTをめぐる冒険」 2) 「研究所からの技術移管・その後」	1) 三菱スペース・ソフトウェア(株) 関西事業部第二技術部 2) 沖電気工業(株) 研究開発センター	1) 宇佐美康 2) 川本康貴	20
29. 12. 22	1) 日本型アパレル産業の行方；ファストファッションの狭間 2) 繊維新素材・新商品の最新情報	1) 中野技術士事務所・機械 2) 松本技術士事務所・繊維	1) 中野 廣 2) 松本三男	23 (6)
30. 1. 6	倉庫火災とリスクマネジメント	古賀技術士事務所所長	古賀毅朗	14
30. 1. 11	現代の科学技術における技術者倫理と今後の方向性	大阪ガス監査部	田岡直規	16 (5)

30. 1. 12	1) 日本人先達のインフラ見学報告：台湾の八田ダム、西郷堤。大連市上水用ダム 2) 食の安全規格：最近の動向	1) 掛田技術士事務所 2) ハウス食品(株) 奈良工場	1) 掛田健二 2) 真野仁孝	17 (1)
30. 1. 13	1) ドローンを支える最新技術 2) 衛星通信における機械システム技術者の役割	1) 技術士(金属) 2) 技術士(機械)	1) 木藤 茂 2) 藤内 洋	33
30. 1. 19	1) 「人工知能基礎論—今さら訊けないAIの基礎—」 2) 「大学院実習科目における共創プラットフォームの研究と構想」	1) 神戸情報大学院大学 2) エニシア株式会社 代表取締役	1) 宮本行庸 2) 小東茂夫	13 (1)
30. 1. 19	植物工場の最近の話題と最新動向	綾木企画技術士事務所	綾木光弘	13 (1)
30. 1. 25	1) モンゴル国の現状報告と産業への提言 2) 業務紹介：農業土木 中国新疆からダム耐震まで	1) 掛田技術士事務所 2) 新保技術士事務所	1) 掛田健二 2) 新保義剛	13
30. 1. 27	技術士を目指そう in 大阪 2018	技術士 技術士 技術士 技術士 技術士	間島勝彦 萩野 新 田代芳樹 古橋崇史 藤原章治	5 (10)
30. 1. 27	1) 産業廃棄物投棄が疑われる丘陵の地盤—けいはんな学研都市エリアを中心に— 2) M学園事件に見る不法投棄地利用における廃棄物問題	1) 応用自然史研究室室長 2) 日本技術士会近畿本部役員	1) 中川要之助 2) 鍵谷 司	8 (1)
30. 1. 27	1) 「産業廃棄物投棄が疑われる丘陵の地盤—けいはんな学研都市エリアを中心に—」 2) 「M学園事件に見る不法投棄地利用における廃棄物問題」	1) NPO シンクタンク京都自然史研究所 2) 一財) 災害科学研究所研究員 技術士(衛生工学・建設・環境)	1) 中川要之助 2) 鍵谷 司	17 (6)
30. 2. 1	阪神水道企業団について	阪神水道企業団副企業長	安藤伸雄	20 (9)
30. 2. 3	リスクアプローチによるMSの活用	津田技術士・安全コンサルタント事務所所長	津田文雄	15
30. 2. 9	1) バイオマスによる地方創生と地球温暖化解決への取組 2) 福岡市営地下鉄工事中の道路陥没事故原因の究明と考察	1) NPO 法人兵庫県技術士会 2) 大阪技術振興協会 理事長	1) 濱崎彰弘 2) 岸田順三	15 (2)
30. 2. 10	1) 「ネットワーク対応ホームシステムの変遷と関連技術動向」 2) 「情報工学トレンドとSF映画の論理的考察～後半」	1) パナソニック(株) エコソリューションズ社技術本部 2) パナソニック(株) ストレージ事業開発センター 主幹技師	1) 本間義久 2) 本多利行	16

30. 2. 15	2017年訪中団成果報告会 (三峽ダム、江蘇省工程師学会講演・MOU、上海科技協会交流、上海市在宅介護国際シンポ)	掛田・新井・石川・江村 技術士事務所	掛田・新井石川・江村	19 (1)
30. 2. 16	1) “IoT を使って世界とつながる～繊維機械の事例” 2) スマートテキスタイル技術動向 繊維/布型太陽電池の開発	1) 村田機械技術サービス部長 2) 住江織物(株)テクニカルセンター長	1) 里見眞一 2) 源中修一	23 (22)
30. 2. 16	兵庫県漁業の概要について	兵庫県農政環境部	中桐 栄	12
30. 2. 17	2月度の研修会+部会 システムの信頼性設計技術 ～ものづくりの経験から～	三菱電機株式会社	高木 仁	24 (1)
30. 3. 1	公共工事の品質 ～一つの見方～	中村技術士事務所	中村秀人	17 (7)
30. 3. 14	国交省生産性革命プロジェクトと i-Work ストラクチャー	技術士事務所	福岡 悟	6
30. 3. 16	講演：「100%自然エネルギーシナリオ」	講師：(株)システム技術研究所 所長	槌屋治紀	40
30. 3. 19 (予定)	フェーズドアレイ気象レーダの防災・減災への利活用	首都大学東京 教授	牛尾知雄	20 (予定)

中国本部

29. 5. 17	青年技術士交流委員会講演会 「都市計画からまちづくりへ～これまでの歴史とこれからの展望～」	中電技術コンサルタント(株)	藤岡 義久	18 (5)
29. 5. 20	第1回技術者研鑽セミナー 「ワークショップ～技術者訓を作ろう～」	日新製鋼(株)	川本 明人	14
29. 6. 10	建設部会第1回講演会「技術の伝承と健康」 「模型で伝える土木の面白さ」 「活力低下を感じていませんか？ 知っておきたいフレイル」 「地盤の自然災害と地下水～災害から人命を守る夢～」	藤井基礎設計事務所 社長 医療法人翠清会 梶川病院 会長 岡山大学大学院環境生命科学研究科特任教授	藤井 俊逸 梶川 博 西垣 誠	58 (19)
29. 6. 21	青年技術士交流委員会講演会 「科学技術の発展のあり方とはテーマ討議」	大和クレス(株)	赤木 真也	17 (1)
29. 6. 24	機械/船舶・海洋/航空・宇宙部会 例会・講演会 【講演1】「IoT活用ものづくりの現状と将来～産総研の取り組みのご紹介～」 【講演2】「プラント設備保全技術とビッグデータ活用への取り組み」 【講演3】「射出成型機開発におけるIoTへの取り組みについて」	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 (AIST) 三菱ケミカル(株) (株)日本製鋼所	加納 誠介 立山 隆志 上園裕正	60 (14)
29. 7. 8	化学/繊維/金属部会 例会・講演会 「セルロースナノファイバーの	(国研) 産業技術総合研究所 福岡伸技術士事務所 所長	遠藤 貴士 福岡 伸典	35 (5)

	産業展開～基礎・応用・課題～ 「CO2を原料とする非ホスゲン法 ポリカーボネート(PC)製造プロ セス」 「自動車車体用表面処理鋼板」	JFE スチール(株)	櫻井 理孝	
29. 7. 15	平成29年度中国本部年次大会 「集中豪雨による都市水害の軽 減」	広島大学大学院 工学研究科 長・工学部長	河原 能久	89 (13)
29. 7. 19	青年技術士交流委員会講演会 「楔デバイスによる新しい耐震 構造」	(株)ちから箱	小松真吾	14 (4)
29. 7. 29	第2回技術者研鑽セミナー ワークショップ「経験を学びに発 展させる振り返りスキルの習得」	Primetals Technologies Japan(株)	池本 裕二	12 (3)
29. 7. 30	電気電子/経営工学/情報工学部 会 例会・講演会 「中国電力隠岐ハイブリッドプ ロジェクト」 「スマートメーターを活用した 省エネルギー支援活動に向けて」	中国電力(株) エネルギア総合研 究所 中電技術コンサルタント(株)	杉内 栄夫 岡村 幸壽	24
29. 8. 18	第1回防災講演会「みんなで考え る自然災害一啓発活動への取組 み」 「呉市・広島市の小中学校で始ま った防災教育の取組み」 「山口県東部での小・中学生に対 する防災教育の取組み」 「全国で研修して感じた防災啓 発の現状と今後の課題」 「クリエイティブな防災教育・防 災啓発」 「気象予報士」から「防災士」へ の思いの変化 ～「広島市防災士 ネットワーク」に参加して思うこ と～ 「FM東広島の防災支援活動」 「地域住民を対象とした防災学 習の取組みと課題」	(独)国立高等専門学校機構 教 授 徳山工業高等専門学校 准教授 山口大学工学部 准教授 NPO 法人プラス・アーツ 理事長 広島市防災士ネットワーク会員 FM 東広島パーソナリティ/MC (株)荒谷建設コンサルタント鳥取 支社	加納 誠二 目山 直樹 瀧本 浩一 永田 宏和 玖保 陽子 井上 葉子 西村 悟之	39 (138)
29. 8. 23	青年技術士交流委員会講演会 「8/28 尾道特別支援学校 社会 貢献活動リハーサル」	中外テクノス(株)	小林 強志	16 (2)
29. 8. 26	上下水道部会・講演会 基調講演 「都市下水道管渠網の マンホール蓋飛散と空気圧縮を 伴う豪雨水流出解析モデル」 講演1 「質管理や危機管理への 視点」 講演2 「福山市における合流式 下水道改善事業について」	愛媛大学 名誉教授 (株)日水コン 事業統括本部 技師 長 福山市上下水道局 施設部 水質 管理センター 次長	渡邊 政広 佐々木 隆 山口 裕子	36 (18)
29. 9. 2	農業/森林/水産部会 例会・講演 会「さらなるブランド化をめざす 瀬戸内」地域における農林水産技 術の展開 「瀬戸内レモンについて」 「コウヨウザンの生育状況と活 用の方向について」 「広島かき(かきの赤ちゃん育成	広島県農林水産局 農業経営発 展課長 広島県立総合技術研究所 林業 技術センター 林業研究部長 公益財団法人広島市農林水産振 興センター 水産部長	大濱 清 湧嶋 智 藤井 斉	24 (13)

) /栽培漁業等について]			
29. 9. 16	応用理学部会・講演会 「地下水挙動の数値モデリング における逆解析の利用について」 「近年の土砂災害に関する討議 (広島土砂災害・九州北部災害な どを例として)」	島根大学大学院 総合理工学研 究科 准教授	増本 清	17 (2)
29. 9. 20	青年技術士交流委員会講演会 「あなたは情報派?データ派? 」 「千〇一〇物語」	LFコンサルタント ラボテック(株)	長原 基司 新渕 大輔	10 (1)
29. 9. 23	環境部会・講演会 「がん放射線療法の極意」 「ゲノム編集によるイノベーション」 「3D点群データのBIM活用に 関する検討」 「猛禽類の見え方」	広島国際大学 保健医療学部 診療放射線技術学科 就実大学薬学部薬学科生命薬学 部門 准教授 (株)中電工 (株)建設環境研究所	熊谷 孝三 工藤 季之 多羅尾 直 加藤 淳司	19 (1)
29. 9. 30	第3回技術者研鑽セミナー 「申請書の書き方～ものづくり 補助金を例として～」	さんあい技術コンサルタント	正井 慎悟	18 (2)
29. 10. 6	呉市日本遺産記念講演 呉市日本遺産記念講演 「呉のも のづくりの歴史」 「造船業の現状と海事生産革命 (i-shipping)」	呉市 海事歴史科学館 大和ミュ ージアム館長 国土交通省 中国運輸局 海事振 興部 船舶産業課長	戸高 一成 藤井 勉	22 (1)
29. 11. 15	青年技術士交流委員会講演会 「中国地方の産業と文化の発展 に関する考察」	(株)日本パーカーライジング広島 工場	藤井 淳	14 (1)
29. 11. 23	建設部会第2回講演会「中国圏に おける地方創生の現状と課題」 「地方創生・国土強靱化とインフ ラストラクチャ」 「中国圏広域地方計画のフォロ ーアップと課題」 「道の駅の変遷と最近の話題」 「安芸灘諸島における土木遺跡 の調査」 「i-Constructionの実践～ 3DdataとICTで建設現場が変わる ～」	呉工業高等専門学校環境都市工 学科 教授 国土交通省中国地方整備局 中 国圏広域地方推進室 事業調整 官 大日本コンサルタント(株)四国支 店地域交通計画室 室長 西日本高速道路エンジニアリン グ中国(株) カナツ技建工業(株)	神田 佑亮 新宅 清人 秋山 道彦 藤田 尚徳 高橋 広幸	42 (5)
29. 12. 3	鳥取例会 (講演会) 「先端技術が描く近未来」 「ICT, IoT, AIの進化と人間の関 わり」 「中国地方整備局における i-constructionの取り組み」 「生産性向上コマツの『スマート コンストラクション』」	国立大学法人鳥取大学 特任教 授 国立大学法人鳥取大学 工学研 究科(電気電子工学講座) 教授 国土交通省 中国地方整備局 企 画部 工事品質調整官 コマツレンタル(株)中国スマート コンストラクション推進室室長	松原 雄平 岸田 悟 藤原 博明 林 成佳	33 (12)
29. 12. 16	青年技術士交流委員会講演会 「山口全国大会反省会～山口全 国大会の状況振り返り及び反省 より、今後の青年技術士交流会 活動展開を考える。～」	マツダ(株)	三角 春樹	18 (2)
30. 1. 17	青年技術士交流委員会勉強会	LFコンサルタント	長原 基司	12

	「みちびきの精度は本当に良いのか」			(3)
30. 2. 2	第2回 防災講演会「みんなで考える被災地の復興事業への取組み」 「震災被害最大都市、石巻市の復興の現状と課題」 「福島県内の復興事業の取組み」 「安佐南区梅林学区の復興まちづくり協議会の取組み」	石巻市 建設技術管理監 福島県 土木部次長 梅林学区復興まちづくり協議会 会長	大本 守 猪股 慶藏 菅原 辰幸	41 (83)
30. 2. 15	青年技術士交流委員会講演会 「僕の悪性リンパ腫 闘病記」	(株)アーバン・トラフィック・エンジニアリング	金高 智之	14 (4)
30. 3. 14	青年技術士交流委員会講演会 「再生エネルギーと弊社の関わり」	(株)新川センサテクノロジー	青木 寛	

四国本部

29. 5. 27	第 48 回 CPD セミナー・公開講座、 技術士第二次試験合格者祝賀会（徳島会場）		41 (22)
	トキとコウノトリ野生復帰の 手続きと可能性	徳島大学大学院理工学研究部准 教授 河口 洋一	
	徳島県における気候変動対 策の新たな施策展開につい て	徳島県県民環境部環境首都課課 長補佐 高石 尚文	
29. 6. 3	第 49 回 CPD セミナー・公開講座、 技術士第二次試験合格者祝賀会（愛媛会場）		72 (29)
	お札の技術と新たな紙製品 開発の可能性	愛媛大学大学院農学研究科「紙 産業特別コース」教授 内村 浩美	
	愛媛が生んだ土木偉人 宮 本武之輔	宮本武之輔を偲び顕彰する会事 務局長 石丸 敬三	
29. 6. 30	第 50 回 CPD セミナー・公開講座、 防災講演会 技術士第二次試験合格者祝賀会（高知会場）		19 (3)
	黒部ダム難工事の記録（ビ デオ）		
	博物館の仕事～学芸員の技 ～	高知城歴史博物館館長 渡部 淳	
	技術士オリジナルの武器を 持とう～「知っちゅう」を 「備えちゅう」に変えるた めに～	高知大学地域協働学部准教授 大槻 知史	
29. 7. 5	【年次大会】第 51 回 CPD セミナー・公開講座、 技術士第二次試験合格者祝賀会（香川会場）		75 (7)
	個人で取組む地域貢献活動 ～災害・危機対応マネー ジャー・女性消防団員として ～	(株)ファルコン災害・危機対応 マネージャー 大宮 佐知子	
	四国経済の活性化に向けて	経済産業省四国経済産業局総務 企画部長 黒川 陽一郎	
29. 7. 22	第 30 回修習技術者支援セミナー		6

	技術士制度・試験と修習	四国本部修習技術者支援委員会 委員長	友近 榮治	(18)
	合格体験談発表	合格者2名		
	グループ討議「技術士の役割」	参加者全員		
29. 9. 2	第16回青年技術士交流会			17
	こどもに本を手渡しごと ～NPO図書館の18年～	NPO法人高知こどもの図書館 館長	古川 佳代子	
29. 9. 23	平成29年度防災見学会・講演会・意見交換会			18 (17)
	由岐湾内3地区自主防災会の 取組み実施概要とその後 の成果・取組み	徳島大学大学院	井若 和久	
	ごっつい由岐の未来づくり 計画	美波町由岐支所地域振興室	浜 大吾郎	
	由岐湾内3地区・小野自主 防災会役員との意見交換会	参加者全員		
29. 9. 30	第52回CPDセミナー・公開講座			63 (26)
	人工知能で広がる・つなが る技術 ～基本概念、関連技術、応 用事例について～	阿南工業高等専門学校創造技術 工学科電気コース教授	中村 雄一	
	神社のはなし	日枝神社宮司	福成 照夫	
29. 10. 6	第37回地域産学官と技術士との合同セミナー（高知）			40 (53)
	基調講演『産学官の連携 による防災工学研究の実 践』	高知大学工学部地球環境防 災学科教授	原 忠	
	パネルディスカッション 『技術士の資質と生産性 の向上に向けて』	コーディネーター パネリスト6名	原 忠	
29. 10. 7	第31回修習技術者支援セミナー			4 (9)
	修習とは～修習ガイドブ ック第3版について～	四国本部修習技術者支援委員 会委員	松本 直	
	合格体験談発表	合格者2名		
29. 11. 18	第23回西日本技術士研究・業績発表年次大会 （松山）			82 (16)
	基調講演『道後温泉の歴 史と松山のまちづくり』	坂の上の雲ミュージアム館長	松本 啓治	
	第一分科会（一般・青年 の部）	論文発表9編		
	第二分科会（女性の部）	論文発表4編グループディスカ ッション		

29. 11. 19	第 17 回青年技術士交流会			14 (10)
	グループ討議「仕事と(私)生活の調和における悩みを話そう」	参加者全員		
	新しい働き方、ワークライフバランスが今なぜ必要なのか	特定非営利活動法人ワークライフ・コラボ代表理事	堀田 真奈	
29. 12. 8	【香川例会】第 53 回 CPD セミナー・公開講座・第 32 回修習技術者支援セミナー			38 (18)
	生きるために・生き残るために整理収納でできること	ハウスキーピング協会 1 級認定講師	道久 礼子	
	四国の地質からみた日本列島の成り立ち	香川大学工学部教授・香川大学博物館長	寺林 優	
	技術士制度・試験と修習	四国本部修習技術者支援委員会委員	竹内 克宜	
30. 1. 20	第 33 回修習技術者支援セミナー、平成 29 年度技術士第一次試験合格者祝賀会			18 (20)
	技術士制度について	四国本部修習技術者支援委員会委員	金澤 隆	
	技術士第二次試験合格体験談発表	合格者 3 名		
	グループ討議 (口答試験体験談等)	参加者全員		

九州本部

29. 4. 8	①災害と水の関係で思うところ	技術士 (衛生工学)	赤石 維衆	38
	②学位取得記念講演	技術士 (機械・博士)	西井 行生	
29. 4. 15	①地方創生への挑戦～住み続ける地域づくりの処方箋～	慶応義塾大学 大学院政策・メディア研究科 特任教授	長瀬 光市	77 (19)
	②日本技術士会の活動	九州本部本部長	甲斐 忠義	
	③技術士倫理について	九州本部倫理小委員会委員長	西井 康浩	
29. 5. 20	①北九州における耐火物技術の歴史と発展	黒崎播磨(株) (担当部長)	佐藤 信博	31 (35)
	②デジタル技術を活用したクルマづくりと人材育成	トヨタ九州(株) (PE)	小笠原清二	
29. 5. 27	①文化財とは何か? - 文化財保護の仕組みと取り組み	福岡県文化財保護課主任技師	正田 実知彦	84 (9)
	②巨大な非在来型天然ガス資源について～特に北部九州における CBM について～	西部ガス株式会社生産部計画グループ	松倉 誠也	
	③高潮の数値シミュレーションと温暖化の影響	九州大学工学研究院附属アジア防災研究センター准教授	山城 賢	
	④最近の土砂災害の特徴と対策	鹿児島大学学術研究院農水産獣医学域農学系教授	地頭菌 隆	

29. 6. 10	①水栓金具の製造工程及び表面処理技術 ②公共空間における樹木のリスクマネジメント	技術士（金属） 技術士（建設・博士）	河本 理之 水野 晴之	22 (2)
29. 7. 15	①熱延ロールのスポーリングとその亀裂の数値解析	技術士（金属・機械）	松永榮八郎	37 (1)
	②熊本地震調査報告	技術士（建設・博士）	矢ヶ部秀美	
	③柔らかな材料の力学特性	九州工業大学（教授）	山田 宏	
29. 7. 22	①遺伝子改変の本質に関する考察	西南女学院大学教授	尾上 均	91 (10)
	②熊本地震調査報告	九州本部防災委員会委員長	矢ヶ部 秀美	
	③水族館物語～九州の海～	（株）海の中道海洋生態科学館・マリンワールド海の中道館長	中村 雅之	
	④南海トラフ巨大地震への備え	国土交通省九州地方整備局企画部長	藤巻 浩之	
29. 7. 29	①日本のモノづくり、中国のものづくり	パナソニック(株)	西尾 行生	11
	②その考えで人の安全は守れるかーそこにある危険	松尾技術士事務所	松尾 稔	
29. 8. 26	①自然現象及び法則に関する力学的考察	技術士（建設・総監）	鐘 廣喜	36 (10)
	②バイオ接着剤	九州工業大学（教授）	金子 大作	
	③企業経営と労働災害コスト	労働安全コンサルタント副支部長	永野 一	
29. 9. 16	①時計技術の系統化調査	国立科学博物館（主任調査員）	青木 茂	28 (21)
	②工業技術センター機械電子研究所の業務概要	機電研所長（博士）	末廣 利範	
29. 10. 14	水産の現状と課題	技術士（建設・水産）	松原 千恵	30 (1)
29. 10. 25	①両筑平野用水事業について	水資源機構両筑平野用水事業所長	島田 晃成	24
	②小石原川ダムの概要及びダム建設現地見学	水資源機構朝倉総合事業所工務課長	濱崎 隆洋	
29. 10. 28	①深宇宙通信実験機「しんえん2」と地球低軌道環境観測衛星「てんこう」	九州工業大学大学院先端機能システム工学研究系教授	奥山 圭一	76 (7)
	②地域経済活性化における知財活用～技術士への期待～	九州経済産業局地域経済部産業技術課知的財産室室長	横田 之俊	
	③気候変動にまつわる日本国内外の動向	公益財団法人地球環境戦略研究機関北九州アーバンセンター	赤木 純子	
	④温泉の化学	西日本技術開発株式会社地熱事業本部地熱部部長代理	清田 由美	
29. 11. 8	①博多駅前道路陥没事故等における下水道部局の対応について（福岡市）	福岡市道路下水道局計画部下水道事業調整課長	原口 明	42 (1)
	②地球温暖化対策と環境経営について	北九州市立大学国際環境工学部環境生命工学科教授	二渡 了	
29. 11. 8	①天神ビッグバンと都市部のまちづくり	福岡市住宅都市局都心創生部都心創生課課長	宮本 章信	24
	②デザインの川上に向かってー天神ビッグバンを事例にー	建築家株式会社スピンガラス・アーキテクツ代表取締役	松岡 恭子	

29. 11. 11	北九州における板ガラス産業の歴史と発展	カホ・テクノマネジメント研究所	大里 信義	5
29. 11. 17	①知っておきたい木の知識	大分県農林水産研究指導センター林業研究部長	城井 秀幸	20 (40)
	②治山施設、林道施設における長寿命化対策について	九州森林管理局総務企画部長	両角 実	
	③森林調査を取巻く ICT/IOT の状況と展望	中部大学国際 GIS センター准教授	竹島 喜芳	
	④佐伯型循環林業の目指すもの	佐伯広域森林組合代表理事組合長	戸高 壽生	
29. 11. 18	①溶接技術の進歩とこれからの課題	技術士（金属・博士）	安西 敏雄	34 (2)
	②オフロード車両に関する先端技術の動向と走行力学	防衛大学（副学長）	渡邊 啓二	
	③海底資源としてのメタンハイドレート採取の地盤工学的研究	山口大（教授）	兵頭 正幸	
29. 12. 2	①一次救急蘇生方法について	東洋大学工業技術研究所・歯科医師	溝部 都孝	55 (3)
	②世界の地熱開発状況と諸事情について	西日本技術開発株式会社地熱業務本部本部長	田籠 功一	
29. 12. 9	①地盤を知って得をしよう～地盤リスクの低減方法～	基礎地盤コンサルタンツ（株）九州支社	田上 裕	26 (66)
	②わかりやすく伝えるための留意点 ～専門分野が違う人、あるいは“文系”と思われる人に伝える時には～	科学技術コミュニケーション研究所	泉 優佳理	
29. 12. 16	歯科材料・技術の進歩と補綴の歴史	九州歯科大学（副学長）	鱒見 進一	45 (11)
30. 1. 20	①天然及び合成ゴムの技術的歴史と発達	九州大学（教授）	西村 伸	55 (2)
	②エネルギーの地産地消と更なる利用拡大に向けて	みやまパワーHD 株式会社（部長）	白岩 紀人	
30. 2. 17	①高窒素オーステナイト系ステンレス鋼の材料特性と製造技術	技術士（金属）	小野本達郎	37 (3)
	②超小型衛星の現状と将来	九州工業大学（教授）	趙 孟佑	
	③北九州市の温暖化対策と環境モデル都市の取組	九州市（係長）	岡本 真一	
30. 2. 24	①技術士としての支援活動～社会貢献の形を考える～	技術士会理事・九州本部研修委員長	清崎 淳子	92 (9)
	②私の「技術者倫理」教育	九州本部倫理副委員長	井内 祥人	
	③熊本大学における産官学連携活動について	熊本大学熊本創生推進機構イノベーション推進センター教授	下津浦一博	
	④平成 29 年 7 月九州北部豪雨災害の対応について	国土交通省九州地方整備局河川部長	竹島 睦	
30. 3. 17	①新日鉄住金エンジニアリング(株)における環境ビジネスへの取組	技術士（衛生工学）	高田 純一	
	②機器分析手法による燃焼および加熱たばこの喫煙成分の比較	技術士（環境・博士）	宮崎 照美	
	③自律型水中航走式機雷探知機の開発について	技術士（機械）	今井 亮	
30. 3. 24	宇佐八幡と国東六郷山	大分県立歴史博物館	高宮なつ美	

資料 44 地域本部における主な見学会

※ 右欄の数字は参加者数、()はそのうち一般の参加者数を示す

北海道本部	29. 6. 30	豊平峡ダム	15 (3)
	29. 7. 28	望月寒川河川トンネル工事現場	31 (14)
	29. 8. 25	南早来変電所、鹿追町環境保全センター	29 (3)
	29. 9. 1	ユーラス伊達黄金ウィンドファーム 「風力発電施設」	10 (4)
	29. 10. 6	「北海道新幹線工事 新函館北斗～新八雲(仮称) 区間」 村山トンネル施工現場	6 (12)
	29. 10. 13～14	北見市浄水場、温根湯道の駅(山の水族館) など	15 (10)
	29. 10. 13	旭川ガス永山工場、士別市世界のめん羊館、サンルダム建設現場	14 (8)
	29. 10. 27	函館新外環状道路 見晴トンネル施工現場	7 (16)
	29. 12. 1	苫小牧バイオマス発電所	8 (2)
	29. 12. 1	太平洋セメント工場、新中野ダム	9 (20)
東北本部	29. 9. 27	南相馬市直轄地域除染等工事 南相馬地域直轄災害復旧事業	14 (12)
	29. 9. 15	一関市～奥州市 (ILC 建設計画予定地周辺) の現地見学	
	29. 10. 11	大島架橋本体工事外	15 (6)
	29. 10. 16～17	産業技術総合研究所福島再生可能エネルギー研究所、土湯温泉バイナリー発電、東北電力柳津西山地熱発電所、福島県環境創造センター交流館コミュタン福島	7
	29. 11. 1～2	東京モーターショー I T S 関連ブース および交通管制運用の現地見学	11 (2)
	30. 1. 17	産せんだい 3. 11 メモリアル交流館、荒浜小学校(震災遺構)、 仙台市蒲生浄化センター	7
北陸本部	29. 7. 7	見学会 石川県小松市～能美市 小松精錬(株)、サイエンスヒルズこまつ	33 (4)
	29. 9. 22	現地見学会 福島県 「沼沢火山及び周辺」	5 (12)
	29. 9. 29	青年技術士会企画秋の見学会「情報システムと危機管理対策」 新潟市 高速道路管制センター、NS コンピューターサービス	20 (2)
	30. 3. 1	見学会「地域産業の展開に向けて」 富山県高岡市 (株)能作、三芝硝材(株)	25 (2)
中部本部	29. 11. 12	関西電力 大飯原子力発電所見学会	15 (8)

	29. 11. 30	CBC本社見学会	22
	30. 2. 3	名古屋市科学館バックヤード見学会	15 (12)
近畿本部	29. 4. 13	大阪市平野下水処理場見学会	18 (12)
	29. 5. 22	アサヒ飲料(株) 明石工場、キッコーマン(株) 高砂工場	16 (3)
	29. 6. 9 -6. 10	パナソニックエコテクノロジーセンターと鳥取大学/乾燥地研究センターと北条砂丘風力発電所	4
	29. 6. 9 -6. 10	パナソニックエコテクノロジーセンター 鳥取大学 乾燥地研究センター 北条砂丘風力発電所	21 (2)
	29. 9. 13	三菱電機(株)受配電システム製作所	32
	29. 9. 13	ユニバーサルスタジオ JAPAN バックヤードツアー	13 (6)
	29. 10. 6	村田製作所野洲事業所 研究所分析部門、工場計量・検査部門	18
	29. 10. 11	第1回建設部会見学会 (大阪府安威川ダム建設事務所、 安威川ダム建設現場)	10 (4)
	29. 10. 27	京都機械工具株式会社(京都府久世郡御山町) ショールーム 及び製造現場各所	17 (1)
	29. 10. 29 -11. 4	第19回訪中団(三峡ダム・武漢・南京・上海。江蘇省工程師 学会、上海市在宅介護国際シンポ、上海市科学技術協会交流)	13 (1)
	29. 11. 2	日本ニューロン株式会社及び 地球環境産業技術研究機構見学会	13 (11)
	29. 11. 6.	京都マテリアルズと最上インクス	6
	29. 11. 6	京都マテリアルズ 最上インクス	26
	29. 11. 17	地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 和泉センター (大阪府 和泉市)	10 (8)
	29. 11. 30	第2回建設部会見学会 (うめきた2期地区、JR鉄道地下化工事現場)	12 (8)
	29. 12. 5	NITE(製品評価技術基盤機構) 製品安全センター 大阪事業所	24
	29. 12. 5	陸閘基礎液状化対策工事 (大阪府高石漁港)	4
	30. 2. 7	中之島フェスティバルタワー ・ウエスト	26 (1)
	30. 3. 9	第3回建設部会見学会 (関西文化学術研究都市(京大木津農場他)、月桂冠大倉記念 館)	28
	中国本部	29. 9. 6	上下水道部会・環境/衛生工学/生物工学/原子力・放射線部 会・農業/森林/水産部会 (1) ダクタイル鉄管製造施設見学 (2) 小水力発電機器製造施設見学 (3) 福富ダム見学

	29. 9. 30	建設部会 主催 / 応用理学部会 共催 合同見学会 (1) 福山市堂々川砂留群見学 (2) 御領古墳群現地見学	26 (3)
	29. 10. 6	機械/船舶・海洋/航空・宇宙部会・化学/繊維/金属部会・電気 電子/経営工学/情報工学部会合同見学会 (1) 広島県立総合技術研究所 西部工場技術センター内見 学 (2) 三菱日立パワーシステムズ(株) 見学	22 (1)
	29. 12. 2	鳥取例会 見学会 ICT 施工現場 (塩見川) 見学 砂の美術館 見学 仁風閣 見学	17 (7)
四国本部	29. 9. 2	第 16 回青年技術士交流会 「高知こどもの図書館」見学	17
	29. 9. 23	平成 29 年度防災見学会 「美波町由岐湾内地区・阿南市福井町小野地区の状況」	18 (17)
	29. 11. 17	第 23 回西日本技術士研究・業績発表 年次大会 (松山) テクニカルツアー 道後温泉周辺・坊ちゃん列車・湯月城跡・酒蔵等徒歩見 学 (松本啓治 坂の上の雲ミュージアム館長の案内)	24 (5)
	29. 12. 9	香川例会 「高松市屋島周辺」地質講座 (寺林優 香川大学工学部 教授の案内)	10 (6)
九州本部	29. 6. 24~25	①三菱重工長崎造船所 (長崎市) ・「長崎造船所と発電設備事業」講演 ・長崎造船所資料館見学 ・火力発電所用蒸気タービン工場見学 ②出島橋視察 (長崎市) ③旧佐世保無線電信所 (針尾送信所)	8 (3)
	29. 9. 26	①熊本県上益城郡益城町 下水道関連施設 ②熊本市上下水道局健軍水源地 水道関連施設	34
	29. 10. 14	ニッスイパイオニア館	31 (1)
	29. 10. 25	①江川ダム (ダム制御、給排水操作室) ②小石原川ダム建設現場	24
	29. 11. 1	①福岡空港整備関連施設 ②国営海の中道海浜公園	41 (6)
	29. 11. 6	①パナソニック株式会社 佐賀工場 ②パナソニック株式会社 福岡工場	18

資料 45 地域本部管轄下の県支部における主な講演会等

※ 右欄の数字は参加者数、()はそのうち一般の参加者数を示す

東北本部 宮城県支部

29. 7. 4	「政宗が伝えた宝・仙台」～400年前の震災復興～	東北大学災害科学国際研究所准教授	蝦名裕一氏	51 (11)
29. 7. 21	陸奥国分寺はなぜ仙台につくられたか	仙台市教育委員会 文化財課 専門員	斎野裕彦氏	46
29. 10. 27	国史跡「仙台城跡」界限へのご案内	東北工業大学名誉教授	松山正将氏	36 (23)
29. 11. 6	日本の土地制度の課題についてー人口減少時代の土地問題ー	東京財団研究員兼政策プロデューサー	吉原祥子氏	45 (5)
30. 1. 26	災害復旧事業制度に関する研修会(入門編)	①(公社)全国防災協会 災害復旧技術専門家 ②宮城県砂防ボランティア協会 幹事	①大利泰宏氏 ②平間光雄氏	19
30. 3. 15	「坂道からみえてくる仙台市街地の地形」～過去の災害に学んだ伊達のまちづくり～	東北学院大学教養学部教授	松本秀明氏	

東北本部 青森県支部

29. 7. 1	1. 様々な分野で活かされる生物学 2. 台湾近代化の礎を築いた日本人技術者たち	・合同酒精(株)酵素医薬品工場サブリダー 2. 土木学会社会インフラ解説グループ長	1. 田村巧 2. 緒方英樹	32 (20)
29. 9. 22	1. 東日本大震災における造成団地被害から学ぶ教訓と課題 2. 青森県の地盤と地震動	1. (株)復建技術コンサルタント 宅地耐震化室室長 3. 弘前大学大学院教授	1. 佐藤真吾 2. 片岡俊一	10 (42)
29. 10. 28	1. 日本の古典芸能 2. 復興と地域創成	1. 2. 八戸工業大学准教授	1. 川守田礼子 2. 今出敏彦	13 (6)
30. 2. 9	1. 丸太を使った漁港における液状化対策事例 2. 建設事業で木材を使う意義 3. 地震によって発生する液状化現象とその対策	1. 東西地方漁港漁場整備事務所 2. 飛鳥建設 65(株) 3. 高知大学教授	1. 松橋利明 2. 沼田淳紀 3. 原忠	10 (80)

東北本部 秋田県支部

29. 4. 8	資質向上講演会	技術士	鳥居 直也	55 (31)
29. 9. 14	「雄物川改修事業 100年のあゆみ」 「公共事業の執行に係わる最近の動向について」	国土交通省東北地方整備局秋田河川国道事務所副所長 事務所長	泉谷敏広 今野 敬二	45 (37)

29. 11. 22	「ツキノワグマの生態と秋田県における近年の行動域の変化」	秋田県立大学生物資源科学部准教授 博士（理学）	星崎 和彦	42 (10)
30. 1. 19	「地質屋の考え事 ～地質学の重要性：主に地質構造を例に～」 「原子力に関する最近の動向～女川原子力発電所の現状を中心に～」	(株) 創研コンサルタント 伊藤技術士事務所	浅川 敬公 伊藤 幸司	45 (14)

東北本部 福島県支部

29. 6. 22	「トランス・サイエンスの時代、社会に支持される科学技術を考える」 「廃炉作業の現場と福島復興への責任を果たすために」	(株)ダイワ技術サービス 東京電力ホールディングス(株)福島復興本社代表	岩淵 善弘 石崎 芳行	54 (34)
29. 11. 9	三次元データの活用セミナー 「i-Constructionについて」 「設計データの三次元化 LandX MLについて」 「3DスキャナとMMSの活用例について」 「点群データの編集と活用について」	(株)テクノシステム 建設営業部 主任 アイサンテクノロジー(株) MMS特販事業部部長代理	市川 宏海 藤野 宏明	34 (67)
30. 2. 19	「福島の森～森づくりの歴史に学ぶ、何のための森づくりか～」 「塗装剥離工事における有害物質の測定について」	宇都宮大学 名誉教授 (株)島津テクノリサーチ 環境事業部 副主査	谷本 丈夫 岩田 直樹	26 (23)

東北本部 山形県支部

29. 7. 7	革新的な技術は自然豊かな地方から生まれる	慶応義塾大学先端生命科学研究所長	富田 勝	61 (20)
29. 11. 10	「文化財石垣の技術と修理～震災で被害を受けた熊本城跡・小峰城を例に」 「下水道に期待される新しい役割～ピストロ下水道ほか」	東北芸術工科大学芸術学部教授 山形大学農学部教授	北野 博司 渡部 徹	32 (81)

東北本部 岩手県支部

29. 7. 29	台風10号豪雨災害の教訓～過疎集落の安全をいかにして守るか～	岩手大学 名誉教授	齋藤 徳美	35 (15)
29. 10. 21	地方創生新時代の本県経済を考える～震災復興需要が本県経済の回復に貢献～	(一財)岩手経済研究所 地域経済調査部長	中野 智	30 (10)
30. 1. 20	岩手の道をつなぐ！宮古盛岡間最大の難所 区界峠の新しいトンネルと身近な土木	宮古盛岡横断道路 新区界トンネル工事鹿島・東急特定建設工事共同企業体 所長	西川 幸一	45 (25)

29. 9. 27	河川災害への 3 次元計測・設計に関する適応事例と社会活動	支部・建設 ICT 生産システム研究会	安野 雅満	1 (16)
"	CIM/i-Construction 3D 設計(橋梁・河川)の取り組み事例	前支部長	村上 功	"
29. 11. 2	河川災害への 3 次元計測・設計に関する適応事例と社会活動	支部・建設 ICT 生産システム研究会	安野 雅満	1 (47)
"	CIM/i-Construction 3D 設計(橋梁・河川)の取り組み事例	前支部長	村上 功	"
29. 11. 30	河川災害への 3 次元計測・設計に関する適応事例と社会活動	支部・建設 ICT 生産システム研究会	安野 雅満	0 (34)
"	CIM/i-Construction 3D 設計(橋梁・河川)の取り組み事例	前支部長	村上 功	"
30. 2. 7	河川災害への 3 次元計測・設計に関する適応事例と社会活動	支部・建設 ICT 生産システム研究会	安野 雅満	1 (49)
"	CIM/i-Construction 3D 設計(橋梁・河川)の取り組み事例	前支部長	村上 功	"
29. 9. 8	屏風山海岸林のあらましと取り扱いの考察	元岩手大学名誉教授	村井 宏	11 (6)
29. 9. 9	日本海中部地震時の海岸林の効果と被害	元岩手大学名誉教授	村井 宏	11 (6)
30. 3. 10	土壌汚染対策法に配慮した地すべり対策	国土防災技術(株) 技術課長	大坪 俊介	
30. 3. 10	固定翼 UAV の活用事例	(株)タックエンジニアリング 技術部測量調査設計課長	佐々木 聖	

北陸本部 富山県支部

28. 7. 23	富山県支部第 24 回講演会 ①とやまの森づくり ～富山県の森林・林業～ ②富山県の地下資源、とくに越中七金山について	富山県農林水産部森林政策課 森づくり推進班長 富山大学理学部 教授	松井 俊成 清水 正明	54
29. 7. 22	サービス・マネジメント 農におけるモノづくり ～「富富富」の挑戦～ 輸送機械の音響・振動設計技術	株式会社不二越 富山県農林水産総合技術センター農業研究所育種課 課長 富山県立大学工学部機械システム工学科 講師	山田 省一 小島洋一朗 寺島 修	52 (6)
30. 1. 25	富山の自然と生物多様性 常願寺川砂防 110 年	富山大学大学院 理工学研究部理学領域 准教授 元 富山県土木部長	山崎 裕治 白井 芳樹	57 (100)

中部本部 愛知県支部

29. 6. 17	監査人から見た製造業の問題と技術士への期待	日本公認会計士協会 東海会副会長	小川 薫	42 (8)
29. 8. 5	CFRP 積層板の製造時欠陥による強度への影響	中部本部航空部会副部会長 航空・宇宙部門	新玉 重貴	24 (2)
	26 年間の技術士会活動を振り返って	日本技術士会フェロー 電気電子部門	小林 洋一	

29. 9. 20	「企業防災論」～工業団地の防災 取り組み事例から～	愛知大学地域政策学部教授	戸田 敏行	36 (3)
	「衣浦港の港湾 BCP の事例	国際航業株式会社技師長、 前愛知県衣浦港務所長	平野 正浩	
	「企業 BCP とステークホルダー との連携」の現状と事例	中日本建設コンサルタント株 式会社総務本部長	岩田 敏彦	
29. 9. 23	産業革命の歴史的考察と現代 I O T 革命の行方展望	鹿島平和研究所理事 元経済企画庁事務次官	田中 務	38 (10)
29. 10. 7	地球温暖化懐疑論と環境問題の現 状	技術士 (衛生工学部門)	松田 則雄	33 (4)
	IoT 時代とサイバー攻撃問題を考 える	技術士 (経営工学部門)	長谷川 欽一	
	再生エネルギー最新事情	技術士 (化学部門)	竹崎 宏	
	環境汚染と化学物質管理の最新動 向	技術士 (総合技術監理・化学 部門)	花井 健夫	
	自動車と技術動向	技術士 (経営工学部門)	野尻 一男	
	技術不祥事とその後	技術士 (総合技術監理・金属 部門)	柴田 素伸	
29. 10. 29	「理科好きな子どもを育てる教育 活動」 「主体的、対話的で深い学び」を 体験しよう!!	名古屋市立八王子中学校/校 長	上井 靖	29 (4)
30. 01. 17	「土木構造物の衝撃・爆発に関す る研究の現状」	名古屋大学大学院工学研究科 准教授	山本佳士	22
30. 02. 10	技術士が命をかける時！ 複数事 例の現場から考える	メタウォーター株式会社	阿部 秀樹	45 (1)
	鉄道関連新事業の経験を元に科教 興国・一億総活躍に貢献したい	伊藤技術支援パートナー/代 表	伊藤 文夫	
	南海トラフ巨大地震に備えた生産 装置の耐震固定と展開	株式会社ダイフク eFA 事業 部 EG 部	保坂 良裕	

中部本部 岐阜県支部

29. 5. 13	「少量生産・受注生産 企業における生産性 向上のための現場マネジメントに ついて」	安田技術士事務所	技術士 安田義美氏	27
	「間違いだらけの 経営感覚」	グッドパートナーズ会計事務 所	税理士・中小企 業診断士 高橋和宏氏	
29. 7. 1	企業・組織の業績向上・永続性に 寄与する総合マネジメントシステ ム	瀧野技術士事務所・総合マネ ジメントシステム研究所	技術士 瀧野勝氏	23
	「本当の女性活躍 とは!？」	一般社団法人 日本少子化対 策ネットワーク	代表理事 安藤摩里氏	
29. 9. 2	「環境改善のための 環境技術開発と機能性材料」	シグマ環境工学研、名古屋工 業大学先進セラミックス研究 センター	技術士 西川治光氏	31
	「建設分野におけるドローンの活 用について」	大日コンサルタント(株)コンサ ルタント事業部	参事 矢島賢治氏	
29. 11. 11	「環境測定業務の概要及び化学物 質等の リスクアセスメント・ リスクマネジメント」	一般財団法人・岐阜県公衆衛 生検査センター	技術専門員 技術士 谷正史氏	17 (4)

	「多自然川づくりの展開～中小河川から直轄河川まで」	岐阜大学 流域圏科学研究センター	准教授 原田守啓氏	
30. 1. 6	「組立自動ラインの生産設計での工夫点」	三菱電機(株)名古屋製作所 生産システム推進部 生産技術第三課	主務 技術士 熊澤貴弘氏	37 (1)
	「水素社会に向けた水素供給インフラの進展」	川崎重工業(株)	上級研究員 神 谷祥二氏	
30. 3. 3	「環境と経済を対立から合意形成」	一般財団法人岐阜県公衆衛生検査センター	技術専門員 技術士 豊田崇文氏	
	「構造から見た建築」	(有) 那由多デザインオフィス	一級建築士 多 田昌司氏	

中部本部 三重県支部

29. 4. 8	ノーベル賞中村修二氏の技術者倫理を考える～青色LED製法開発と特許訴訟から見えること～	春田技術士事務所 所長	春田 要一	22 (1)
29. 6. 23	巨大災害に備える～南海トラフ地震とは～	三重大学 大学院工学研究科建築学専攻 准教授	川口 淳	31 (1)
29. 10. 14	環境における科学技術	三重大学 大学院工学研究科 教授	金子 聡	28 (1)
30. 1. 13	PBLを通じた地域連携の実践	鳥羽商船高等専門学校 制御情報工学科 教授	江崎 修央	17 (1)

中部本部 静岡県支部

29. 4. 15	オープンソース構造解析シュミレーションソフトの工学的な活用	富士フィルムエンジニアリング株式会社	小南秀彰	34 (1)
	中国浙江省技術支援事業の報告とリーマン管理に必要なTWI監督者が行う従業員の教育訓練	小久保都市計画事務所 所長	小久保 優	
29. 6. 10	建築における耐震設計の変遷と高強度コンクリートを用いた超高層RCについて	静岡理科大学理工学部教授 建築学科 学科長	丸田 誠	52 (2)
29. 8. 26	東日本大震災石巻市への支援で肌で感じた復興事業	静岡市役所建設局土木部技術政策課	長島勝大	33 (5)
	建設人材の確保・育成における取り組み	富士教育訓練センター専務理事	菅井文明	
29. 12. 9	局所排気装置、プッシュプル型排気装置の考え方	日本労働安全衛生コンサルタント会静岡県支部長	目黒輝久	26
	緑茶ができるまで、そして成分とその可能性	農研機構果樹茶業研究部門金谷茶業研究拠点	物部真奈美	

30. 2. 24	「地方版 IoT 推進ラボ」事例紹介 「静岡県 IoT 活用研究会の取り組み」	(公財) 静岡県産業振興財団 革新企業支援チーム	長井善郎	41 (12)
	「中小製造業における IoT 活用事例の紹介」	(株) 叢雲堂代表取締役/IT コー デネータ	池谷隆典	
	「富士砂防事務所における ICT の取り組み」	国土交通省富士砂防事務所副 所長	白木久也	

近畿本部 兵庫県支部

29. 6. 6	第 4 回 CPD 講座 レジリエントな耐震構造	神戸大学大学院工学研究科 建築学専攻 教授	孫 玉平	21
29. 7. 9	第 5 回 CPD 講座 これからの都市交通	神戸大学 学長顧問 経営学研究科教授	正司健一	45
29. 10. 27	第 6 回 CPD 講座 高強度・高延性の ナノ結晶&アモルファス複合合金の 創製と応用	兵庫県立大学副学長 兼 産 学連携・研究推進機構長 工学研究科 教授	山崎 徹	13
29. 11. 24	第 7 回 CPD 講座 熊本地震を踏まえ て～地盤震動とその評価法～	神戸大学都市安全研究セン ター教授	長尾 毅	20 (3)
30. 1. 26	第 8 回 CPD 講座 兵庫県の社会基盤整 備の状況	兵庫県 県土整備部県土企画 局技術企画課主幹	志茂大輔	15 (2)

中国本部 岡山県支部

29. 4. 8	箕作阮甫とその一門	津山市学芸員	乾 康二	17 (7)
29. 5. 13	インフラ構造物の維持管理の失敗 事例 個私公集の概念とプロ フェッション	樋野企画代表 スズカワ設 備事務所	樋野勝巳 鈴川 竜司	31 (21)
29. 6. 10	インフラ構造物の維持管理	国立研究開発法人土木研究 所理事長	西川和廣	38 (36)
29. 7. 29	倉敷の特色ある近代のまちづくり	ノートルダム清心女子大学 人間生活学科教授	上田恭嗣	32 (6)
29. 12. 9	西川緑道公園の活性化に向けて 緑道公園の散策と歴史紹介	岡山大学地域総合研究セン ター教授 岡山市スポーツ・文化振興財 団常務理事	前田芳男 石田尚昭	24 (9)

中国本部 山口県支部

29. 4. 22	「トランプ大統領で世界はどうなる! 日本はどうなる! 技術士はどう する?!」	ジャーナリスト、ソニー中東 市場専門官	浅川 芳裕	20 (11)
29. 7. 8	「不織布シートと微生物を活用した 土壌侵食防止と緑化」	多機能フィルター(株) 技術部主任技師	河野 信之 (森林部門技 術士)	17 (5)
30. 1. 27	「北九州市民は環境問題とどう向 き合ってきたか?」	元北九州市環境局長、現北九 州市教育委員会教育長	垣迫 裕俊	21 (10)
	「レジ袋有料化から始めた行政大 改革」	参議院議員	山田 宏	

中国本部 鳥取県支部

29. 4. 16	技術士としての専門的応用能力を考える	NPO 法人 WAC おばま	鳥居直也	7 (41)
29. 7. 3	技術士制度について	(株)ウエスコ	伊達裕樹 他	11 (111)
29. 7. 22	『鳥取かわはら西郷「守・破・離」 工芸の郷づくり』	公立環境大学環境学部	中橋文夫教授	27 (19)
29. 11. 18	技術士に必要な表現力を磨く	(株)アトラス	福元和孝	3 (3)
29. 12. 10	先端技術が描く近未来	国立大学法人鳥取大学	岸田悟教授、他	36 (22)
30. 1. 27	鳥取県が求める技術者	鳥取県県土整備部次長	丸毛裕治、 他	20 (14)

九州本部 大分県支部

29. 6. 3	①大分県内における河川水・温泉水・湧水の現状について	大分工業高等専門学校 都市・環境工学科 助教	横田 恭平	22 (68)
	②RFID 構造物診断システムの概要と適用事例	太平洋セメント(株) インフラ保全技術チームリーダー	江里口 玲	
	③橋面コンクリート舗装の補修方法	ニチレキ(株)九州支店技術課長	小池 武己	
	④ドローンを用いた橋梁点検における三次元データ解析と活用事例	(株)ニチギ 統括事業部	神田 剛	
	⑤熊本・大分地震の検証(熊本・大分地震に学ぶ)	夢想科学(株) 代表取締役 協同エンジニアリング(株) 技術顧問	泉 保則 冷川 久敏	
29. 9. 2	①地震災害から身を守るためにー熊本地震で何が起きたのかー	日本応用地質学会 九州支部	山本 茂雄	21 (47)
	②「話す、伝える」	フリーアナウンサー	荒金 由希子	
	③防護柵補修時の留意点と補修事例	昭和鉄工(株) 都市景観事業部 次長	山口 智	
	④オーリス(非破壊調査システム)技術説明	オーリス技術協会 副会長	伊東 修	
	⑤原理科学ーBEST 理論	日進コンサルタント(株) 技師長	鐘 廣喜	
29. 12. 2	①熊本地震による建築物被害の教訓と防災・減災対策	大分大学理工学部 教授	菊池 健児	19 (27)
	②湾施設の改良(補修・補強における設計上の留意事項)	西日本コンサルタント	中原 和之	
	③『CIM 導入ガイドライン(案)』の解説・CIM モデルの最新情報	(株)福岡支店川田システム(株) 係長	佐藤 義史	
	④海岸工事における施工性、安全性等を向上させるプレキャスト化の視点	共和コンクリート工業(株) 次長	長内 秀孝	
	⑤コンクリート構造物の補修・補強と新しい品質管理方法	東亜コンサルタント(株) 専務取締役	財津 公明	

九州本部 鹿児島県支部

29. 5. 20	①行政と技術の観点からの国土レジリエンス	九州大学工学研究院 教授	塚原 健一	31
-----------	----------------------	--------------	-------	----

	②林業もスマート化 ICTとG空間情報で林業は変わるか	鹿児島大学 農学部教授	寺岡 行雄	(18)
29. 8. 19	①奄美の世界自然遺産登録に向けて	鹿児島県奄美世界遺産登録 室室長	大西千代子	21 (22)
	②土木行政からICT(通信分野)へ	(公財)九州ヒューマンメディア創造センター事務局長	山田 修司	
29. 11. 11	①大規模噴火時の安全対策	鹿児島大学地域防災研究センター 教授	石峯 康浩	18 (18)
	②技術士としての支援活動～熊本地震復興支援会議を例に～	公益社団法人日本技術士会九州本部研修委員長	清崎 淳子	
30. 2. 10	①熊本地震からの復旧・復興	熊本大学名誉 教授	北園 芳人	20 (19)
	②都市トンネルに潜む危険性について	第一工業大学	岩波 基	

九州本部 宮崎県支部

29. 8. 5	平成 29 年度第 1 回 CPD ①講演 1「組織に求められる情報セキュリティ対策とその方向性」	(株)アセントコンサルティング 代表取締役	中山 謙	9 (14)
	②講演 2「最近の情報工学トピックス」	外山技術士事務所 代表	外山 真也	
29. 11. 2	平成 29 年度第 2 回 CPD ①講演 1「センシング技術を用いた医工連携研究について」	宮崎大学工学教育研究部 教授	田村 宏樹	12 (32)
	②講演 2「宗像から世界へ～「人に役立つロボットを目指して～」	(株)エムザック 代表取締役	高木 陽一	
30. 3. 3	平成 29 年度第 3 回 CPD ①講演 1「熊本地震からの復旧・復興」	熊本大学工学部 名誉教授	北園 芳人	18 (12)
	②講演 2「九州北部豪雨災害での斜面崩壊の実態と今後の問題」	(公社)日本技術士会九州本部 防災委員長	矢ヶ部 秀美	

九州本部 佐賀県支部

29. 5. 27	①佐賀低平地の形成と伝統的治水技術並びに気候変動下の防災減災について	佐賀大学大学院工学系研究科都市工学専攻 教授	大串浩一郎	13 (18)
	②有明海沿岸地域の技術的課題と沿岸道路整備の対策と防災	株式会社精工コンサルタント防災管理担当部長	南里 勝	
29. 11. 25	①九州北部豪雨から考えるこれからの気象	株式会社富士ピー・エス顧問	松嶋 憲昭	14 (15)
	②佐賀県の災害時ドローン協定にみるICTそしてIoTがつくる近未来社会	佐賀県制作部企画課係長	円城寺雄介	

九州本部 熊本県支部

29. 6. 17	阿蘇山上退避壕と噴火について(熊本地震復興支援活動)	(株)興和測量設計取締役技術統括部長	勇 秀忠	24 (6)
	熊本地震からの創造的復旧・復興の取り組みについて	熊本県土木部 道路都市局長	宮部 静夫	
29. 8. 19	行政の防災情報システムとBCP(事業継続計画)	熊本市情報政策課情報システム管理責任者	桐原 光洋	15

	企業の復興計画：BCP(事業継続計画)とその策定	(株)九州イノヴァティブ代表取締役	中尾 勇二	(4)
29. 11. 11	くまもと型復興住宅について	一般社団法人熊本県建築士事務所協会専務理事	小林 至	14
	林業の復興と木質バイオマス発電の動向	森技術士事務所	森 津一	(4)

九州本部 長崎県支部

29. 06. 10	①「長崎県製造業の状況と変化並びに取り巻く技術動向」	長崎県工業技術センター	馬場 恒明	38
	②「世界初の大型映像表示装置の開発力とその継続」	三菱電機(株)長崎支店	寺崎 信夫	(26)
29. 09. 16	①「総合水産試験場の取組と課題」	長崎県総合水産試験場	斉藤 達彦 水田 浩二	25 (12)
	②「農林技術開発センターの概要(役割と成果)」	長崎県農林技術開発センター	一丸 禎樹	
	③「長崎のやきものと窯業技術センターの役割と成果」	長崎県窯業技術センター	永石 雅基	
30. 01. 20	①「環境保健研究センターの業務と研究」	長崎県環境保健研究センター	國光 健一 柴田 庸平	32 (6)
	②「住宅・建築物の耐震化について」	県土木部住宅課・建築課	吉岡 浩幸 土手 和也	
	③「ダムの基本設計について(石木ダムを例に)」	長崎県石木ダム建設事務所	浅岡 哲彦	

資料 46 関東甲信地域の県支部における主な講演会等

※右欄の数字は参加者数、()はそのうち一般の参加者数を示す

神奈川県支部

29. 4. 1	第 27 回 情報交流会の会			60 (40)
	水産物の呈味改良技術について	国立研究開発法人水産研究・教育機構 中央水産研究所水産物応用開発研究センター	村田裕子	
	日本の電力小売り自由化の目的と活動	岡野技術士事務所 所長	岡野庄太郎	
	よろず支援拠点での活動紹介	庄司技術士事務所 所長	庄司尚史	
29. 4. 15	第 55 回 COD 講座 原子力発電と放射線を理解する			73 (3)
	原子力発電の基礎と東電福島事故の状況について	曾佐技術士事務所 所長	曾佐 豊	
	放射線の特性と人体への影響について	電力中央研究所 原子力技術研究所 研究参事	吉田 和生	
29. 6. 3	第 28 回 情報交流会の会			43 (1)
	生物脱臭技術の紹介	水 ing 株式会社 薬品営業統括	矢出 乃大	
	倫理委員会「倫理教育検討 WG」の活動状況	電源開発(株) 人事労務部 労働安全衛生室担当部長	桑江 良明	
	ビジネスオーデイション 2017 支部賞記念講演「業界初の新技術「布基礎住宅」の沈下をウレタン樹脂で修正可能に！	アップコン(株) 代表取締役	松藤 展和	
29. 6. 10	第 56 回 CPD 講座 丹沢山塊の自然の現状と保全・再生および不法投棄等廃棄物の問題			50 (3)
	丹沢山地の自然の現状、再生と保全に向けて	神奈川県自然環境保全センター 研究企画部 研究連携課 主任研究員	田村 淳	
	ブナ林の衰退原因の解明と再生技術の開発	神奈川県自然環境保全センター 研究企画部 研究連携課 技師	谷脇 徹	
	産業廃棄物不法投棄現場での環境修復の取組と今後	日本産業廃棄物処理振興センター調査部 技術参与	谷川 昇	
29. 6. 24	第 16 回テクノセミナー～事務作業の改善はできていますか？～業務プロセスの見える化と改善例			31 (1)
	知識の共有から改善は始まる	国立研究開発法人 科学技術振興機構 研究開発センターフェロー	原田 裕明	

	業務ビッグデータを使った現場改善例	富士通(株)フィールド・イノベーション本部	野村 和哉	
29. 7. 27	第 57 回 CPD 講座 ～果てしなき宇宙への夢～ 超小型衛星による挑戦			74 (14)
	果てしなき宇宙への夢～超小型衛星による挑戦	東京大学大学院工学系研究科航空宇宙工学専攻教授	中須賀 真一	
29. 8. 5	第 17 回テクノセミナー ～生産性向上で経営体質を強化～ 活用・人材育成をコンパクトに紹介		基礎知識・IT	
	生産性向上に役立つ IE の基礎知識	(株)イクルスマネジメント 代表取締役	山寺 哲二	38 (4)
	生産性向上を実現する人づくり	(株)東芝 生産調達統括部	高田 淳	
	生産シミュレーションによる課題解決事例	(株)東芝 生産技術センター	杉山 尚美	
第 58 回 CPD 講座 ◆国立研究開発法人水産総研究・教育機構 中央水産研究所見学会				
29. 8. 8	下痢性貝毒の公定法更新とその影響	水産物応用開発研究センター長	鈴木 敏之	40 (1)
	ウナギの産卵生態解明に向けて	資源管理研究センター沿岸資源・生態系グループ長	黒木 洋明	
29. 9. 30	第 59 回 CPD 講座◆海外建設プロジェクトの新たな展開◆			48 (3)
	海外建設プロジェクトとコンサルティングエンジニア	(株)建設技術研究所 国政 部顧問	伊藤 一正	
	30 年間の海外道路 BOT 事業の経験と今度の維持管理運営事業の展開	(株)熊谷組執行役員 経営 企画本部副部長	大島 邦彦	
29. 10. 7	第 6 回サイエンスカフェ			16 (1)
	カミキリムシの多様性	(株)環境指標生物 代表取 締役 農学博士	新里 達也	
29. 10. 7	第 29 回情報交流会			44
	技術士として生涯現役に生き抜く	石油分析化学研究所 所 長	藤田 稔	
	水素エネルギーに関する最近の話題	西田技術士事務所 所長	西田 啓一	
	若手技術士の可能性を探る場「MIX 技術士交流会」	(株)ニコン 経営戦略本部 生産戦略部副主幹	浦野 雅輝	
29. 10. 21.	第 60 回 CPD 講座◆これからの時代の技術者倫理を考える			54 (3)
	ポスト 3. 11 とエンジニアの倫理	東京都市大学工学研究科 長・工学部都市工学科教 授	皆川 勝	

	技術者倫理 2.0－人と社会の well-being(よく生きること)の 為の倫理－	東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授	札野 順	
29. 10. 28	平成 29 年度技術士開業及び業務開拓のための研修会－神奈川県支部入門コース、CPD 対応－			45
	県支部での業務紹介の仕組み	藤井技術士事務所 所長	藤井 貞雄	
	技術コンサルタント開業手引きのポイント	岩崎技術士事務所 所長	岩崎 博	
		(株)巡る技 代表取締役社長	原 眞一	
	先輩技術士の経験等紹介とパネル公論	(株)サブラヒ・テクノロジスツ 代表取締役社長	中村 博昭	
		(有)藤木マネジメント・コンサルティング 社長	藤木 良隆	
敬愛技術士事務所 所長		森田 敬愛		
		POLESTAR 北本技術士事務所 所長	北本 達治	
29. 11. 9	第7回オープンテクノフォーラム IoTとAIの現状と今後～中小企業はどう対応するか～			52 (70)
	IoTとAIの現状と今後	神奈川工科大学創造創造部教授 スマートハウス研究センター所長	一色 正男	
	日本のIoT・AIの技術的対応－ 国の対応－	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構特命審議役 工学博士	渡邊 政嘉	
	ディー・エヌ・エーにおける自動運転の取組について	(株)ディー・エヌ・エー オートモーティブ事業部 シニアマネジャー	山本 彰祐	
	中小企業のIoT活用事例	アイフォーコム東京(株)スマートテクノロジー部 執行役員	広川 正和	
	神奈川県IoT推進ラボとその取り組みについて	地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所事業化支援部デジタルものづくり担当部長	宮澤 以鋼	
29. 11. 18	ガイダンス～あなたも「プロのエンジニア」を目指しませんか～			15 (15)
	技術士資格に関する説明	技術者支援小委員会	技術者支援小委員会委員	
	活躍事例1	(株)環境地質	稲垣 秀輝	

	活躍事例 2	日本電気(株)	岡田 克彦	
29. 11. 18 ~19	青少年のためのロボフェスタ 2017			
	おもしろロボット工作	科学技術振興支援小委員会	中村委員、高木氏	
	ころころロボット	科学技術振興支援小委員会	栗山委員、福井委員	
	磁石、すつとびロケット、他	科学技術振興支援小委員会	千葉委員、石田委員	
	Oval Billiards	科学技術振興支援小委員会	吉田委員、浜岡委員、高祖委員	
	紙飛行機	科学技術振興支援小委員会	齋藤委員	
	3Dプリンター	科学技術振興支援小委員会	松浦委員	
	ライントレースカー	科学技術振興支援小委員会	中島委員、荒木委員、山室委員、木村委員	
29. 11. 25.	第 18 回テクノセミナー やる気を引き出し「利益」を上げよう 社員のやる気(モチベーション)を高めるための取り組み	技術士(経営工学)	安慶田 弘	36 (7)
29. 12. 02	第 30 回情報交流の会			28
	渦流探傷調査結果からみた被覆材を用いた酸素低減処理による開放型蓄熱水系の熱源機銅管の腐食抑制効果	平野技術士事務所	平野 昭英	
	第 44 回技術士全国大会参加報告	奥村技術士事務所	奥村 貞雄	
29. 12. 16	第 62 回 CPD 講座◆中小企業におけるシステム安全の基礎と法的観点について◆			36 (1)
	「中小企業の機械・設備安全の指導に役立つ安全の基礎」	国立大学法人長岡技術科学大学 教授	福田 隆文	
	「事故の予防と再発防止に向けた法律実務」	国立大学法人長岡技術科学大学 准教授	岡本 満喜子	
30. 1. 13	第 64 回 CPD 個人情報保護法と注意事項			57 (1)
	「改正個人情報保護法と注意事項」	R&G 横浜法律事務所 弁護士	佐藤 麻子	
	「改正個人情報保護法の順守事例とポイント」	(株)浜銀総合研究所経営コンサルティング部部長	佐伯 克志	
30. 1. 23	第 63 回 CPD H30 年賀詞交歓会特別講演 神奈川県産業をとりまく現状			57

	と取り組みについて			(20)
	「神奈川県産業をとりまく現状と取り組みについて」	神奈川県産業労働局産業部産業振興課課長	山崎 博	
30. 2. 1	地域産業活性化研究会 2018in川崎 “水素社会”への期待実現への技術とインフラ			35 (1)
	水素社会における水素サプライチェーンの意義	新エネルギー・産業技術総合開発機構 新エネルギー部主任研究員	横本 克己	
	2020年 ブルネイ国-川崎間水素サプライチェーン実証スタート	千代田化工建設(株) 水素チェーン事業推進ユニットチームリーダー	大島 泰輔	
30. 2. 17.	第65回 CPD 中小企業会計制度と財務諸表			62
	「中小企業会計制度と財務諸表の内容」	独立行政法人中小企業基盤整備機構経営支援部	岩井 智洋	
	「財務諸表の解読法」	響き税理士法人 税理士	桐澤 寛興	

埼玉県支部

29. 4. 24	マイクロプラスチックの脅威	東京海洋大学 名誉教授	兼廣春之	31 (2)
29. 5. 27	特別講演「等身大の技術者倫理」～事例を踏まえた技術者倫理のあり方～	株式会社東芝コミュニティーソリューション	袴谷達	38 (4)
29. 6. 9	最新のスターリングエンジンの現状課題	一般社団法人技術士さいたま	中村憲雄	18
29. 6. 30	農産物認証「GAP」の動向と技術士の取組	浅賀技術士事務所 代表	浅賀栄蔵	23 (2)
29. 7. 29	最新のドローン(マルチコプターUAV)とサービスについて	株式会社エンルート 代表取締役社長	瀧川正靖	64 (2)
	技術士制度検討の動向と支部活動への期待	公益社団法人日本技術士会 常務理事	西村文夫	
29. 9. 8	生物多様性に配慮した斜面の自然再生の現状と課題～法面緑化から見た土木工事～	SPTEC・YAMADA、日本緑化学会理事、斜面緑化研究部会長	山田守	22 (1)
29. 10. 5	女性活躍社会は実現するか？女性男性と分けない社会に向けた日本の発展のキーはボーダレス」	日本電鍍工業株式会社 代表取締役	伊藤麻美	15 (17)
29. 10. 27	産学官地域連携による埼玉の食と農の産業振興方策	公益財団法人 埼玉りそな産業経済振興財団 産学官連携推進室 室長	真鍋伸次	18 (2)
29. 12. 2	経済産業省のIoT基本政策(予算の実施状況)	経済産業省関東経産局 情報政策課長	濱田豊	50 (3)
	中小企業ものづくりへのIoT活用について	国立研究開発法人産業技術総合研究所製造技術研究部門	澤田浩之	
29. 12. 7	コーチング体験研修	小野経営労務研究所 代表	小野武明	25 (1)
	軟弱な地盤と、その対策	埼玉県北本県土整備事務所 河川担当課長	宇高薫	

30. 1. 13	建設業における女性技術者の参入に関する一考察～モノづくり技術を支えるソフト技術～	東洋大学理工学部都市環境デザイン学科 教授	鈴木信行	50 (2)
	1990年代マレーシア「粉末冶金工場建設」と生活そして今	村山技術士事務所 代表	村山肇	
	ベトナムの酪農技術の発展－20世紀前葉から 2017年の動向を踏まえて－	森山獣医師・技術士事務所 代表	森山浩光	
	農林水産業におけるドローン（農業散布での対応）について	三菱商事株式会社 顧問	小風茂	
30. 1. 27	新規開業基本事項	ベルセッジ・インコーポレーテッド日本代表	菅原宏	18
	定年前に開業した事例と課題	加藤技術士事務所代表	加藤秀昭	
	60代過ぎてからの開業事例紹介と課題	増古技術士事務所 代表	増古恒夫	
30. 2. 3	コーチング体験研修	小野経営労務研究所 代表	小野武明	30 (1)
30. 2. 21	越谷市の産業支援施策について	越谷市企業支援課 主査	加藤武司	31 (27)
	越谷商工会議所の中小・小規模事業者支援の取り組みについて	越谷商工会議所事務局次長	伊藤猛	
	IT、IoT、AI 早わかりセミナー	技術士（情報工学）	石井利教	
30. 2. 24	経済産業省における中小企業等支援施策について	関東経済産業局地域経済部地域振興課 係長	宮寺透友	38 (13)
	埼玉県の中小企業支援施策について	埼玉県産業労働部産業支援課 課長	増田文之	
	さいたま市産業創造財団が推進するオープンイノベーション	公益財団法人さいたま市産業創造財団支援金融課 課長	佐々木哲也	
	地方創生のための事業プロデューサー派遣事業の取組み	有限責任監査法人トーマツ特許庁派遣事業プロデューサー	鈴木康之	
	支援事例報告1：「ものづくり企業の課題（ニーズ）にフィットさせる技術（シーズ）とは」	技術士・中小企業診断士橋本隆事務所 代表	橋本隆	
	支援事例報告2：「産学官における事業支援の支援事例」	株式会社テクニカルアーツ取締役工場長 渡辺技術士事務所 代表	渡部祐介 渡辺孫也	
30. 3. 24	日本企業に根差したTQM活動とその有効性（TQM歴史と概要）	浅賀技術士事務所 代表、TQM経営支援研究会会長	浅賀栄蔵	25 (5)
	ものづくり支援活動における方法論（TQM実践例と課題）	株式会社 熊谷 QM インダストリ 代表取締役	鯨井武	
30. 3. 24	技術士制度の重点事項の説明	TAKE 国際技術士事務所 所長	黒澤兵夫	10 (20)
	技術士補資格の取得に当たって（一次試験を中心に）	いすゞエンジニアリング株式会社 上級職	對馬一昭	
	技術士資格の取得に当たって（二次試験を中心に）	富士通クライアントコンピューティング株式会社	加藤圭	
	諸注意事項について	ベルセッジ・インコーポレーテッド 日本代表	菅原宏	

山梨県支部

29. 5. 20	「画像認識のための機械学習技術	山梨大学工学部コンピュー	安藤 英俊氏	15
-----------	-----------------	--------------	--------	----

	とその応用」	夕理工学科 准教授		(5)
29. 7. 22	・「水質入門」 「富士山周辺の地下水に含まれる バナジウムと健康」	甲府市環境部環境総室環境 保全課 山梨県富士山研究所 研究 管理幹	山田 康雄氏 長谷川達也 氏	15 (3)
29. 10. 18	人工知能(AI)の実用化状況と今後の 展望	株式会社アイ・ティ・イノベ ーション 代表取締役	林 林衛 氏	16 (25)
	「地域資源の活用と観光まちづく り:域学連携の実践から」	山梨大学 地域社会システ ム学科 准教授	菊地 淑人氏	
	「県の重点産業支援施策につい て」	県産業労働部新事業・経営革 新支援課長	内藤 裕利氏	
	「産業技術センターの支援体制に ついて」研究管理幹	山梨県産業技術センター 研究管理幹	萩原 茂氏	
	「知的財産経営の支援」	公益財団法人やまなし産業 支援機構 知財総合支援窓口 事業責任者	川合 雅章氏	
	「支部の技術支援活動ご紹介」	公益社団法人日本技術士会 山梨県支部支部長	秋山高広	
29. 12. 2	支部会員8名による研究発表(1 5分ゼミナール) 「農業六次化の検証と今後の方向 性」	支部会員講師 一般社団法人山梨県中小企 業診断協会	8名 上吉川航人 氏	12 (2)
30. 2. 24	「ヤマブシタケが産生する凝乳酵 素を用いた新規チーズの開発」 「“クリーンアプリケーション”と 真空関連技術」	山梨大学生命環境学部 非 常勤講師 株式会社ミラプロ 執行 役員 技術本部 本部長	中村和夫氏 清水秀樹氏	15 (3)

長野県支部

29. 4. 8	生涯現役～技術士として過ごした 47年を振り返って～	小澤技術士事務所 代表	小澤 信也	29 (25)
	社会の期待に応える技術士に向け て	長野県支部幹事	有賀 良夫	
	合格までの道のり	合格者	加藤 真彰	

29. 7. 8	虫から見た環境	長野県砂防課課長	田下 昌志	39 (12)
29. 10. 7	木曾川水力発電の歴史と電気事業の変遷	技術士	森 茂雄	23 (5)
29. 11. 11	小諸城の3DCG復元の取り組み	長野大学企業情報学部教授、助教	田中 法博 望月 宏佑	16 (11)
29. 12. 3	体内植込み型補助人工心臓エバハートの開発	サンメディカル技術研究所 取締役社長	山崎 俊一	17 (2)
30. 2. 24	地盤を探る地中レーダーの技術を学ぶ	川崎地質(株)保全部長 (株)土木管理総合試験所物理 探査部長	山田 茂治 垂水 稔	32 (28)

茨城県支部

29. 4. 1	技術士制度の変更説明	茨城県支部 研修委員長	小林 守	4 (1)
29. 4. 1	技術士の資格取得と研究開発の振り返り、今後の抱負	(株)日立製作所研究開発グループ 技術士	原田 素子	30 (17)
29. 4. 22	ドローン技術と近未来社会に向けた可能性	(株)自律制御システム研究所 CTO、千葉大学客員教授	三宅 徳久	30 (1)
29. 6. 3	事故のRCA(根本原因分析)について	秋山技術士事務所 所長	秋山 孝生	30 (1)
29. 6. 17	技術士へのモチベーション	(国研)日本原子力研究開発機構 技術士	広田 憲亮	4
29. 6. 24	霞が浦の生態系サービス	島根大学名誉教授、霞が浦環境技術センター前所長	相崎 守弘	34 (9)
29. 7. 30	i-Construction 向けシヨベル概要と適用事例紹介	日立建機(株)	小倉 弘	58 (13)
	茨城県の i-Construction の取組	茨城県土木部検査指導課 課長補佐	安 正弘	
29. 8. 12	IoT 特許から学ぶ	財)工業所有権協力センター 調査業務センター 自動制御 グループ 技術士	遠山栄二	10
29. 9. 9	技術者倫理を実務に生かす	(有)佐藤 R&D 代表取締役、 技術士	佐藤 国仁	45 (2)
29. 10. 14	中小企業のための IoT 導入ガイド 解説と事例	IT コーディネータ茨城 副 理事長、アイ・コネクト 代 表	大久保賢二	15 (6)
29. 10. 21	『時間管理』について	茨城県支部 研修委員長	小林 守	6 (1)
29. 10. 28	水稻の有機無農業栽培について	常陸測工(株) 技術部・部 長	鈴木信之	29
29. 12. 9	Raspberry Pi と Python による IoT システム構築体験	日立技術士会 サイエンス 夢クラブ 技術士	中島正明	24 (5)
29. 12. 23	中小企業にも活用できる IoT のツールと実践方法	メディアスケッチ株式会社 代表取締役	伊本貴士	44 (60)
	現場での IoT 導入における重要ポイント	株式会社日立産業制御ソリューションズ	川村 智	

30. 1. 27	走査電子顕微鏡の原理と高性能化技術の進展	株式会社日立ハイテクノロジーズ 主管技師長	佐藤 貢	53 (6)
	物理と地球史に基づく生命誕生シナリオ	日本地球惑星科学連合フェロー、地球物質科学、物質材料研究機構名誉フェロー	中沢 弘基	
30. 2. 17	問題分析、キーワードについて	茨城県支部 研修委員長	小林 守	6 (4)
30. 3. 3	IOTシステム構築におけるクラウドサービスの活用	アマゾンウェブ サービスジャパン (株) 技術本部 ソリューションアーキテクト	益子直樹	22 (3)
30. 3. 10	生態系サービスとは？ 自然の恵みを経済的な価値で捉える	(国研) 環境研究所 生物・生態系環境研究センター 研究員	久保 雄広	28 (50)
	霞ヶ浦流域の多様な生態系サービスを評価する	国立環境研究所 生物・生態系環境研究センター 主任研究員	松崎 慎一郎	
	活動紹介	霞ヶ浦研究会 霞ヶ浦市民協会 茨城県建築士会 茨城県支部	黒田 久雄 滝下 利男 鈴木 啓之 本田 永信	
30. 3. 24	ISO 9001/ISO14001の現状について	フジタ技術士事務所 所長	藤田 功	38 (2)

千葉県支部

29. 4. 15	誰でもできる'トヨタ'方式での無駄のとり方	アクティブビジネス代表取締役	太田伸一郎	37 (8)
29. 5. 20	合格者祝賀講演 「技術者倫理」 ①日本技術士会の技術者倫理への取り組み ②建設コンサルタントの技術者倫理 ③ISO9001 品質保証の体制と企業倫理 ④大学における技術者倫理教育の実践	山本技術士事務所所長 (株) エース東京支社技術部長 志澤技術士事務所所長 フルード工業 (株) 執行役員 研究開発室長	山本陽一 河北慶介 志澤達司 小波盛佳	35 (17)
29. 6. 10	モノづくりセミナー 「トヨタ方式の基本」	アクティブビジネス代表取締役	太田伸一郎	42 (3)
29. 6. 13 -14	JR 東日本信濃川発電所、山古志村見学			8
29. 7. 17	地震予知は難しい？ 常識の壁は破れないか	信州大学 特任教授	榎本祐嗣	56 (9)
29. 8. 5	IoTで激変する日本の中小企業ビジネスモデル	日本技術士会修習技術者支援委員会委員長	川村智	34 (4)
29. 9. 2	①復興庁の職員となって大熊町を支援して ②震災6年目の福島県被災地の様子と復興の課題	前復興庁福島復興局復興支援員 いわき明星大学教養学部教授	北村昌文 高木竜輔	52

29. 10. 14	①AI・ロボット技術の動向 ②千葉工大スカイツリータウンキャンパス見学	千葉工大未来ロボット技術 研究センター室長	先川原正浩	49 (2)
29. 11. 14	①東京湾アクアライン開通 20 周年 を迎えて ②ITS と道路政策の最近の動向	東京湾横断道路株式会社保 全部長 国土技術研究センター主席 研究員	桑澤庄次郎 谷口宏	12 (68)
29. 12. 9	食べていける独立技術士を目指す ための特別講演	秋元技術士事務所 (株)ナレッジシェア代表取締役 役	秋元英郎 徳永雅彦	40
30. 1. 13	南極大陸を科学する。	前国立極地研究所 所長	白石和行	56 (1)
30. 2. 4	来るべき災害に備えて	国土館大学理工学部非常勤 講師	秋田義一	15
30. 3. 24	技術士支援業務報告	滝沢技術士事務所 向原技術士事務所代表 今住技術士事務所	滝沢利治 向原文典 今住則之	30

栃木県支部

29. 6. 3	「栃木県の産業政策について」	栃木県産業労働観光部長	香川眞史	32 (28)
29. 11. 18	秋の科学技術講演会 『IoT にもものづくり中小企業はど う立ち向かうか』	産業技術総合研究所名誉リ サーチャー	森和男	23 (22)
29. 12. 10	12 月期「講演会」 ・交流会	栃木建設技術センター	印南洋之	33 (4)
29. 12. 9	浙江同済科技職業学院との覚書に ついて	県支部	福田 一郎	45
29. 12. 9	日韓技術士国際会合報告 (釜山)	県支部顧問	田仲喜一郎	45
30. 2. 21	「技術士を志す方への情報提供講 座」	技術士第二次試験合格者	田中 聡 見目 正明 萩尾 直久 西田 稔	5 (25)

群馬県支部

29. 5. 26	ICT 施行技術の取り組み	国土交通省関東地方整備局 企画部施行企画課 課長補 佐	加藤 貞男	25 (73)
29. 5. 26	群馬県における ICT 活用の取り組 み	群馬県県土整備部建設企画 課 主幹	黒澤 由昇	25 (73)
29. 5. 26	地域と密着するドローンの活用	ドローン・ジャパン(株) 取締役会 長, セキュアドローン協議会会長	春原 久徳	25 (73)
29. 5. 26	i-construction の概要及び 3 次元 データの活用	福井コンピュータ(株) 高崎オフィ ス マネージャー	土田 真己	25 (73)
29. 6. 30	サントリービール マスターズド リーム誕生物語	サントリービール(株)利根川 ビール工場 技師長	丸橋 太一	13 (95)
29. 7. 21	サイバー攻撃の脅威と中小企業に おける情報セキュリティ対策	(独) 情報処理推進機構 セ キュリティセンター, (株)アイク ルー代表取締役	石埜 茂	2 (21)

資料 47 地域本部管轄下の県支部における主な見学会

※ 右欄の数字は参加者数、()はそのうち一般の参加者数を示す

東北本部 宮城県支部	29. 10. 11	気仙沼市大島架橋本体工事現場	21
東北本部 青森県支部	29. 9. 15	地球深部探査船「ちきゅう」見学会	16
東北本部 福島県支部	29. 10. 2021	女川原子力発電所見学会	21 (1)
東北本部 山形県支部	28. 10. 14	鶴岡浄化センターTTCK(鶴岡タウンキャンパス) 鶴岡サイエンスパーク	21
東北本部 岩手県支部	29. 9. 22	国道 340 号「押角トンネル」築造工事	
	29. 10. 13	JR 山田線「松草・平津戸間」復旧工事	
	29. 10. 27	「築川ダム堤体」&「南川河川改修」工事	15
	29. 12. 7	国道 397 号「小谷木橋下部工」工事	9
中部本部 愛知県支部	30. 3. 12	JAXA 相模原キャンパス(「宇宙探査実験棟」・「工作室」 「イオンエンジン」等)	
中部本部 三重県支部	29. 9. 29	一般国道 477 号四日市湯の山道路(潤田高架橋)道路改良(1号橋上部工)工事	13
	30. 3. 20	NTN 株式会社先端技術研究所グリーンパワーパーク	
中部本部 静岡県支部	29. 10. 28	「積水ハウス静岡住まいの夢工場」 展示館にて最新技術を見学、体験	15
近畿本部 兵庫県支部	30.2.22	第 9 回 CPD 講座(視察バスツアー) 兵庫県立大学・ 高度産業科学技術研究所「放射光施設『ニュースバル』」	13
	30.3.17	第 10 回 CPD 講座(視察バスツアー)「西はりま天文台」、 なゆた望遠鏡による天体観測	32
中国本部 岡山県支部	29. 9. 30	堂々川砂留群、御領古墳群見学	10 (1)
	29. 11. 18	百間川分流部、百間川河口水門耐震補強工事現場見学	13 (6)
中国本部 鳥取県支部	29. 12. 9	塩見川河川工事 ICT 施工現場	16 (8)
九州本部 大分県支部	29. 10. 20	大分県姫島村、 おおいた姫島ジオパーク ・天一根(研修・展示室)・姫島島内各所	15 (1)
九州本部 宮崎県支部	29. 11. 18	荒瀬ダム(九州農政局)内之浦宇宙観測センター	12
九州本部 熊本県支部	29. 11. 28	熊本市川口町「水田の暗渠排水施工と用水位調節器 の実演会」	5 (67)
九州本部 長崎県支部	29. 05. 17	「半導体のできるまで」 ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)長崎 TEC	20 (3)
	29. 10. 25	「島原半島の成立ちをさぐる」 島原半島ジオサイト(南島原地域)	15 (3)

資料 48 関東甲信地域の県支部における主な見学会

※ 右欄の数字は参加者数、()はそのうち一般の参加者数を示す

神奈川県支部	29. 8. 8	国立研究開発法人水産研究・教育機構 中央水産研究所	40 (1)
埼玉県支部	29. 10. 28	利根川東遷物語ツアーⅡとして 忍城址、さきたま古墳公園、関宿城博物館及び関宿閘門 (埼玉県)	29
	29. 11. 7	太平洋セメント株式会社熊谷工場 (埼玉県熊谷市)	31 (1)
山梨県支部	29. 9. 16	甲府・峡東クリーンセンター・エネルギー棟 ・リサイクル棟	13 (1)
長野県支部	29. 10. 7	三浦ダム (王滝村) など	23 (5)
千葉県支部	29. 6. 13 -14	JR 東日本信濃川発電所、山古志村見学	8
	29. 10. 14	千葉工大スカイツリータウンキャンパス見学	49
茨城県支部	29. 11. 16	岡田鋳金 (株) 茨城工場 タカノフーズ (株) 水戸工場	14
栃木県支部	9. 21	NEXCO 東日本バイオマス発電プラント	11 (2)
	11. 21	小松製作所小山工場	3
	11. 21	栃木県産業技術センター	2
	11. 24	花王	2
	11. 22	コマツ小山工場	2
	11. 22	長府製作所宇都宮工場	2
	11. 25	富士重工業宇都宮製作所	1
群馬県支部	29. 10. 20	サンデンフォレスト・赤城山事業所	9 (5)
	29. 2. 16	ハッ場ダム工事現場	16 (6)

資料 49 地域本部管轄下の県支部、部門別正会員・準会員数
(平成30年3月31日)

【正会員】

部門	東北本部							北陸本部
	宮城	青森	秋田	山形	福島	岩手	富山	
機械	6	3	2	1	9	4	12	
船舶・海洋	0	0	0	0	0	0	0	
航空・宇宙	0	0	0	0	0	0	0	
電気電子	50	2	1	4	10	4	8	
化学	0	0	0	1	1	0	3	
繊維	0	0	0	0	2	0	0	
金属	1	0	3	0	1	0	4	
資源工学	0	0	0	0	1	0	0	
建設	378	44	67	50	70	72	69	
上下水道	21	7	12	4	11	8	9	
衛生工学	6	0	1	0	3	1	5	
農業	40	23	17	19	19	16	11	
森林	4	11	7	2	9	12	5	
水産	5	1	1	0	1	1	1	
経営工学	4	0	2	1	4	0	3	
情報工学	2	0	0	3	6	1	2	
応用理学	44	4	12	5	6	11	5	
生物工学	1	1	1	0	0	0	0	
環境	9	1	3	4	3	5	2	
原子力・放射線	2	6	1	0	3	0	1	
総合技術監理	160	26	32	11	31	33	44	
(部門別数計)	733	129	162	105	190	168	184	
会員数計	538	96	115	90	150	117	136	

【準会員】

部門	東北本部							北陸本部
	宮城	青森	秋田	山形	福島	岩手	富山	
機械	7	1	0	0	5	3	4	
船舶・海洋	0	0	0	0	0	0	0	
航空・宇宙	1	0	0	1	0	1	0	
電気電子	11	2	3	4	1	2	3	
化学	0	0	0	2	2	1	1	
繊維	0	0	0	1	0	0	0	
金属	2	0	0	0	1	1	0	
資源工学	0	0	0	0	1	0	0	
建設	38	9	12	9	28	18	17	
上下水道	4	1	3	2	5	2	3	
衛生工学	3	0	2	0	1	0	1	
農業	8	4	2	4	7	2	0	
森林	1	0	2	0	2	3	0	
水産	1	1	0	0	1	1	0	
経営工学	1	1	1	1	0	0	0	
情報工学	2	0	0	2	1	1	2	
応用理学	2	0	1	0	0	2	1	
生物工学	4	1	0	1	2	1	1	
環境	13	0	1	4	9	3	7	
原子力・放射線	1	2	0	0	0	0	0	
総合技術監理	0	0	0	0	0	0	0	
(部門別数計)	99	22	27	31	66	41	40	
準会員数計	68	21	21	28	49	28	34	

注1：複数部門での登録・合格者は、それぞれ部門で重複して計上している。

注2：準会員には、正会員のうち、第二次試験合格後、当該技術部門に登録していない者を含む。

【正会員】

部門	中部本部				近畿	中国本部	
	愛知	岐阜	三重	静岡	兵庫	岡山	山口
機械	122	15	13	42	132	16	14
船舶・海洋	0	0	1	1	5	1	2
航空・宇宙	10	8	1	0	3	0	0
電気電子	80	13	4	23	92	9	4
化学	21	4	8	10	24	6	3
繊維	7	1	0	0	8	1	0
金属	20	3	1	10	17	3	4
資源工学	1	0	0	0	1	0	0
建設	325	65	34	64	146	59	48
上下水道	46	6	10	19	44	7	5
衛生工学	34	4	2	5	30	3	2
農業	33	7	13	6	4	10	4
森林	10	6	0	8	4	5	1
水産	3	0	1	1	5	0	1
経営工学	27	9	1	10	38	1	4
情報工学	32	2	2	7	27	3	1
応用理学	24	1	2	12	18	7	13
生物工学	6	0	0	7	10	3	3
環境	25	6	2	10	13	3	2
原子力・放射線	0	0	0	1	15	2	0
総合技術監理	190	48	23	34	154	46	28
(部門別数計)	1,016	198	118	270	790	185	139
会員数計	739	142	88	218	580	127	100

【準会員】

部門	中部本部				近畿	中国本部	
	愛知	岐阜	三重	静岡	兵庫	岡山	山口
機械	58	9	5	24	51	3	4
船舶・海洋	0	0	0	0	1	0	0
航空・宇宙	12	1	0	1	1	0	0
電気電子	34	8	8	9	25	1	3
化学	11	2	7	7	12	2	4
繊維	0	0	0	0	1	0	1
金属	7	1	0	2	5	1	0
資源工学	0	0	0	0	0	0	0
建設	55	13	11	17	33	10	22
上下水道	11	5	1	5	9	3	2
衛生工学	14	1	2	1	8	3	0
農業	1	2	4	2	1	0	1
森林	1	1	0	1	1	1	0
水産	5	0	0	2	1	0	0
経営工学	4	1	3	2	9	1	1
情報工学	17	1	1	7	14	0	1
応用理学	4	1	2	3	6	0	3
生物工学	8	2	1	5	6	4	1
環境	26	4	6	2	15	4	3
原子力・放射線	0	1	0	0	4	0	0
総合技術監理	1	2	0	0	1	1	0
(部門別数計)	269	55	51	90	204	34	46
準会員数計	221	47	43	81	158	27	37

注1：複数部門での登録・合格者は、それぞれ部門で重複して計上している。

注2：準会員には、正会員のうち、第二次試験合格後、当該技術部門に登録していない者を含む。

【正会員】

部門	県支部	九州本部					
	中国本部 鳥取	大分	鹿児島	宮崎	佐賀	熊本	長崎
機械	2	1	1	3	2	2	20
船舶・海洋	0	0	0	0	0	0	1
航空・宇宙	0	0	0	0	0	0	0
電気電子	1	2	2	1	1	3	7
化学	2	2	0	1	0	1	3
繊維	0	0	0	0	0	0	0
金属	2	1	1	0	3	0	1
資源工学	1	0	0	0	0	1	0
建設	28	66	48	45	36	48	30
上下水道	4	6	6	8	1	7	6
衛生工学	0	0	2	1	1	1	1
農業	6	8	12	11	10	15	11
森林	1	5	2	2	1	6	4
水産	1	2	2	0	0	1	2
経営工学	0	1	1	2	0	3	0
情報工学	0	2	1	1	0	2	1
応用理学	5	3	6	3	5	11	3
生物工学	0	3	0	1	0	0	0
環境	3	2	4	3	1	3	3
原子力・放射線	0	0	0	0	0	0	0
総合技術監理	9	29	25	17	13	24	19
(部門別数 計)	65	133	113	99	74	128	112
会員数 計	51	101	87	76	58	88	89

【準会員】

部門	県支部	九州本部					
	中国本部 鳥取	大分	鹿児島	宮崎	佐賀	熊本	長崎
機械	3	0	1	1	2	2	9
船舶・海洋	0	0	1	1	0	0	0
航空・宇宙	0	1	0	0	0	0	0
電気電子	1	1	5	1	0	3	3
化学	2	0	1	2	0	0	0
繊維	0	0	0	0	0	0	0
金属	0	1	0	1	0	1	0
資源工学	0	0	0	0	0	0	0
建設	6	9	12	12	3	14	12
上下水道	1	0	4	2	1	0	2
衛生工学	1	0	0	0	0	4	2
農業	1	1	1	1	1	1	2
森林	0	1	0	0	2	0	0
水産	0	1	0	1	0	0	0
経営工学	1	1	0	2	1	0	1
情報工学	1	1	1	0	1	3	1
応用理学	1	1	2	0	0	1	0
生物工学	2	1	2	0	0	0	0
環境	1	2	8	4	0	4	3
原子力・放射線	0	0	0	0	0	0	0
総合技術監理	0	0	0	0	0	0	0
(部門別数 計)	21	21	38	28	11	33	35
準会員数 計	17	14	28	22	10	29	30

注1：複数部門での登録・合格者は、それぞれ部門で重複して計上している。

注2：準会員には、正会員のうち、第二次試験合格後、当該技術部門に登録していない者を含む。

資料 50 関東甲信地域における県支部、部門別正会員・準会員数
(平成29年3月31日)

【正会員】

部門	県支部							
	神奈川	埼玉	山梨	長野	千葉	茨城	栃木	群馬
機械	261	78	7	13	93	87	25	23
船舶・海洋	0	0	0	0	2	1	0	0
航空・宇宙	12	2	0	0	4	3	0	0
電気電子	245	119	3	14	123	75	18	8
化学	83	19	1	2	56	12	4	4
繊維	8	1	0	0	3	1	1	0
金属	58	31	3	3	32	18	6	2
資源工学	4	5	1	0	13	1	0	0
建設	293	252	17	89	231	90	37	28
上下水道	77	47	3	13	51	13	11	16
衛生工学	56	36	1	2	47	11	3	4
農業	37	36	2	8	35	17	10	5
森林	8	7	2	10	10	1	0	4
水産	15	12	0	0	16	3	0	0
経営工学	98	20	3	5	37	18	7	4
情報工学	169	52	1	4	60	39	2	2
応用理学	58	45	1	12	29	24	3	4
生物工学	24	4	2	1	9	5	1	2
環境	51	22	1	8	22	5	1	2
原子力・放射線	45	5	0	0	5	68	1	0
総合技術監理	347	192	9	48	179	122	18	18
(部門別数計)	1,949	985	57	232	1,057	614	148	126
会員数計	1,510	730	47	165	830	452	128	98

【準会員】

部門	県支部							
	神奈川	埼玉	山梨	長野	千葉	茨城	栃木	群馬
機械	93	33	7	19	34	28	9	6
船舶・海洋	1	0	0	0	1	0	0	0
航空・宇宙	6	1	0	1	2	4	2	0
電気電子	81	25	4	5	41	20	10	4
化学	31	14	1	1	17	11	2	3
繊維	0	1	0	0	2	0	0	0
金属	14	5	0	1	8	2	4	0
資源工学	0	0	0	0	1	0	0	0
建設	59	48	6	21	54	15	12	16
上下水道	21	13	1	5	18	10	5	1
衛生工学	19	9	0	0	8	7	1	2
農業	8	5	0	3	7	5	3	1
森林	4	1	1	0	2	1	2	0
水産	3	2	0	0	2	1	0	0
経営工学	24	13	1	2	12	13	1	2
情報工学	72	31	1	2	23	12	7	3
応用理学	13	11	0	1	5	5	1	0
生物工学	20	13	1	3	12	9	3	1
環境	37	27	4	4	26	10	2	8
原子力・放射線	3	2	0	0	3	7	0	0
総合技術監理	2	0	0	0	1	2	0	0
(部門別数計)	511	254	27	68	279	162	64	47
準会員数計	429	205	24	58	228	118	56	34

注1：複数部門での登録・合格者は、それぞれ部門で重複して計上している。

注2：準会員には、正会員のうち、第二次試験合格後、当該技術部門に登録していない者を含む。

資料 51 地域本部、部門別 女性正会員・準会員数（平成30年3月31日）

【正会員】

部門	地域本部所属										地域本部以外(※)	合計
	北海道	東北	北陸	中部	近畿	中国	四国	九州	小計			
機械				2	3			1	6	7	13	
船舶・海洋									0	0	0	
航空・宇宙									0	2	2	
電気電子						1			1	2	3	
化学					1		1		2	3	5	
繊維					1				1	3	4	
金属			1					1	2	3	5	
資源工学									0	2	2	
建設	6	9	9	4	16	8	6	8	66	63	129	
上下水道	1	1		1		2		2	7	12	19	
衛生工学					1	1		2	4	4	8	
農業	5		1	1				2	9	4	13	
森林	1		1	1	1				4	5	9	
水産	2				1	1			4	3	7	
経営工学									0	7	7	
情報工学			1		2				3	18	21	
応用理学		1						4	5	10	15	
生物工学	2				3	2	1	1	9	11	20	
環境	2	3	1	2	3	3	3	4	21	24	45	
原子力・放射線									0	3	3	
総合技術監理	5	4	3	1	4	3		6	26	42	68	
(部門別数 計)	24	18	17	12	36	21	11	31	170	228	398	
会員数 計	16	14	12	10	29	13	8	21	123	164	287	

【準会員】

部門	地域本部所属										地域本部以外(※)	合計
	北海道	東北	北陸	中部	近畿	中国	四国	九州	小計			
機械				1				1	2	6	8	
船舶・海洋									0	1	1	
航空・宇宙									0	1	1	
電気電子	1				2				3	3	6	
化学				2		1			3	8	11	
繊維					1				1	1	2	
金属									0	0	0	
資源工学									0	0	0	
建設	2	2		2	5	3	2	4	20	15	35	
上下水道				1					1	7	8	
衛生工学	1				1	1			3	0	3	
農業		1		2				1	4	9	13	
森林	1							1	2	1	3	
水産				1				1	2	3	5	
経営工学				2					2	7	9	
情報工学	1			1	2				4	4	8	
応用理学					2				2	4	6	
生物工学	2	1		2	7		1	2	15	10	25	
環境	2	5	2	2	4	1	2	2	20	24	44	
原子力・放射線									0	1	1	
総合技術監理									0	1	1	
(部門別数 計)	10	9	2	16	24	6	5	12	84	106	190	
準会員数 計	10	5	1	16	19	4	5	9	69	85	154	

注1：※印は、関東・甲信地区（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県及び長野県）及び沖縄県を示す。

注2：複数部門での登録・合格者は、それぞれ部門で重複して計上している。（準会員は複数部門の登録・合格者は無し）

注3：準会員には、正会員のうち、第二次試験合格後、当該技術部門に登録していない者を含む。

資料 52 会員による活動グループの異動状況（統括本部登録）

登録取消されたグループ

No.	登録取消年月日	グループ名称	責任者
1	平成 29 年 5 月 31 日	技術融合センター	大塚 敬介 (機械)
2	平成 29 年 9 月 29 日	WPETF [技術者をめざす女子 学生を支援する会]	石田 佳子 (衛生工学)

※ 平成 30 年 3 月 31 日現在、下記の 44 グループが登録されている。

登録グループ名	登録グループ名
科学技術リテラシー向上支援フォーラム	IT21の会
持続可能な社会推進センター	パソコン通信システム
新エネルギー研究会	企業内技術士交流会
食品技術士センター	溶接接合研究会
生体・環境、保全交流会	技術士翻訳センター
経営管理チーム	省エネ相談センター
データサイエンス研究会	労働安全衛生コンサルタントグループ
知財コンサルティングセンター	子どもの安全研究グループ
事故技術研究会	情報化研究会
技術者倫理研究会	事故調査手法研究会
環境マネジメントセンター	コンプライアンス/リスク・マネジメントセンター
食品産業関連技術懇話会	ロボット技術研究会
中小企業支援グループ	成功・失敗体験教育研究会
実装技術研究会	わくわく理科教育の会
日中技術交流センター	神奈川 環境経営支援センター
エネルギー開発センター	神奈川 ISO・経営支援センター
高分子材料技術情報交流会	TQM 経営支援研究会
科学技術鑑定センター	技術士ライフプラン研究会
技術士包装物流グループ	東京でビジネスを考える会
新規開業技術士支援研究会	WIPO Green 推進研究会
メコン川流域技術協力フォーラム	製品安全技術士センター
製造物責任技術相談センター	IPD 研究会(初期技術者教育を研究する会)

資料 53 平成 29 年度技術士試験実施状況

事 項	第一次試験		第二次試験	
	平成 29 年度	平成 28 年度 (参考)	平成 29 年度	平成 28 年度 (参考)
試験施行に関する 公告 (文部科学省公告)	29. 3. 1	28. 3. 1	29. 3. 1	28. 3. 1
受験申込受付期間	29. 6. 22~7. 3	28. 6. 20~7. 1	29. 4. 7~4. 28	28. 4. 6~4. 27
筆記試験の実施	29. 10. 8	28. 10. 9	29. 7. 16 29. 7. 17	28. 7. 17 28. 7. 18
筆記試験の試験地	北海道、宮城県、 東京都、神奈川県、 新潟県、石川県、 愛知県、大阪府、 広島県、香川県、 福岡県、沖縄県	北海道、宮城県、 東京都、神奈川県、 新潟県、石川県、 愛知県、大阪府、 広島県、香川県、 福岡県、沖縄県	北海道、宮城県、 東京都、神奈川県、 新潟県、石川県、 愛知県、大阪府、 広島県、香川県、 福岡県、沖縄県	北海道、宮城県、 東京都、神奈川県、 新潟県、石川県、 愛知県、大阪府、 広島県、香川県、 福岡県、沖縄県
筆記試験合格者発表	—	—	29. 10. 31	28. 10. 27
口頭試験の実施	—	—	29. 11. 24~12. 24 30. 1. 10~1. 28	28. 11. 25~12. 23 29. 1. 6~1. 19
合格者の発表 (文部科学省公告)	29. 12. 14	28. 12. 15	30. 3. 9	29. 3. 1

資料 54 技術部門別 女性技術士登録者数

(平成30年3月末日現在)

技術部門名	技 術 士 登 録 者 数										合 計	対前年度 増減
	1部門	2部門	3部門	4部門	5部門	6部門	7部門	8部門	9部門	10部門		
機 械	24	2									26	2
船 舶・海 洋											0	0
航 空・宇 宙	1	1									2	0
電 気 電 子	12	1									13	3
化 学	14										14	4
織 維	11	1									12	0
金 属	10	1									11	1
資 源 工 学	5										5	0
建 設	701	182	37	2	2						924	66
上 下 水 道	112	29	1	2	1						145	4
衛 生 工 学	41	7	2	1							51	4
農 業	88	13	5	1	2						109	14
森 林	25	10	2								37	3
水 産	9	10									19	1
経 営 工 学	9	2		1							12	1
情 報 工 学	32	11	1	1							45	4
応 用 理 学	54	19	6	1	2						82	4
生 物 工 学	28	2									30	4
環 境	125	55	29	3	1						213	7
原子力・放射線	5										5	0
総合技術監理		180	37	4	2						223	11
合 計	1,306	526	120	16	10	0	0	0	0	0	1,978	133
		×1/2	×1/3	×1/4	×1/5	×1/6	×1/7	×1/8	×1/9	×1/10		
登 録 者 実 数	1,306	263	40	4	2	0	0	0	0	0	1,615	117

資料 55 技術部門別 女性技術士補登録者数

(平成30年3月末日現在)

技術部門名	技 術 士 補 登 録 者 数					
	1部門	2部門	3部門	4部門	合 計	対前年度増減
機 械	19				19	2
船 舶・海 洋						0
航 空・宇 宙	3				3	0
電 気 電 子	24				24	5
化 学	27				27	1
繊 維	1				1	0
金 属	3				3	0
資 源 工 学	3				3	1
建 設	1,717	5			1,722	247
上 下 水 道	253	4	1		258	41
衛 生 工 学	40		1		41	6
農 業	362	2			364	33
森 林	69	2			71	7
水 産	39	1			40	4
経 営 工 学	9				9	0
情 報 工 学	45	1			46	1
応 用 理 学	239	1			240	19
生 物 工 学	99				99	3
環 境	504	2	1		507	35
原子力・放射線	3				3	0
合 計	3,459	18	3	0	3,480	405
		×1/2	×1/3	×1/4		
登 録 者 実 数	3,459	9	1	0	3,469	403